

日本語

バージョンアップ情報

V9.2 で更新される主な機能

XQD メモリーカード QD-G120F、QD-G240F に対応

本機で使用可能な XQD メモリーカードに QD-G120F、QD-G240F を追加しました。

* XQD メモリーカードを使用するには XQD ExpressCard アダプター (QDA-EX1) が必要です。

V9.1 で更新される主な機能

Output Format の選択肢追加 (PMW-F55、PMW-F5+ CBKZ-55FX のみ)

記録フォーマットが XAVC 4K または XAVC QFHD で、システム周波数が 50 または 59.94 で、MPEG2 Proxy が有効なときに、4K または QFHD の出力フォーマットを選択可能にしました。

タイムゾーン設定値の表示を変更

UTC +11:30 と UTC -12:00 の地名を削除しました。

V9.0 で更新される主な機能

4K ハイフレームレート撮影時のフレームレートを追加

PMW-F55 に AXS-R7 を装着し、4K RAW または 4K X-OCN でのハイフレームレート撮影時のフレームレート (撮影コマ数) に 72、75、90、96、100FPS を新たに追加しました。

CBK-WA100 を使用した Parallel Rec モードに対応

SDI OUT 1/2 にワイヤレスアダプター CBK-WA100 を接続して、CBK-WA100 で記録される XAVC Proxy が本体記録と同ファイル名で同期記録が可能となる Parallel Rec モードに対応しました。

ご注意

本機で使用できる CBK-WA100 のソフトウェアバージョンは 3.0 以降です。

XAVC HD Long を追加 (29.97/59.94 時)

XAVC HD Long (1920 × 1080) の記録再生が可能になりました。システム周波数が 59.94 時は 25M/35M/50M モードが選択可能です。

システム周波数が 29.97 時は 35M/50M モードが選択可能です。

V8.0 で更新される主な機能

AXS-R7 に対応

ポータブルメモリーレコーダー AXS-R7 に対応しました。本機に AXS-R7 を取り付けることで、以下の機能が使用可能になります。

・4K 120fps 記録

AXS メモリーカード内に 4K 120FPS での記録が可能です。システム周波数 23.98P で記録することで、4K で 5 倍速スローを収録できます。

・新フォーマット X-OCN 記録

F55RAW 記録モードに加え、より効率的に記録が可能な新フォーマット X-OCN での記録が可能です。

・ピクチャーキャッチ機能

AXS メモリーカードへの記録においてもピクチャーキャッチ機能が有効になります。蓄積時間は最大 30 秒まで選択可能です。

XAVC 4K/QFHD Class480 に対応 (PMW-F55、PMW-F5 + CBKZ-55FX のみ)

システム周波数が 23.98、24.0、25.0、29.97 のときに XAVC 4K Class480、システム周波数が 23.98、25.0、29.97 のときに XAVC QFHD Class480 での記録再生が可能になりました。

XQD メモリーカード新 G シリーズ、M シリーズに対応

本機で使用可能な XQD メモリーカードに新 G シリーズ (QD-G32E、QD-G64E、QD-G128E) と、M シリーズ (QD-M32A、QD-M64A、QD-M128A) を追加しました。

* XQD メモリーカードを使用するには XQD ExpressCard アダプター (QDA-EX1) が必要です。

新 G シリーズは従来 G シリーズと同様にすべての記録フォーマット、High Frame Rate Mode: On/Off で使用可能です。M シリーズは N シリーズと同様に MPEG 1920 × 1080 P/i、1280 × 720 P で使用可能です。

V7.0 で更新される主な機能

クイックメニューの追加

OPTION ボタンを押すことでサブディスプレイに表示されるクイックメニューを追加しました。

クイックメニューは 6 つのカテゴリ (Project/Monitoring/MLUT/Media/Viewfinder/Others) にそれぞれ最大 8 個の使用頻度の高い設定項目が配置されています。これにより、設定内容の確認、および変更が容易に行えるようになります。

XAVC 4096 × 2160/XAVC 3840 × 2160 59.94P/50P での MPEG2 Proxy に対応

記録フォーマットが XAVC 4096 × 2160/XAVC 3840 × 2160 で、システム周波数が 59.94P/50P に設定されている場合に MPEG2 Proxy 機能が有効となるようにしました。

ご注意

1 スロット同時記録中にメモリーカードのフォーマット (初期化) や修復はできません。

ITU-R BT.2020 マトリックス補正に対応 (PMW-F55 のみ)

Paint メニューの Matrix の Preset Select 設定値に 12 : ITU-2020 を追加しました。

4K または QFHD の出力信号、または XAVC 4096 × 2160 P や XAVC 3840 × 2160 P で記録される映像に ITU-R BT.2020 のマトリックス補正が有効になります。

ご注意

・ 12 : ITU-2020 を選択時に 2K または HD で出力する信号やビューファインダーには、ITU-R BT.709 相当のマトリックス補正が働きます。

・ 12 : ITU-2020 に設定して記録された XAVC 4096 × 2160 P または XAVC 3840 × 2160 P の再生映像を 2K または HD で出力する場合は、正しい色になりません。

Zebra の設定可能域を拡大

VF メニューの Zebra の Zebra1 Level の設定可能範囲を 50% ~ 107% から 0% ~ 107% に拡大し、Zebra2 Level の設定可能範囲を 52% ~ 109% から 0% ~ 109% に拡大しました。

User Gamma 使用時の画質改善

HDC シリーズなどで生成した User Gamma を PMW-F5/F55 に適用した場合に、ペダスタルレベル等を調整することで HDC シリーズと同等の Gamma カーブとなるように修正しました。

ステータス表示のレスポンス改善

ビューファインダー、外部ビデオモニターに表示されるステータス画面の切り換わり速度を改善しました。

V6.0 で更新される主な機能

Apple ProRes 4444 に対応

専用オプションの CBK-55PD (別売り) を適用することで記録再生が可能になる記録フォーマットに Apple ProRes 4444 が追加されました。

システム周波数が 23.98、24.0、25.0、29.97 のときに選択可能です。

S&Q Motion の Frame Rate に 66FPS を追加

S&Q Motion が有効で、High Frame Rate Mode が Full Scan または Center Scan のときに選択できる Frame Rate の設定値に 66FPS を追加しました。

S-Gamut/SLog2 時の User 3D LUT に対応

System メニューの Base Setting の Color Space が S-Gamut/SLog2 のときにも User 3D LUT を使用できるようにしました。

ご注意

Catalyst Browse と RAW Viewer で CUBE ファイルを生成する場合、本機の Color Space を S-Gamut3.Cine/SLog3 または S-Gamut3/SLog3 で使用する場合は Source 設定 (Catalyst Browse) または Input 設定 (RAW Viewer) を S-Gamut3.Cine/S-Log3 とし、本機の Color Space を S-Gamut/SLog2 で使用する場合は Source/Input 設定を S-Gamut/S-Log2 としてください。

誤って異なる設定で生成した CUBE ファイルを使用すると、正しい色にならないので注意してください。

Apple ProRes および Avid DNxHD® 選択時の ABB/APR 動作について

記録フォーマットが ProRes 422 HQ、ProRes 422、DNxHD 220x、DNxHD 145 のときに ABB または APR を実行した場合に、再起動しないように修正しました。

V5.1 で変更された機能

CBK-55PD を適用した PMW-F55 と CA4000 の接続について

専用オプションの CBK-55PD (別売り) を適用した PMW-F55 と、カメラシステムアダプター CA4000 との接続を可能にしました。

V5.0 で更新される主な機能

Apple ProRes および Avid DNxHD® に対応

専用オプションの CBK-55PD (別売り) を適用することで、Apple ProRes 422 (HQ)、Apple ProRes 422、Avid DNxHD 220x、Avid DNxHD 145 での記録再生が可能になりました。

ご注意

- これらの記録フォーマット選択時には、ABB/APR 実行後に本機が再起動します。
- CBK-55PD を適用した PMW-F55 は、カメラシステムアダプター CA4000 との接続はできません。

SStP SR-SQ 422 59.94i に対応 (PMW-F55 のみ)

記録フォーマットが SStP SR-SQ 422 のときの 59.94i 記録再生に対応しました。

MPEG Proxy 機能も同時に使用可能です。

CBK-55BK に対応

専用オプションの CBK-55BK (別売り) に対応しました。本機に CBK-55BK を取り付けることで、ショルダーカムコーダスタイルでの運用が可能になり、また各種の Audio 入出力端子やダイレクトスイッチなどが利用できます。

PMW-F5 での 4K/QFHD 記録に対応

専用オプションの CBKZ-55FX (別売り) をインストールすることで、XAVC 4096 × 2160P および XAVC 3840 × 2160P での記録再生が可能になります。

MPEG Proxy 機能も同時に使用可能です。

White Memory A/B に対応

Custom Mode 時に有効な White Memory を Memory A と Memory B に拡張しました。Memory A と Memory B で個別に色温度を設定できます。

インターバルレック機能に対応

一定の間隔で指定されたフレーム数を記録するインターバルレック機能に対応しました。

記録フォーマットが XAVC 4096 × 2160P、XAVC 3840 × 2160P、XAVC 2048 × 1080P、XAVC 1920 × 1080P の SxS Memory 記録、および AXS メモリーへの RAW 記録 (SxS との同時記録を含む) にて有効です。

Cine EI Mode での Noise Suppression 設定に対応

System メニューの Base Setting の、Shooting Mode を Cine EI に設定しているときでも、Camera メニューの Noise Suppression の設定が可能になりました。初期値は Setting : Off となります。

アサインボタンへ割り当てられる機能を拡張

アサインボタンの選択肢に、Color Bars、VF Focus Magnifier、White Memory (Memory A/B の切り換え) を追加しました。

Menu ダイヤルでの FPS 変更に対応

System メニューの Assignable Button の、Menu Dial Assign で S&Q Motion 時のフレームレートを 6 種類の中から選択できるようにしました。

撮影時に MENU ダイヤルを押し、回転させることにより容易にフレームレートを変更することが可能です。

V4.1 で更新される主な機能

ビューファインダー倍速駆動機能拡張

Camera メニューの S&Q Motion が有効で、Frame Rate が 72FPS 以上に設定されている場合に本機能が有効となるようにしました。

4K/QFHD 記録映像に対する Monitor LUT 適用に対応

System メニューの Rec Format が XAVC 4096 × 2160P または XAVC 3840 × 2160P の場合にも、Video メニューの Monitor LUT の SDI(Main)&Internal Rec を MLUT On に設定できるようにしました。(この場合、SDI(Sub)&HDMI および Viewfinder は MLUT On 固定となります。)

アサインボタンへ割り当てられる機能を拡張

ビューファインダー映像のコントラストを強調する機能「VF High Contrast」がアサインできるようにしました。

S-Log2 や S-Log3 などのコントラストの低い映像を表示しているときに、この機能を使うことで一時的にコントラストを強調することができます。

電源を再投入すると、機能は Off になります。

Cine EI Mode での Color Space 初期値を S-Gamut3.Cine/SLog3 に変更

All Reset 後に、System メニューの Base Setting の Shooting Mode を Cine EI に設定した場合、Color Space の設定値を S-Gamut3.Cine/SLog3 とするようになりました。

ハイコントラスト映像の画質改善

SxS メモリーへの記録において、S-Log2/3 以外の Gamma にて撮影されたハイコントラスト映像の画質を、より自然な映像となるように改善しました。

V4.0 で更新される主な機能

ピクチャーキャッシュ機能に対応

ロックボタンを押したときから数秒前にさかのぼって記録するキャッシュロック機能に対応しました。

記録 Format が XAVC 4096 × 2160P、XAVC 3840 × 2160P、XAVC 2048 × 1080P、XAVC 1920 × 1080P、MPEG 1920 × 1080P/i、MPEG 1280 × 720P の SxS Memory 記録にて有効 (XAVC はシステム周波数が 23.98、24.0、25.0、29.97 のときのみ) です。

さかのぼり可能時間は最大 18 秒 (MPEG Format 時) です。

User Menu に対応

ユーザーが任意のメニュー項目へのアクセスを容易に出来るように、User Menu をメニューの最上段に追加しました。

最大 20 個のメニュー項目を登録・編集することができ、またカスタマイズした User Menu 項目を User Menu Item ファイルとして SD Card に保存またはロードすることが可能です。

Sub Display Menu 表示に対応

Sub Display にセットアップメニューを表示できるように対応しました。これにより、本機単体でのメニュー操作が可能となります。

SStP 記録での MPEG2 Proxy 機能に対応 (PMW-F55 のみ)

記録フォーマットが SStP SR-SQ 444、SStP SR-SQ 422 で、システム周波数が 29.97P のときに、1 スロット同時記録の MPEG2 Proxy 機能に対応しました。

マーカーの表示色設定に対応

マーカーの表示色を White / Yellow / Cyan / Green / Magenta / Red / Blue の 7 色から選択できるようにしました。

オートアイリスの制御目標レベル表示を追加

Camera メニューの Auto Exposure の、Level が ±0 以外の値に設定されている場合に、設定値をビューファインダー画面に表示できるようにしました。

HD/2K 映像出力の映像帯域幅選択に対応

HD/2K 映像信号の帯域幅を Wide : 高帯域 (従来設定)、Narrow : 狭帯域の 2 種類から選択できるようにしました。

User 3D LUT に対応

RAW Viewer や BMD 製 Da Vinci Resolve で生成される 17 格子または 33 格子の CUBE ファイル (*.cube) をインポートすることができるようになりました。

Gamma 選択肢の追加

Paint メニューの Gamma の選択肢に、S-Log3 を追加しました。

Color Space 選択肢の追加

System メニューの Base Setting の、Color Space の選択肢に、広色域の S-Gamut3 を追加しました。

Matrix 選択肢の追加 (PMW-F55 のみ)

Paint メニューの Matrix の、Preset Select の選択肢に、10 : S-Gamut3.Cine Like と 11 : S-Gamut3 Like を追加しました。

Lens RET ボタンのアサイナブルボタン対応

装着したレンズにある Lens RET ボタンをアサイナブルボタンとして使用できるようにしました。

HDMI 出力フォーマット追加 (PMW-F55 のみ)

HDMI の出力フォーマットとして、3840 × 2160 59.94P/50P/29.97P/25P/23.98P、4096 × 2160 29.97P/25P を追加しました。

対応アクセサリ追加

CBK-DCB01 (DEMAND CONVERTER BOX) が使用できるようになりました。

本機で使用可能な CBK-DCB01 については、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

V3.0 で更新される主な機能

記録 Format 追加

XAVC 3840 × 2160P に対応しました。対応システム周波数は 23.98、25.0、29.97、50.0、59.94 となります。

また、MPEG 1280 × 720P にも対応しました。対応システム周波数は 50.0、59.94 となります。このときの映像出力フォーマットは、HD 1280 × 720P または SD 信号となります。

スロー & クイックモーション機能拡張

記録 Format が XAVC 4096 × 2160P、XAVC 3840 × 2160P でのスロー & クイックモーションに対応しました。対応フレームレートは、1 ~ 60P となります。

また、記録 Format が XAVC 2048 × 1080P、XAVC 1920 × 1080P では、対応フレームレートを拡大し、1 ~ 180P (System Frequency : 23.98, 24.0, 29.97, 59.94)、1 ~ 150P (System Frequency : 25.0, 50.0) まで可能となりました。

Main Operation が RAW のときの対応フレームレートも拡大し、1 ~ 240P まで可能となりました。

Imager Scan Mode の追加

撮像フレームレートが 60P までは 4K Super 35mm サイズで撮像し、60P より早い Frame Rate では 2K サイズで撮像する従来動作に加えて、常時 2K Super 35mm サイズで撮像する 2K Full モードと、常時 Super 35mm の中央部分の 2K サイズで撮像する 2K Center モードを追加しました。

任意クリップ名に対応

任意文字列 + クリップ番号によるクリップ名に対応しました。

Digital Audio 入力に対応

AES/EBU フォーマットのデジタル音声信号の入力が可能になりました。2 系統の AES/EBU 信号によって合計 4 チャンネルの音声入力が可能になります。

本体出力端子による RAW 再生対応

本機に接続された AXS-R5 で記録された RAW 信号の再生映像を、本機の出力端子より出力することが可能になりました。

Scene File、Lens File の SD Card による Load/Save 対応

Scene File および Lens File をそれぞれ 64 個まで SD Card に保存可能となり、保存された File を本機内部メモリーに書き戻すことが可能になりました。

YPbPr/RGB 時の Cine EI Mode 対応

RAW 記録時だけでなく、AXS-R5 を使用しない SxS メモリーカー

ド単独の YPbPr または RGB 記録時でも、Cine EI 運用が可能になりました。

新規の色域、Gamma カーブに対応

デジタルシネマの色域 (DCIP3) への調整がしやすい色域として、S-Gamut3.Cine を新たな色域として対応し、またこの色域と合わせて Cineon Log カーブに近い、よりフィルム特性に似せたダイナミックレンジ 1300% の Log 信号である S-Log3 に対応しました。

Monitor LUT 機能拡張

Monitor LUT の選択肢に 4 種類の Sony Look Profile を追加し、さらに User LUT (1D) に対応しました。User LUT は RAW Viewer にて生成可能で、SD Card 経由で本機の内部メモリーに 6 個まで保存可能です。

また、Monitor LUT を SDI(Main)&Internal Rec、SDI(Sub)&HDMI、Viewfinder の 3 系統で、独立して On/Off の設定が可能になりました。

Auto Iris に対応

SCL-Z18X140 や Auto Iris 対応 PL Mount レンズ、またはマウントアダプター LA-FZB1、LA-FZB2 を使用して Auto Iris 対応 B4 Mount レンズを装着した場合、Auto Iris 動作が可能になりました。

100%Marker 対応

有効な表示画枠を示す 100% Marker に対応しました。

出力別 Marker ON/OFF 機能

Viewfinder と SDI/HDMI 等の外部出力で、独立して Marker の On/Off が可能になりました。

High Key/Low Key 機能追加

高輝度の白飛びや、低輝度の黒つぶれを確認しやすくする High Key/Low Key 機能に対応しました。

Black Gamma 機能

低輝度の Gamma 特性を補正する Black Gamma 機能に対応しました。

2K/HD 59.94/50.0P RGB 3G-Dual 出力対応

システム周波数が 59.94、50.0 のときの SMPTE ST424/425 Level-B 準拠の RGB 3G-Dual 出力に対応しました。

V2.11 で更新される主な機能

CA4000 対応

別売の CA4000 およびその周辺機器 (BPU4000 他) と本機を組み合わせることでシステムカメラとしての運用が可能になりました。

V2.1 で更新される主な機能

ビューファインダー倍速駆動機能追加

システム周波数が 23.98P、24.0P、25.0P、29.97P のときにビューファインダーのみ倍速で駆動し、横方向にパンさせたときのちらつきを抑える機能に対応しました。

Wi-Fi Remote でのセットアップメニュー対応

Wi-Fi Remote 画面にて、本機のセットアップメニューの大部分が設定可能となりました。

Wind Filter 機能に対応

Mic 入力時の Wind Filter 機能に対応しました。Line 入力時には無効になります。

RAW 記録時の HD SDI 出力画角変更対応

Main Operation が RAW に設定されているときでも、HD SDI 出力の画角 (Letter Box/Edge Crop) を任意に設定可能となりました。

V2.0 で更新される主な機能

MLUT 選択肢に S-Log2 追加

Video メニューの Monitor LUT の MLUT Select の選択肢に P4 として S-Log2 を追加しました。

スロー & クイックモーション機能拡張

記録 Format が XAVC 1920 × 1080P での対応フレームレートが、1 ~ 60P に加えて 120P の High Frame Rate Mode に対応しました。

また、記録 Format が XAVC 2048 × 1080P では、1 ~ 60P のフレームレートに対応し、Main Operation が RAW では、2K RAW High Frame Rate Mode に対応しました。(フレームレートは 120P/180P/240P の 3 種類)

記録 Format 追加

XAVC 2048 × 1080 P に対応しました。対応システム周波数は 23.98P、24.0P、25.0P、29.97P、50.0P、59.97P となります。また、XAVC 4096 × 2160 P の対応システム周波数に 24.0P を追加しました。

中国語表示対応

セットアップメニューおよびほとんどの警告などのメッセージを中国語 (簡体) に対応しました。

管理ファイル修復機能

PC 等で、本機で再生できない状態となったメディアの管理ファイルを更新する機能に対応しました。

3840 × 2160 P 出力対応

4096 × 2160 P 出力に加えて、3840 × 2160 P 出力にも対応しました。

また、このときの出力信号形式として、従来の Square Division 形式に加えて 2-sample interleave division 形式にも対応しました。

レックレビュー機能追加

アサインボタンに Rec Review を割り当てることで、撮影したクリップを容易に再生して確認することができるようになります。

SD 出力対応

SDI OUT 1 と同じ信号を SDI OUT 2 に、SDI OUT 3 と同じ信号を SDI OUT 4 に出力できるようにしました。

また、SDI OUT 3/4 (Sub) での SD-SDI 出力および TEST OUT 端子より Analog Composite 信号に対応しました。

B4-FZ マウントアダプター (LA-FZB1、LA-FZB2) 対応

別売りアクセサリーの B4-FZ マウントアダプター (LA-FZB1、LA-FZB2) に対応しました。

Sub Display 機能拡張

Sub Display における CAMERA 画面に CAMERA-2 画面を追加し、また機能ボタンの FILE ボタンと AU/TC ボタンを有効にしました。

FILE ボタンでは All File Load、Scene Recall、Lens Recall に対応し、AU/TC 画面では Audio および Time Code の各種設定が可能になります。

Waveform/Vector/Histogram 表示対応

アサインボタンに Video Signal Monitor をアサインするこ

とで、VF 及び SDI OUT 等に Waveform/Vector/Histogram の表示が可能になります。

User Box Marker 対応

大きさや表示位置が任意に設定できる User Box Marker に対応しました。

Focus Assist Indicator 表示対応

画面中央部分の合焦点状態を示すインジケータ表示に対応しました。

User Gamma 対応

CvpFileEditorTM V4.2 により作成された任意のガンマカーブを SD カードから読み込み、Paint メニューにて選択できるようにしました。

RGB Gamma 対応

Gamma Category が STD を選択しているときに、RGB 独立の Gamma 調整に対応しました。

フリッカー補正対応

屋内照明等で撮影した際に発生するフリッカー現象を補正する機能に対応しました。

V1.21 で更新される主な機能

リモートコントロールユニット使用時の Gain 設定値保持対応変更

Maintenance メニューの Camera Config の RM Common Memory が On で、かつ Camera メニューの Gain の Mode が dB の場合に、リモートコントロールユニット着脱前後の設定を保持するように変更しました。

V1.2 で更新される主な機能

SSiP-SR フォーマット対応

HDCAM-SR で採用している SSiP SR-SQ 444、SR-SQ 422、SR-Lite 422 に対応し、SxS メモリーカードに記録できるようにしました。対応フレームレートは、23.98P、24.0P、25.0P、29.97P となります。

1.3x アナモフィックレンズ対応

1.3x アナモフィックレンズを装着時に、VF メニューの VF Setting の Aspect を Anamo x1.3 に設定すると、ビューファインダーに歪みのない正常な画像が表示できるようにしました。また、Video メニューの Output Setting の 4K/2K to HD Conv. を Anamo x1.3 あるいは Anamo x2 に設定すると、映像出力に歪のない正常な画像が表示できるようにしました。

SxS メモリー記録クリップ名の Cam ID + Reel# 対応

SxS メモリーカードに記録されるクリップ名を Cam ID + Reel# 形式とすることができるようにしました。

これに伴い、System メニューの AXS Recorder の Clip Name の設定を Media メニューの Clip Naming に移動し、AXS メモリーカードに記録される RAW クリップ名も、ここで設定するように変更しました。

カメラステータス画面の焦点距離表示

カメラステータス画面の焦点距離表示の単位を [mm] 固定としました。

USB ワイヤレス LAN モジュール対応

本機に付属されている USB ワイヤレス LAN モジュール IFU-WLM3 を取り付けることで、スマートフォンやタブレットなどのデバイスと本機を Wi-Fi 接続することができるようにしました。

System メニューの Wi-Fi の Wi-Fi を Enable に設定し、スマートフォンやタブレットなどのデバイスのブラウザから本機の IP アドレスにアクセスすると、Wi-Fi Remote 画面が表示されます。

V1.14 で更新される主な機能

APR (Automatic Pixel Restoration)

イメージセンサーに発生した白点を補正する APR 機能に対応しました。電源投入時に APR の実行を促すメッセージが表示されます。

APR を実行するとメッセージは出なくなりますが、5 日以上経過すると再度表示されます。

Camera Position

System メニューの AXS Recorder の Clip Name の設定が Separate の時のクリップ名に、Camera Position を設定できるように対応しました。

Shot Number の先頭文字部分を C / L / R から選択できます。

ビューファインダー画面上のゲイン表示変更

System メニューの Base Setting の Shooting Mode を Cine EI に設定しているときは、ビューファインダー画面上のゲイン表示を EI 値で表示されるように変更しました。

2.0x アナモフィックレンズ対応

2.0x アナモフィックレンズを装着時に、VF メニューの VF Setting の Aspect を Anamo x2 に設定すると、ビューファインダーに歪みのない正常な画像が表示できるようにしました。

V1.13 で更新される主な機能

アサインナブルボタン

アサインナブルボタンに「Rec」（記録開始 / 記録停止の実行）を割り当てた場合、記録が開始されると REC ランプと同様にアサインナブルボタンのランプが点灯するように変更しました。

DC OUT 端子

バッテリーアダプターもしくは AXS-R5 の DC OUT 端子において、Pin No.2 に Rec Tally 信号 (OUT)、Pin No.3 に Rec Trigger 信号 (IN) を配置し、使用できるように対応しました。詳しくは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

Exposure Index 機能

System メニューの Base Setting の Shooting Mode を Cine EI に設定し、Video メニューの Monitor LUT の Main, Sub & Internal Rec が MLUT On に設定されているときに、Exposure Index 設定として 4 種類の Exposure Index が Camera メニューにて設定できるように対応しました。

[EI 値 / Highlight latitude 値]

- PMW-F55 : [400EI / 4.4E]、[640EI / 5.0E]、[800EI / 5.4E]、[1250EI / 6.0E]
- PMW-F5 : [640EI / 4.4E]、[800EI / 4.7E]、[1250EI / 5.4E]、[2000EI / 6.0E]

V1.12 で更新される主な機能

RAW 信号記録時の映像出力

System メニューの Base Setting の Shooting Mode を Cine EI に設定し、Main Operation が RAW の時の HDMI OUT、SDI OUT、および TEST OUT から出力される映像のアスペクトレシオを 16:9 から 17:9 に変更しました。

RAW 信号記録時の VF 出力

System メニューの Base Setting の Shooting Mode を Cine EI に設定し、Main Operation が RAW の時の VF 出力は、VF メニューの VF Setting の Aspect が Auto もしくは Full のいずれの場合も出力される映像のアスペクトレシオを 17:9 とするよう にしました。

RAW 信号記録時の SxS メモリーカード同時記録映像

System メニューの Base Setting の Shooting Mode を Cine EI に設定し、Main Operation が RAW の時に Recording メニューの Rec Control の Setting を SxS & AXS に設定して同時記録を行う際に記録される映像のアスペクトレシオを 16:9 から 17:9 に変更しました。

AXS-R5 の記録時に生成するクリップ名

System メニューの AXS Recorder の Clip Name の設定が Separate の時のクリップ名は、Camera ID + Reel Number で構成されますが、このクリップ名を SR-R4 での命名規則に沿う ように変更しました。

System メニューの AXS Recorder の Camera ID や、Reel Number を変更していなければ、AXS メモリーカードを新規のメディアに交換した際に Reel Number の値がインクリメントされ ます。

電動ズームレンズ (SCL-Z18x140)

電動ズームレンズ (SCL-Z18x140) で、マニュアル操作での運用が できるように対応しました。

ご注意

Iris 値、Focus 値、Zoom 値、スイッチステータス、プロパティ 等のレンズ情報はすべて取得できません。

English

Release Note

Major functions updated with V9.2

Compatible with QD-G120F and QD-G240F XQD memory cards

QD-G120F and QD-G240F have been added to the XQD memory card lineup, which can be used with the camcorder.

* The XQD ExpressCard adapter (QDA-EX1) is required to use an XQD memory card.

Major functions updated with V9.1

Adding options for Output Format (PMW-F55 and PMW-F5 + CBKZ-55FX only)

“4K” and “QFHD” can be selected in “Output Format” when the recording format is set to XAVC 4K or XAVC QFHD, the system frequency is set to 50 or 59.94, and the MPEG2 Proxy function is enabled.

Changing the display of the Time Zone setting values

Region names grouped by UTC +11:30 or UTC -12:00 have been deleted.

Major functions updated with V9.0

Frame rates for 4K and high frame rate recordings added

72, 75, 90, 96, and 100 FPS have been added to the available values in “Frame Rate” when the AXS-R7 is attached to the PMW-F55, and high frame rate recordings in 4K RAW or 4K X-OCN format are performed.

Compatible with the “Parallel Rec” mode with CBK-WA100 attached

The camcorder is compatible with the “Parallel Rec” mode. The “Parallel Rec” mode enables synchronization with the same file name between the XAVC Proxy recording by using the wireless adapter CBK-WA100 that is connected to SDI OUT 1/2 and the camcorder recording.

Note

CBK-WA100 with software version 3.0 or later can be used on this camcorder.

XAVC HD Long added (when the system frequency is set to 29.97 or 59.94)

The camcorder can record and play back with XAVC HD Long (1920 × 1080).

When the system frequency is set to 59.94, you can select 25M, 35M, or 50M mode.

When the system frequency is set to 29.97, you can select 35M or 50M mode.

Major functions updated with V8.0

Compatible with the AXS-R7

The PMW-F55/F5 is compatible with the portable memory recorder AXS-R7.

The following functions are available by attaching the AXS-R7 to the camcorder.

- 4K 120fps recording
4K 120FPS picture can be recorded to the AXS memory card.
When the system frequency is set to 23.98P, slow motion picture in 4K at 5× slower speed can be recorded.
- New format X-OCN recording
In addition to the F55RAW recording mode, a new format X-OCN, which can record more effectively, is available.
- Picture Cache function
The Picture Cache function is also available for recording to an AXS memory card. The Cache Rec Time can be selected up to 30 seconds.

Compatible with XAVC 4K/QFHD Class480 (PMW-F55 and PMW-F5 + CBKZ-55FX only)

XAVC 4K Class480 can be recorded/played when the system frequency is set to 23.98, 24.0, 25.0, or 29.97, and XAVC QFHD Class480 can be recorded/played when the system frequency is set to 23.98, 25.0, or 29.97.

Compatible with the new G series and M series for XQD memory cards

The new G series (QD-G32E, QD-G64E, QD-G128E) and M series (QD-M32A, QD-M64A, QD-M128A) have been added to the XQD memory card lineup, which can be used with the camcorder.

* The XQD ExpressCard adapter (QDA-EX1) is required to use an XQD memory card.

Like the existing G series, the new G series can be used with all recording formats and also when “High Frame Rate Mode” is set to “On” or “Off.” The M series, like the N series, can be used with MPEG 1920 × 1080 P/i and 1280 × 720 P.

Major functions updated with V7.0

Quick menu added

The quick menu, which is displayed in the sub display by pressing the OPTION button, has been added.

The quick menu deploys up to eight useful setting items in the six categories (Project/Monitoring/MLUT/Media/Viewfinder/ Others) respectively.

This allows you to confirm and change the setting contents easily.

Compatible with MPEG2 Proxy in XAVC 4096 × 2160/XAVC 3840 × 2160 59.94P/50P

When the recording format is set to XAVC 4096 × 2160/XAVC 3840 × 2160 and the system frequency is set to 59.94P/50P, the MPEG2 Proxy function is enabled.

Note

You cannot format and restore a memory card during simultaneous recording.

Compatible with the ITU-R BT.2020's matrix correction (PMW-F55 only)

12: ITU-2020 is added to the "Preset Select" setting value in "Matrix" of the Paint menu.

The ITU-R BT.2020's matrix correction is available for the output signal of the 4K or QFHD or video signal recorded on XAVC 4096 × 2160 P or XAVC 3840 × 2160 P.

Notes

- For the 2K/HD outputting signal or viewfinder, the matrix correction equivalent to ITU-R BT.709 operates while "12: ITU-2020" is selected.
- When the playback picture of XAVC 4096 × 2160 P or XAVC 3840 × 2160 P which is set to the 12: ITU-2020 and recorded is output via 2K or HD, the video image does not have the correct colors.

Available range of zebra pattern has been enlarged

The available range of "Zebra1 Level" in "Zebra" of the VF menu is enlarged from "50% to 107%" to "0% to 107%" and that of "Zebra2 Level" is enlarged from "52% to 109%" to "0% to 109%."

Image quality is improved when User Gamma is used

Correction was made so that when you apply the User Gamma that is created in the HDC series to the PMW-F5/F55, the gamma curve becomes the same as that of the HDC series by adjusting the pedestal level etc.

Response of the status screen has been improved

The switching speed of the status screen displayed to a viewfinder and external video monitor was improved.

Major functions updated with V6.0

Compatible with Apple ProRes 4444

Apple ProRes 4444 has been added as a recording format that can be recorded/played by attaching the dedicated option CBK-55PD (sold separately).

Apple ProRes 4444 can be selected when the system frequency is set to 23.98, 24.0, 25.0, or 29.97).

66FPS has been added to the "Frame Rate" in "S&Q Motion"

"66FPS" has been added to the available values in "Frame Rate" when "S&Q Motion" is enabled and "High Frame Rate Mode" is set to "Full Scan" or "Center Scan."

Compatible with User 3D LUT when "S-Gamut/SLog2" is set

When "Color Space" in "Base Setting" of the System menu is set to "S-Gamut/SLog2," User 3D LUT can be used.

Note

When creating a CUBE file with Catalyst Browse and RAW Viewer, make settings following the below method.

When using "Color Space" with "S-Gamut3.Cine/SLog3" or "S-Gamut3/SLog3" set in the camcorder, set the "Source" (Catalyst Browse) or "Input" (RAW Viewer) setting to "S-Gamut3.Cine/S-Log3,"

and when using "Color Space" with "S-Gamut2/SLog2" set in the camcorder, set the "Source"/"Input" setting to "S-Gamut/S-Log2." Note that if you use a CUBE file created mistakenly with a different setting, the color will not be correct.

About the ABB/APR action when selecting Apple ProRes and Avid DNxHD®

It is corrected so that the camcorder does not restart after performing ABB/APR while the recording format is set to ProRes 422 HQ, ProRes 422, DNxHD 220x, or DNxHD 145.

Functions changed with V5.1

About the connection between the PMW-F55 and CA4000 by attaching the CBK-55PD

PMW-F55 attached with the dedicated option CBK-55PD (sold separately) can be connected to the camera system adaptor CA4000.

Major functions updated with V5.0

Compatible with Apple ProRes and Avid DNxHD®

The PMW-F55/F5 can record/play in Apple ProRes 422 (HQ), Apple ProRes 422, Avid DNxHD 220x, and Avid DNxHD 145 by attaching the dedicated option CBK-55PD (sold separately).

Notes

- While these formats are selected, the camcorder restarts after performing ABB/APR.
- The camera system adaptor CA4000 cannot be attached to the PMW-F55 with CBK-55PD installed.

Compatible with SStP SR-SQ 422 59.94i (PMW-F55 only)

The PMW-F55 is compatible with recording/playback in 59.94i when the recording format is SStP SR-SQ 422.

The MPEG Proxy function is available simultaneously.

Compatible with the CBK-55BK

The PMW-F55/F5 is compatible with the dedicated option CBK-55BK (sold separately). Attaching the accessory kit CBK-55BK to the camcorder allows you to operate the camcorder in the shoulder camcorder style, and you can use various audio input/output connectors and direct switches.

Compatible with the 4K/QFHD recording for PMW-F5

By installing the dedicated option CBKZ-55FX (sold separately), recording in XAVC 4096 × 2160P and XAVC 3840 × 2160P is available for the PMW-F5.

The MPEG Proxy function is available simultaneously.

Compatible with White Memory A/B

White Memory, effective during Custom Mode is expanded to Memory A and Memory B. The color temperature can be set for Memory A and Memory B independently.

Compatible with the Interval Rec function

The PMW-F55/F5 is compatible with the Interval Rec function that allows you to record frames specified at regular intervals. The Interval Rec function is available for SxS Memory recording when the recording format is set to XAVC 4096 × 2160P, XAVC 3840 × 2160P, XAVC 2048 × 1080P, or XAVC 1920 × 1080P, and RAW recording (including simultaneous recording to an SxS memory).

Compatible with the Noise Suppression setting of Cine EI Mode

The "Noise Suppression" setting in the Camera menu is available even if "Shooting Mode" in "Base Setting" of the System menu is set to "Cine EI." The default setting is "Off."

Assignable functions for the assignable buttons are expanded

"Color Bars," "VF Focus Magnifier," and "White Memory" (switching between Memory A/B) are added to "Assignable Button."

Compatible with FPS changing using the Menu dial

The frame rate during S&Q Motion can be selected from the 6 types at "Menu Dial Assign" in "Assignable Button" of the System menu.

You can change the frame rate easily by pressing and turning the Menu dial while shooting.

Major functions updated with V4.1

Viewfinder double speed drive function

This function is available when "S&Q Motion" is effective and "Frame Rate" is set to more than 72FPS.

Monitor LUT can be applied for 4K/QFHD recording picture

"SDI(Main)&Internal Rec" in "Monitor LUT" of the Video menu can be set to "MLUT On," even if "Rec Format" of the System menu is set to "XAVC 4096×2160P" or "XAVC 3840×2160P." (In this case, "SDI(Sub)&HDMI" and "Viewfinder" is locked to "MLUT On.")

Assigned functions that can be assigned to the assignable buttons are expanded

The "VF High Contrast" function that enhances the contrast of the pictures on the viewfinder can be assigned.

By using this function, you can enhance the contrast of the pictures contemporarily when displaying a low contrast picture such as S-Log2 or S-Log3.

This function is set to off when the camcorder is restarted.

The default setting of "Color Space" in "Cine EI Mode" is changed to "S-Gamut3.Cine/SLog3"

After performing All Reset, "Color Space" is set to "S-Gamut3.Cine/SLog3" when "Shooting Mode" in "Base Setting" of the System menu is set to "Cine EI."

Improved the picture quality of high contrast pictures

When recording on an SxS memory, high contrast pictures recorded with "Gamma" other than S-Log2/3 are improved to make pictures more natural.

Major functions updated with V4.0

Compatible with the Picture Cache function

The PMW-F5/F55 is compatible with the Picture Cache function that allows you to begin recording a specified number of seconds in advance of the time.

This function is available for the SxS memory recording with the recording format of XAVC 4096×2160P, XAVC 3840×2160P, XAVC 2048×1080P, XAVC 1920×1080P, MPEG 1920×1080P/i, or MPEG 1280×720P recording formats (XAVC is available only when the system frequency is set to 23.98, 24.0, 25.0, or 29.97).

An advance of up to 18 seconds can be set (when using MPEG Format).

Compatible with the User Menu

The User Menu is added on the top of the menu so that the user can access the desired menu item easily.

Up to 20 menu items can be registered/edited. The customized User Menu item can be stored on an SD card as an User Menu Item file, and loaded from the SD card.

Compatible with the sub display menu

The setup menu can be displayed on the sub display. You can perform menu operations only on the PMW-F5/F55.

Compatible with the MPEG Proxy function for the SStP recording (PMW-F55 only)

The PMW-F55 is compatible with the MPEG Proxy function (simultaneously recording in one slot) when the recording format is set to SStP SR-SQ 444/SStP SR-SQ 422, and the system frequency is set to 29.97P.

Compatible with the marker color setting

You can set the marker color from White / Yellow / Cyan / Green / Magenta / Red / Blue.

The auto iris level indication is added

The setting value is displayed on the viewfinder screen when "Level" in "Auto Exposure" of the Camera menu is set to a value other than "±0."

Compatible with the video bandwidth selection for the HD/2K video output

You can select the video bandwidth of the HD/2K video signal from "Wide" (wide bandwidth) (conventional setting) and "Narrow" (narrow bandwidth).

Compatible with User 3D LUT

The PMW-F5/F55 can import a CUBE file (*.cube) of 17 or 33 lattices that is created by RAW Viewer or BMD's Da Vinci Resolve*.

The Gamma option is added

"S-Log3" is added to the "Gamma" option of the Paint menu.

The Color Space option is added

"S-Gamut3" of wide color gamut is added to the "Color Space" option in "Base Setting" of the System menu.

The Matrix options are added (PMW-F55 only)

"10: S-Gamut3.Cine Like" and "11: S-Gamut3 Like" are added to the "Preset Select" option in "Matrix" of the Paint menu.

The Lens RET button can be used for the assignable button

The Lens RET button on the connected lens can be used for the assignable button.

The HDMI output formats are added (PMW-F55 only)

3840×2160 59.94P/50P/29.97P/25P/23.98P, 4096×2160 29.97P/25P are added for the HDMI output format.

Optional accessory is added

CBK-DCB01 (DEMAND CONVERTER BOX) can be used with the PMW-F5/F55.

For details regarding CBK-DCB01 that can be used with the camcorder, contact a Sony service representative.

Major functions updated with V3.0

Recording format is added

The PMW-F5/F55 is compatible with XAVC 3840 × 2160P.

Available system frequency settings are 23.98, 25.0, 29.97, 50.0, 59.94.

The PMW-F5/F55 is compatible with MPEG 1280 × 720P. Available system frequency settings are 50.0, 59.94. The video output format is HD 1280 × 720P or SD signal.

Slow & Quick Motion function

The PMW-F5/F55 is compatible with the Slow & Quick Motion function when the recording format is XAVC 4096 × 2160P or XAVC 3840 × 2160P. Available frame rate is 1 to 60P.

When the recording format is XAVC 2048 × 1080P or XAVC 1920 × 1080P, the available frame rate is expanded; 1 to 180P (System Frequency: 23.98, 24.0, 29.97, 59.94) and 1 to 150P (System Frequency: 25.0, 50.0) are available.

When Main Operation is set to RAW, the available frame rate is expanded; 1 to 240P are available.

Imager Scan Mode is added

The PMW-F5/F55 shoots with the 4K Super 35 mm size for less than 60P frame rate, and the 2K size for more than 60P frame rate. In addition to this, the PMW-F5/F55 is compatible with the 2K Full mode that allows shooting with the 2K Super 35 mm size, and with the 2K Center mode that allows shooting the center area of Super 35 mm with 2K size.

Any string is available for the clip name

The PMW-F5/F55 is compatible with clip names of any string + clip number.

Digital Audio input

Digital audio signal of the AES/EBU format can be input. Four-channel audio input is available by two AES/EBU signals.

RAW playback via the camcorder's output connector

Playback video of a RAW signal that is recorded on the AXS-R5 attached to the PMW-F5/F55, can be output from the output connector of the PMW-F5/F55.

Scene File and Lens File can be loaded/saved from/to an SD card

Up to 64 Scene Files and Up to 64 Lens Files can be saved on an SD card. Saved files can be loaded and written back to the internal memory.

Cine EI mode for YPbPr/RGB

In addition to being available while RAW recording, Cine EI mode is also available while YPbPr or RGB recording to an SxS memory card, without using AXS-R5.

New color gamut and gamma curve

S-Gamut3.Cine is available and easy to adjust for digital cinema (DCIP3). S-Log3 is also available, which is a log signal with 1300% dynamic range, close to Cineon Log curve, and has the characteristics of film.

Monitor LUT function

4 types of Sony Look Profile and User LUT (1D) are added for Monitor LUT selection. You can create User LUT by using RAW Viewer, and up to 6 User LUT can be stored on the internal memory via an SD card.

You can set Monitor LUT on/off independently for SDI(Main)&Internal Rec, SDI(Sub)&HDMI, and Viewfinder.

Auto Iris function

The Auto Iris function is available when using an SCL-Z18X140 or a PL mount lens that is compatible with Auto iris, or when attaching B4 mount lens that is compatible with Auto Iris by using a LA-FZB1, LA-FZB2 mount adapter.

100%Marker

The PMW-F5/F55 is compatible with 100% Marker that indicates the effective picture frame.

Marker ON/OFF function for each output

You can turn the marker on/off for outputs such as Viewfinder and SDI/HDMI, independently.

High Key/Low Key function

The PMW-F5/F55 is compatible with the High Key/Low Key function that allows you to check high key blown-out highlights or low key clipped blacks.

Black Gamma function

The PMW-F5/F55 is compatible with the Black Gamma function that allows you to compensate gamma character of low-luminance.

2K/HD 59.94/50.0P RGB 3G-Dual output

When the system frequency is 59.94 or 50.0, an RGB 3G-Dual signal that conforms to SMPTE ST424/425 Level-B can be output.

Major functions updated with V2.11

Compatible with CA4000

The PMW-F5/F55 can be operated as the system camera by using with the optional CA4000 and peripheral equipment (BPU4000, etc.).

Major functions updated with V2.1

Viewfinder double speed drive function

The PMW-F5/F55 doubles the frame rate for the viewfinder display when the system frequency is 23.98, 24, 25, or 29.97, to decrease image blur while panning the camcorder to the right and the left.

Operation of setup menu from the Wi-Fi Remote

Most of the setup menu items can be set by using the Wi-Fi Remote display.

Wind Filter function

The PMW-F5/F55 is compatible with the wind filter function for MIC input. This function is not effective for LINE input.

Changing the picture angle for HD SDI output while RAW recording

The picture angle for HD SDI output (Letter Box/Edge Crop) can be set when Main Operation is set to RAW.

Major functions updated with V2.0

"S-Log2" is added for the selectable items of MLUT

"S-Log2" is added as "P4" for the selectable items of "MLUT Select" in "Monitor LUT" of the Video menu.

The Slow & Quick motion function is expanded

The frame rate for XAVC 1920 × 1080P of the recording format is compatible with High Frame Rate Mode of 120P in addition 1 to 60P.

The frame rate for XAVC 2048 × 1080P of the recording format is compatible with 1 to 60P, and the 2K RAW High Frame Rate mode when "Main Operation" is set to "RAW" (frame rate is 120P/180P/240P).

Recording format is added

The PMW-F5/F55 is compatible with XAVC 2048 × 1080P. The compatible system frequency is 23.98P, 24.0P, 25.0P, 29.97P, 50.0P, or 59.97P.

24.0P is added as a compatible system frequency of XAVC 4096 × 2160P.

Compatible with the Chinese display

The PMW-F5/F55 is compatible with the Chinese (simplified Chinese) display for the setup menus and most warning messages.

Update function for the managerial file

The PMW-F5/F55 is compatible with the function that updates the managerial file of a media that cannot be played on the PMW-F5/F55.

Compatible with 3840 × 2160P output

The PMW-F5/F55 is compatible with 3840 × 2160P in addition to 4096 × 2160P.

The PMW-F5/F55 is compatible with the 2-sample interleave division method for the output signal, in addition to the Square Division method.

The Rec Review function is added

You can play and check a recorded clip easily by assigning the Rec Review function to an assignable button.

Compatible with SD output

The output signal from SDI OUT 1 can be output from SDI OUT 2, and the output signal from SDI OUT 3 can be output from SDI OUT 4.

The PMW-F5/F55 is compatible with SD-SDI output for SDI OUT 3/4 (Sub), and analog composite signal output for the TEST OUT connector.

Compatible with the B4-FZ mount adapter (LA-FZB1, LA-FZB2)

The PMW-F5/F55 is compatible with the optional B4-FZ mount adapter (LA-FZB1, LA-FZB2).

The sub display function is expanded

The CAMERA-2 screen is added for CAMERA screen of the sub display, and the function buttons of FILE and AU/TC that are used for displaying the sub display are enabled.

The FILE screen is used for "All File Load," "Scene Recall," and "Lens Recall." The AU/TC screen allows to set the setting items of audio and timecode.

Compatible with the Waveform/Vector/Histogram indication

You can display the Waveform/Vector/Histogram indication on the viewfinder or SDI OUT signal by assigning the Video Signal Monitor function to an assignable button.

Compatible with the User Box Marker function

The PMW-F5/F55 is compatible with the User Box Marker function that allows to set the size and location of the user box.

Compatible with the Focus Assist Indicator

The PMW-F5/F55 is compatible with the indicator of the focus status for the center area of the display.

Compatible with the User Gamma function

You can load the gamma curve that is made by CvpFileEditor™ V4.2 from an SD card, and select it on the Paint menu.

Compatible with the RGB Gamma function

The PMW-F5/F55 is compatible with the gamma adjustment for RGB independently when "Gamma Category" is set to "STD."

Compatible with the flicker reduce function

The PMW-F5/F55 is compatible with the function that can reduce flicker that occurs when shooting under the indoor lighting, etc.

Major functions updated with V1.21

Retain the gain setting value when using the remote control unit

The gain setting value before/after removing/attaching the remote control unit can be retained when "RM Common Memory" in "Camera Config" of the Maintenance menu is set to "On," and "Mode" in "Gain" of the Camera menu is set to "dB."

Major functions updated with V1.2

Compatible with the SStP-SR format

The PMW-F5/F55 is compatible with SStP SR-SQ 444, SR-SQ 422, and SR-Lite 422 format files that are adopted for HDCAM-SR, which can be recorded on an SxS memory card. The compatible frame rates are 23.98P, 24.0P, 25.0P, and 29.97P.

Compatible with the x1.3 anamorphic lens

You can display a normal image without distortion on the viewfinder screen by setting "Aspect" in "VF Setting" of the VF menu to "Anamo x1.3" when using the x1.3 anamorphic lens.

You can output a normal image without distortion for the video output by setting "4K/2K to HD Conv." in "Output Setting" of the Video menu to "Anamo x1.3" or "Anamo x2."

"Cam ID + Reel#" naming mode for a clip name recorded on an SxS memory card

The clip recorded on an SxS memory card can be named by the "Cam ID + Reel#" naming method.

The "Clip Name" setting in "AXS Recorder" of the System menu moves to "Clip Naming" of the Media menu, and the RAW clip name is set at "Clip Name" in "Clip Naming" of the Media menu.

Focal Length displayed on the Camera status screen

The unit of Focal Length is locked to "mm."

Compatible with the USB wireless LAN module

Attaching the supplied IFU-WLM3 USB wireless LAN module allows the PMW-F5/F55 to connect with devices such as a smartphone, tablet, etc., via Wi-Fi.

You can display the Wi-Fi remote commander on the device screen by setting "Wi-Fi" in "Wi-Fi" of the System menu to "Enable," and access the PMW-F5/F55's IP address from the browser on the device.

Major functions updated with V1.14

APR (Automatic Pixel Restoration)

The PMW-F5/F55 is compatible with the APR function that corrects white spots in the image sensor. The message for prompting the APR function appears when the PMW-F5/F55 is turned on.

When the APR function is performed, the message disappears. The message appears again when more than 5 days have elapsed.

Camera Position

Camera Position can be set on the clip name when "Clip Name" in "AXS Recorder" of the System menu is set to "Separate."

You can select the first character of the Shot Number from among C, L, and R.

Gain indication on the viewfinder

The Gain indication is displayed as the EI value when "Shooting Mode" in "Base Setting" of the System menu is set to "Cine EI."

Compatible with the x2.0 anamorphic lens

You can display a normal image without distortion on the viewfinder screen by setting "Aspect" in "VF Setting" of the VF menu to "Anamo x2" when using the x2.0 anamorphic lens.

Major functions updated with V1.13

Assignable button

If you assign "Rec" (starts/stops recording) to an assignable button, the assignable button lights up as well as the REC lamp when the PMW-F5/F55 is recording.

DC OUT connector

The Rec Tally signal (OUT) is assigned to Pin No. 2, and the Rec Trigger signal (IN) is assigned to Pin No. 3, for the DC OUT connector of the battery adapter or AXS-R5.

For details, consult Sony service personnel.

Exposure Index function

The four types of "Exposure Index" can be set on the Camera menu when "Shooting Mode" in "Base Setting" of the System menu is set to "Cine EI," and "Main, Sub & Internal Rec" in "Monitor LUT" of the Video menu is set to "MLUT On."

[EI value/Highlight latitude value]

• PMW-F55: [400EI / 4.4E], [640EI / 5.0E], [800EI / 5.4E], [1250EI / 6.0E]

- PMW-F5: [640EI / 4.4E], [800EI / 4.7E], [1250EI / 5.4E], [2000EI / 6.0E]

Major functions updated with V1.12

Video output while recording RAW signal

The aspect ratio of the video that is output from the HDMI OUT, SDI OUT, and TEST OUT connectors is changed to 17:9 from 16:9, when "Shooting Mode" in "Base Setting" of the System menu is set to "Cine EI" and "Main Operation" is set to "RAW".

VF output while recording RAW signal

The video aspect ratio for VF output is changed to 17:9 even if "Aspect" in "VF Setting" of the VF menu is set to "Auto" or "Full," when "Shooting Mode" in "Base Setting" of the System menu is set to "Cine EI" and "Main Operation" is set to "RAW".

Video for simultaneously recording on an SxS memory card while recording RAW signal

When "Shooting Mode" in "Base Setting" of the System menu is set to "Cine EI," "Main Operation" is set to "RAW," "Setting" in "Rec Control" of the Recording menu is set to "SxS & AXS," and simultaneous recording is performed, the aspect ratio of the video changes from 16:9 to 17:9.

Clip name when recording on the AXS-R5

The SR-R4 clip name convention is used, comprising of "Camera ID" + "Reel Number" when "Clip Name" in "AXS Recorder" of the System menu is set to "Separate."

The value of "Reel Number" is incremented when you change to a new AXS memory card, if you do not change "Camera ID" and/or "Reel Number" in "AXS Recorder" of the System menu.

Power zoom lens (SCL-Z18x140)

You can operate the power zoom lens (SCL-Z18x140) manually.

Note

You cannot get the lens information such as iris value, focus value, zoom value, switch status, property, etc.

Français

Note de publication

Principales fonctions mises à jour dans la V9.2

Compatible avec les cartes mémoire QD-G120F et QD-G240F XQD

Les cartes QD-G120F et QD-G240F ont été ajoutées à la gamme de cartes mémoire XQD, qui peuvent être utilisées avec le caméscope.

* L'adaptateur XQD ExpressCard (QDA-EX1) est requis pour utiliser une carte mémoire XQD.

Principales fonctions mises à jour dans la V9.1

Ajout d'options pour Output Format (PMW-F55 et PMW-F5 + CBKZ-55FX uniquement)

« 4K » et « QFHD » sont disponibles sous « Output Format » quand le format d'enregistrement est réglé sur XAVC 4K ou XAVC QFHD, la fréquence du système est réglée sur 50 ou 59.94, et la fonction MPEG2 Proxy est activée.

Modification de l'affichage des valeurs de réglage de Time Zone

Les noms de région groupés sous UTC +11:30 ou UTC -12:00 ont été supprimés.

Principales fonctions mises à jour dans la V9.0

Ajout des fréquences d'image pour 4K et des enregistrements à haute fréquence d'image

72, 75, 90, 96 et 100 FPS ont été ajoutés aux valeurs disponibles sous « Frame Rate » lorsque l'AXS-R7 est fixé au PMW-F55, et les enregistrements à haute fréquence d'image au format 4K RAW ou 4K X-OCN sont effectués.

Compatible avec le mode « Parallel Rec » lorsque le CBK-WA100 est fixé

Le caméscope est compatible avec le mode « Parallel Rec ». Le mode « Parallel Rec » active la synchronisation avec le même nom de fichier entre l'enregistrement du proxy XAVC à l'aide de l'adaptateur sans fil CBK-WA100 raccordé à SDI OUT 1/2 et l'enregistrement du caméscope.

Remarque

Le CBK-WA100 pourvu de la version de logiciel 3.0 ou ultérieure peut être utilisé sur ce caméscope.

Ajout de XAVC HD Long (lorsque la fréquence du système est réglée sur 29.97 ou 59.94)

Le caméscope peut enregistrer et lire avec XAVC HD Long (1920 × 1080).

Lorsque la fréquence du système est réglée sur 59.94, vous pouvez sélectionner le mode 25M, 35M ou 50M.

Lorsque la fréquence du système est réglée sur 29.97, vous pouvez sélectionner le mode 35M ou 50M.

Principales fonctions mises à jour dans la V8.0

Compatible avec l'AXS-R7

Le PMW-F55/F5 est compatible avec l'enregistreur à mémoire portable AXS-R7.

Les fonctions suivantes sont disponibles en fixant l'AXS-R7 au caméscope.

- Enregistrement 4K 120fps
Une image 4K 120FPS peut être enregistrée sur la carte mémoire AXS. Lorsque la fréquence du système est réglée sur 23.98P, une image ralentie en 4K à une vitesse 5x plus lente peut être enregistrée.
- Nouveau format d'enregistrement X-OCN
Outre le nouveau format d'enregistrement F55RAW, un nouveau format baptisé X-OCN, capable d'enregistrer plus efficacement, est disponible.
- Fonction de mémoire cache des images
La fonction de mémoire cache des images est également disponible pour l'enregistrement sur une carte mémoire AXS. La durée d'enregistrement sur mémoire cache est disponible jusqu'à 30 secondes.

Compatible avec XAVC 4K/QFHD Class480 (PMW-F55 et PMW-F5 + CBKZ-55FX uniquement)

Le XAVC 4K Class480 peut être enregistré/lu quand la fréquence du système est réglée sur 23.98, 24.0, 25.0 ou 29.97, et le XAVC QFHD Class480 peut être enregistré/lu quand la fréquence du système est réglée sur 23.98, 25.0 ou 29.97.

Compatible avec les nouvelles séries G et M de cartes mémoire XQD

Les nouvelles séries G (QD-G32E, QD-G64E, QD-G128E) et M (QD-M32A, QD-M64A, QD-M128A) enrichissent la gamme de cartes mémoire XQD, qui peuvent être utilisées avec le caméscope.

* L'adaptateur XQD ExpressCard (QDA-EX1) est requis pour utiliser une carte mémoire XQD.

À l'instar de la série G existante, la nouvelle série G peut être utilisée avec tous les formats d'enregistrement ainsi que lorsque le paramètre « High Frame Rate Mode » est réglé sur « On » ou « Off ». La série M, à l'instar de la série N, peut être utilisée avec les formats MPEG 1920 x 1080 P/i et 1280 x 720 P.

Principales fonctions mises à jour dans la V7.0

Menu rapide ajouté

Le menu rapide, apparaissant dans le sous-écran en appuyant sur la touche OPTION, a été ajouté.

Le menu rapide déploie jusqu'à huit réglages dans les six catégories (Project/Monitoring/MLUT/Media/Viewfinder/Others) respectivement.

Cela permet de vérifier et de modifier facilement le contenu des réglages.

Compatible avec MPEG2 Proxy dans XAVC 4096 x 2160/ XAVC 3840 x 2160 59.94P/50P

Lorsque le format d'enregistrement est réglé sur XAVC 4096 x 2160/XAVC 3840 x 2160 et que la fréquence système est réglée sur 59.94P/50P, la fonction MPEG2 Proxy est activée.

Remarque

Vous ne pouvez pas formater et restaurer une carte mémoire pendant l'enregistrement simultané.

Compatible avec la correction de matrice ITU-R BT.2020 (PMW-F55 uniquement)

12: ITU-2020 est ajouté à la valeur du réglage « Preset Select » dans « Matrix » du menu Paint.

La correction de matrice ITU-R BT.2020 est disponible pour le signal de sortie 4K ou QFHD ou pour le signal vidéo enregistré sur XAVC 4096 x 2160 P ou XAVC 3840 x 2160 P.

Remarques

- Pour le signal de sortie ou le viseur réglé sur 2K/HD, la correction de matrice équivalente à ITU-R BT.709 fonctionne tant que « 12: ITU-2020 » est sélectionné.
- Lorsque l'image de lecture au format XAVC 4096 x 2160 P ou XAVC 3840 x 2160 P, défini sur 12: ITU-2020 et enregistré, est rendue via 2K ou HD, les couleurs de l'image vidéo ne sont pas correctes.

Le choix de motifs zébrés disponibles a été élargi

La gamme disponible de « Zebra1 Level » dans « Zebra » du menu VF est passée de « 50% - 107% » à « 0% - 107% » et celle de « Zebra2 Level » est passée de « 52% - 109% » à « 0% - 109% ».

La qualité d'image est améliorée avec User Gamma

Une correction a été apportée : lorsque vous appliquez le fichier User Gamma créé dans la série HDC au PMW-F5/F55, la courbe de gamma est identique à celle de la série HDC en ajustant le niveau du piedestal, etc.

La réactivité de l'écran d'état a été améliorée

La vitesse de basculement de l'écran d'état affiché dans le viseur et sur un moniteur vidéo externe a été améliorée.

Principales fonctions mises à jour dans la V6.0

Compatible avec Apple ProRes 4444

Apple ProRes 4444 est désormais disponible comme format d'enregistrement/de lecture en installant l'option dédiée CBK-55PD (vendue séparément).

Apple ProRes 4444 peut être sélectionné lorsque la fréquence du système est réglée sur 23.98, 24.0, 25.0 ou 29.97).

66FPS a été ajouté au menu « Frame Rate » dans « S&Q Motion »

« 66FPS » a été ajouté aux valeurs disponibles dans « Frame Rate » lorsque « S&Q Motion » est activé et lorsque « High Frame Rate Mode » est réglé sur « Full Scan » ou « Center Scan ».

Compatible avec User 3D LUT lorsque « S-Gamut/SLog2 » est sélectionné

Lorsque « Color Space » sous « Base Setting » du menu System est réglé sur « S-Gamut/SLog2 », l'option User 3D LUT peut être utilisée.

Remarque

Pour créer un fichier CUBE avec Catalyst Browse et RAW Viewer, procédez aux réglages en suivant la méthode ci-dessous. Pour utiliser « Color Space » alors que « S-Gamut3.Cine/SLog3 » ou « S-Gamut3/SLog3 » est sélectionné sur le caméscope, réglez le paramètre « Source » (Catalyst Browse) ou « Input » (RAW Viewer) sur « S-Gamut3.Cine/S-Log3 », et pour utiliser « Color Space » alors que « S-Gamut2/SLog2 » est sélectionné sur le caméscope, réglez le paramètre « Source »/« Input » sur « S-Gamut/S-Log2 ».

Si vous utilisez un fichier CUBE qui a été créé avec des paramètres différents, la couleur ne sera pas correcte.

Exécution de l'option ABB/APR lorsque Apple ProRes et Avid DNxHD® sont sélectionnés

Une correction a été apportée pour que la caméra ne redémarre pas après avoir exécuté ABB/APR lorsque le format d'enregistrement est réglé sur ProRes 422 HQ, ProRes 422, DNxHD 220x ou DNxHD 145.

Fonctions mises à jour dans la V5.1

Connexion entre le PMW-F55 et le CA4000 en installant l'option CBK-55PD

Il est possible de fixer l'adaptateur de système de caméra CA4000 au PMW-F55 lorsque l'option dédiée CBK-55PD (vendue séparément) est installée.

Principales fonctions mises à jour dans la V5.0

Compatible avec Apple ProRes et Avid DNxHD®

Le PMW-F55/F5 peut enregistrer/lire en Apple ProRes 422 (HQ), Apple ProRes 422, Avid DNxHD 220x et Avid DNxHD 145 lorsque l'option dédiée CBK-55PD (vendue séparément) est fixée.

Remarques

- Lorsque ces formats sont sélectionnés, le caméscope redémarre après avoir exécuté ABB/APR.
- Il est impossible de fixer l'adaptateur de système de caméra CA4000 au PMW-F55 lorsque le CBK-55PD est installé.

Compatible avec SStP SR-SQ 422 59.94i (PMW-F55 uniquement)

Le PMW-F55 est compatible avec l'enregistrement et la lecture en 59.94i lorsque le format d'enregistrement est SStP SR-SQ 422. La fonction Proxy MPEG est disponible simultanément.

Compatible avec le CBK-55BK

Le PMW-F55/F5 est compatible avec l'option dédiée CBK-55BK (vendue séparément). La fixation du kit d'accessoires CBK-55BK au caméscope permet de commander le caméscope sur l'épaule et d'utiliser différents connecteurs d'entrée et de sortie audio et commutateurs directs.

Compatible avec l'enregistrement 4K/QFHD pour PMW-F5

Si vous installez l'option dédiée CBKZ-55FX (vendue séparément), l'enregistrement en XAVC 4096 × 2160P et en XAVC 3840 × 2160P est disponible pour le PMW-F5.

La fonction Proxy MPEG est disponible simultanément.

Compatible avec la mémoire des blancs A/B

La mémoire des blancs, effective en mode Custom, est étendue à Memory A et Memory B. Il est possible de régler la température de couleur séparément pour Memory A et pour Memory B.

Compatible avec la fonction Enregistrement par intervalle

Le PMW-F55/F5 est compatible avec la fonction Enregistrement par intervalle qui permet d'enregistrer les trames spécifiées à intervalles réguliers.

La fonction Enregistrement par intervalle est disponible pour l'enregistrement sur mémoire SxS lorsque le format d'enregistrement est réglé sur XAVC 4096 × 2160P, XAVC 3840 × 2160P, XAVC 2048 × 1080P ou XAVC 1920 × 1080P, et pour l'enregistrement RAW (y compris l'enregistrement simultané sur mémoire SxS).

Compatible avec le réglage de suppression du bruit du mode Cine EI

Le réglage de « Noise Suppression » du menu Camera est disponible même si « Shooting Mode » sous « Base Setting » dans le menu System est réglé sur « Cine EI ». Le réglage par défaut est « Off ».

Les fonctions assignables pour les touches assignables sont étendues

« Color Bars », « VF Focus Magnifier » et « White Memory » (commutant entre les mémoires A et B) sont ajoutés à « Assignable Button ».

Compatible avec le changement de FPS à l'aide de la molette du menu

Pendant l'enregistrement ralenti et accéléré, il est possible de sélectionner le taux de trame parmi 6 types dans « Menu Dial Assign » sous « Assignable Button » du menu System. Vous pouvez facilement modifier le taux de trame en appuyant sur la molette Menu et en la tournant pendant la prise de vue.

Principales fonctions mises à jour dans la V4.1

Fonction d'entraînement à double vitesse du viseur

Cette fonction est disponible lorsque « S&Q Motion » est effectif et que « Frame Rate » est réglé sur une valeur supérieure à 72FPS.

Monitor LUT peut s'appliquer à l'image d'enregistrement 4K/QFHD

« SDI(Main)&Internal Rec » sous « Monitor LUT » du menu Video peut être réglé sur « MLUT On », même si « Rec Format » du menu System est réglé sur « XAVC 4096×2160P » ou « XAVC 3840×2160P ». (Dans ce cas, « SDI(Sub)&HDMI » et « Viewfinder » sont verrouillés sur « MLUT On ».)

Les fonctions assignées pouvant être assignées aux touches assignables sont étendues

La fonction « VF High Contrast » améliorant le contraste des images sur le viseur peut être assignée. Grâce à cette fonction, vous pouvez améliorer le contraste des images au moment de l'affichage d'une image à faible contraste telle que S-Log2 ou S-Log3. Cette fonction se désactive lorsque le caméscope redémarre.

Le réglage par défaut de « Color Space » sous « Cine EI Mode » devient « S-Gamut3.Cine/SLog3 »

Après avoir exécuté All Reset (Tout réinitialiser), « Color Space » est réglé sur « S-Gamut3.Cine/SLog3 » lorsque « Shooting Mode » sous « Base Setting » du menu System est réglé sur « Cine EI ».

Amélioration de la qualité d'image des images à contraste élevé

Lors de l'enregistrement sur une mémoire SxS, les images à contraste élevé enregistrées avec un « Gamma » autre que S-Log2/3 sont améliorées afin de restituer des images plus naturelles.

Principales fonctions mises à jour dans la V4.0

Compatible avec la fonction Cache d'images

Le PMW-F5/F55 est compatible avec la fonction Cache d'images qui vous permet de démarrer l'enregistrement un certain nombre de secondes à l'avance.

Cette fonction est disponible pour les cartes mémoire SxS avec les formats d'enregistrement XAVC 4096×2160P, XAVC 3840×2160P, XAVC 2048×1080P, XAVC 1920×1080P, MPEG 1920×1080P/i ou MPEG 1280×720P (XAVC est uniquement disponible lorsque la fréquence du système est réglée sur 23.98, 24.0, 25.0 ou 29.97).

Il est possible de régler une avance pouvant atteindre 18 secondes (au format MPEG).

Compatible avec le menu User

Le menu User est ajouté en début de menu afin que l'utilisateur accède plus facilement à l'option de menu souhaitée. Il est possible d'enregistrer/modifier jusqu'à 20 options de menu. L'option du menu User personnalisé peut être enregistrée sur une carte SD en tant que fichier d'options du menu User et être chargée à partir de celle-ci.

Compatible avec le menu de l'affichage auxiliaire

Le menu de configuration peut être affiché sur l'affichage auxiliaire. Vous ne pouvez utiliser le menu que sur le PMW-F5/F55.

Compatible avec la fonction Proxy MPEG pour l'enregistrement SStP (PMW-F55 uniquement)

Le PMW-F55 est compatible avec la fonction Proxy MPEG (enregistrement simultané en un emplacement) lorsque le format d'enregistrement est réglé sur SStP SR-SQ 444/SStP SR-SQ 422 et que la fréquence du système est réglée sur 29.97P.

Compatible avec le réglage de la couleur du marqueur

Vous pouvez définir la couleur du marqueur en choisissant Blanc / Jaune / Cyan / Vert / Magenta / Rouge / Bleu.

L'indication du niveau de l'iris automatique a été ajoutée

La valeur de réglage est affichée dans l'écran du viseur lorsque « Level » sous « Auto Exposure » dans le menu Camera est réglé sur une valeur différente de « ±0 ».

Compatible avec la sélection de la bande passante vidéo du signal de sortie vidéo HD/2K

Vous pouvez sélectionner la bande passante vidéo du signal vidéo HD/2K en optant pour « Wide » (bande passante large) (réglage conventionnel) ou « Narrow » (bande passante étroite).

Compatible avec User 3D LUT

Le PMW-F5/F55 peut importer un fichier CUBE (*.cube) de 17 ou 33 grilles créé par RAW Viewer ou Da Vinci Resolve de BMD*.

L'option Gamma est ajoutée

« S-Log3 » est ajouté à l'option « Gamma » dans le menu Paint.

L'option Espace de couleur est ajoutée

« S-Gamut3 » de la gamme de couleurs élargie est ajouté à l'option « Color Space » sous « Base Setting » dans le menu System.

Les options Matrice sont ajoutées (PMW-F55 uniquement)

« 10: S-Gamut3.Cine Like » et « 11: S-Gamut3 Like » sont ajoutés à l'option « Preset Select » sous « Matrix » dans le menu Paint.

La touche RET de l'objectif peut être utilisée comme touche affectable

La touche RET de l'objectif connecté peut être utilisée comme touche affectable.

Les formats de sortie HDMI sont ajoutés (PMW-F55 uniquement)

3840x2160 59.94P/50P/29.97P/25P/23.98P, 4096x2160 29.97P/25P sont ajoutés au format de sortie HDMI.

Un accessoire en option est ajouté

Le CBK-DCB01 (DEMAND CONVERTER BOX) peut être utilisé avec le PMW-F5/F55.

Pour plus de détails sur le CBK-DCB01 qui peut être utilisé avec la caméra, contactez un représentant du service après-vente Sony.

Principales fonctions mises à jour dans la V3.0

Format d'enregistrement ajouté

Le PMW-F5/F55 est compatible avec XAVC 3840 x 2160P. Les réglages de la fréquence de système disponibles sont 23.98, 25.0, 29.97, 50.0, 59.94.

Le PMW-F5/F55 est compatible avec MPEG 1280 x 720P. Les réglages de la fréquence de système disponibles sont 50.0, 59.94. Le format de sortie vidéo est le signal HD 1280 x 720P ou SD.

Fonction Enregistrement ralenti et accéléré

Le PMW-F5/F55 est compatible avec la fonction Enregistrement ralenti et accéléré lorsque le format d'enregistrement est XAVC 4096 x 2160P ou XAVC 3840 x 2160P. Le taux de trame disponible est 1 à 60P.

Lorsque le format d'enregistrement est XAVC 2048 x 1080P ou XAVC 1920 x 1080P, le taux de trame disponible est élargi ; 1 à 180P (System Frequency : 23.98, 24.0, 29.97, 59.94) et 1 à 150P (System Frequency : 25.0, 50.0) sont disponibles.

Lorsque Main Operation est réglé sur RAW, le taux de trame disponible est élargi ; 1 à 240P sont disponibles.

Ajout du mode Imager Scan

Le PMW-F5/F55 travaille au format 4K Super 35 mm pour un taux de trame inférieur à 60P, et au format 2K pour un taux de trame supérieur à 60P. En outre, le PMW-F5/F55 est compatible avec le mode 2K Full qui permet la prise de vue au format 2K Super 35 mm, et avec le mode 2K Center qui permet la prise de vue dans la zone centrale du format Super 35 mm avec 2K.

N'importe quelle chaîne est autorisée pour le nom de plan

Le PMW-F5/F55 est compatible avec les noms de plan comportant n'importe quelle chaîne + numéro de plan.

Entrée audio numérique

Le signal audio numérique au format AES/EBU est accepté comme entrée. L'entrée audio à quatre canaux est possible au moyen de deux signaux AES/EBU.

Lecture RAW via le connecteur de sortie du caméscope

La lecture d'une vidéo d'un signal RAW enregistré sur le AXS-R5 connecté au PMW-F5/F55 peut être reproduite à partir du connecteur de sortie du PMW-F5/F55.

Fichier de scène et Fichier d'objectif peuvent être chargés/enregistrés de/vers une carte SD

Il est possible d'enregistrer jusqu'à 64 fichiers de scène et jusqu'à 64 fichiers d'objectif sur une carte SD. Les fichiers enregistrés peuvent être chargés et réécrits dans la mémoire interne.

Mode Cine EI pour YPbPr/RGB

Le mode Cine EI est non seulement disponible pendant l'enregistrement RAW, mais aussi pendant l'enregistrement YPbPr ou RGB sur une carte mémoire SxS, sans recourir à l'AXS-R5.

Nouvel espace de couleur et nouvelle courbe de gamma

S-Gamut3.Cine est disponible et facilement réglable pour le cinéma numérique (DCIP3). S-Log3 est également disponible. Il s'agit d'un signal logarithmique avec une gamme dynamique de 1300 % proche de la courbe logarithmique Cineon, qui possède les caractéristiques d'un film.

Fonction Monitor LUT

4 types Look Profile et User LUT (1D) Sony ont été ajoutés à la sélection Monitor LUT. Vous pouvez créer un User LUT à l'aide du RAW Viewer et jusqu'à 6 User LUT peuvent être enregistrés dans la mémoire interne via une carte SD.

Vous pouvez activer ou désactiver Monitor LUT indépendamment pour SDI(Main)&Internal Rec, SDI(Sub)&HDMI et Viewfinder.

Fonction Iris automatique

La fonction Iris automatique est disponible lorsque vous utilisez un SCL-Z18X140 ou un objectif à monture PL compatible avec l'Iris automatique, ou lorsque vous fixez un objectif à monture B4 compatible avec l'Iris automatique au moyen d'un adaptateur de monture LA-FZB1 ou LA-FZB2.

100%Marker

Le PMW-F5/F55 est compatible avec 100% Marker qui indique le cadre d'image réel.

Fonction Marker ON/OFF pour chaque sortie

Vous pouvez activer/désactiver indépendamment le marqueur pour des sorties telles que le viseur et SDI/HDMI.

Fonction High Key/Low Key

Le PMW-F5/F55 est compatible avec la fonction High Key/Low Key qui permet de vérifier les hautes lumières saturées et les noirs découpés en faibles lumières.

Fonction Black Gamma

Le PMW-F5/F55 est compatible avec la fonction Black Gamma qui vous permet de corriger le caractère du gamma en faible luminance.

Sortie 2K/HD 59.94/50.0P RGB 3G-Dual

Lorsque la fréquence du système est 59.94 ou 50.0, il est possible de reproduire un signal RGB 3G-Dual conforme à SMPTE ST424/425 Level-B.

Principales fonctions mises à jour dans la V2.11

Compatible avec CA4000

Le PMW-F5/F55 peut être utilisé comme caméra système à l'aide du CA4000 et d'un équipement périphérique en option (BPU4000, etc.).

Principales fonctions mises à jour dans la V2.1

Fonction d'entraînement à double vitesse du viseur

Le PMW-F5/F55 double le taux de trame de l'affichage du viseur lorsque la fréquence du système est 23.98, 24, 25 ou 29.97, afin de diminuer le flou de l'image pendant le panoramique vers la droite ou la gauche.

Utilisation du menu de configuration depuis la télécommande Wi-Fi

La plupart des options du menu de configuration peuvent être définies à l'aide de la télécommande Wi-Fi.

Fonction Wind Filter

Le PMW-F5/F55 est compatible avec la fonction de coupe-vent de l'entrée MIC. Cette fonction n'est pas appliquée à l'entrée LINE.

Changement d'angle d'image de la sortie HD SDI pendant l'enregistrement RAW

L'angle d'image de la sortie HD SDI (Letter Box/Edge Crop) peut être réglé lorsque Main Operation est réglé sur RAW.

Principales fonctions mises à jour dans la V2.0

« S-Log2 » est ajouté aux éléments sélectionnables de MLUT

« S-Log2 » est ajouté en tant que « P4 » aux éléments sélectionnables de « MLUT Select » sous « Monitor LUT » du menu Video.

La fonction Enregistrement ralenti et accéléré est étendue

Le taux de trame pour XAVC 1920 × 1080P du format d'enregistrement est compatible avec le mode Taux de trame élevé de 120P, en plus de 1 à 60P.

Le taux de trame pour XAVC 2048 × 1080P du format d'enregistrement est compatible avec 1 à 60P, et avec le mode Taux de trame élevé RAW 2K lorsque « Main Operation » est réglé sur « RAW » (le taux de trame est 120P/180P/240P).

Un format d'enregistrement est ajouté

Le PMW-F5/F55 est compatible avec XAVC 2048 × 1080P. La fréquence de système compatible est de 23.98P, 24.0P, 25.0P, 29.97P, 50.0P ou 59.97P.

24.0P est ajouté en tant que fréquence de système compatible de XAVC 4096 × 2160P.

Compatible avec l'affichage en chinois

Le PMW-F5/F55 est compatible avec l'affichage en chinois (chinois simplifié) pour les menus de configuration et la plupart des messages d'avertissement.

Fonction de mise à jour du fichier de gestion

Le PMW-F5/F55 est compatible avec la fonction qui met à jour le fichier de gestion d'un support illisible sur le PMW-F5/F55.

Compatible avec la sortie 3840 × 2160P

Le PMW-F5/F55 est compatible avec 3840 × 2160P en plus de 4096 × 2160P.

Le PMW-F5/F55 est compatible avec la méthode 2-échantillon interleave division pour le signal de sortie, en plus de la méthode Square Division.

La fonction Revue instantanée est ajoutée

Vous pouvez facilement lire et vérifier un plan enregistré en attribuant la fonction Revue instantanée à une touche assignable.

Compatible avec la sortie SD

Le signal de sortie de SDI OUT 1 peut être émis par SDI OUT 2, et le signal de sortie de SDI OUT 3 peut être émis par SDI OUT 4.

Le PMW-F5/F55 est compatible avec la sortie SD-SDI pour SDI OUT 3/4 (secondaire), et la sortie de signal composite analogique pour le connecteur TEST OUT.

Compatible avec l'adaptateur de monture B4-FZ (LA-FZB1, LA-FZB2)

Le PMW-F5/F55 est compatible avec l'adaptateur de monture B4-FZ en option (LA-FZB1, LA-FZB2).

La fonction d'affichage secondaire est étendue

L'écran CAMERA-2 est ajouté à l'écran CAMERA de l'affichage secondaire, et les touches de fonction de FILE et AU/TC utilisées pour afficher l'affichage secondaire sont activées.

L'écran FILE est utilisé pour « All File Load », « Scene Recall » et « Lens Recall ». L'écran AU/TC permet de régler les paramètres d'audio et de code temporel.

Compatible avec l'indication Waveform/Vector/Histogram

Vous pouvez afficher l'indication Waveform/Vector/Histogram sur le viseur ou le signal SDI OUT en attribuant la fonction Moniteur de signal vidéo à une touche assignable.

Compatible avec la fonction Marqueur de boîte utilisateur

Le PMW-F5/F55 est compatible avec la fonction Marqueur de boîte utilisateur qui permet de régler la taille et l'emplacement de la boîte utilisateur.

Compatible avec l'Indicateur d'aide à la mise au point

Le PMW-F5/F55 est compatible avec l'indicateur d'état de la mise au point pour la zone centrale de l'affichage.

Compatible avec la fonction Gamma utilisateur

Vous pouvez charger la courbe gamma créée par CvpFileEditorTM V4.2 à partir d'une carte SD, puis la sélectionner dans le menu Paint.

Compatible avec la fonction Gamma RGB

Le PMW-F5/F55 est compatible avec le réglage indépendant de gamma pour RGB lorsque « Gamma Category » est réglé sur « STD ».

Compatible avec la fonction Réduction du scintillement

Le PMW-F5/F55 est compatible avec la fonction qui permet de réduire le scintillement survenant lors d'une prise de vue sous un éclairage intérieur, etc.

Principales fonctions mises à jour dans la V1.21

Conserver la valeur de réglage du gain lors de l'utilisation de la télécommande

La valeur de réglage du gain avant/après le retrait/la fixation de la télécommande peut être conservée lorsque « RM Common Memory » sous « Camera Config » du menu Maintenance est réglé sur « On », et lorsque « Mode » sous « Gain » du menu Camera est réglé sur « dB ».

Principales fonctions mises à jour dans la V1.2

Compatible avec le format SStP-SR

Le PMW-F5/F55 est compatible avec les fichiers au format SStP SR-SQ 444, SR-SQ 422 et SR-Lite 422 adoptés pour HDCAM-SR, qui peuvent être enregistrés sur une carte mémoire SxS. Les taux de trame compatibles sont 23.98P, 24.0P, 25.0P et 29.97P.

Compatible avec l'objectif anamorphique ×1,3

Vous pouvez afficher une image normale sans distorsion sur l'écran du viseur en réglant « Aspect » sous « VF Setting » dans le menu VF sur « Anamo ×1.3 » pour utiliser l'objectif anamorphique ×1,3.

Vous pouvez afficher une image normale sans distorsion pour la sortie vidéo en réglant « 4K/2K to HD Conv. » sous « Output Setting » dans le menu Video sur « Anamo ×1.3 » ou « Anamo ×2 ».

Mode de dénomination « Cam ID + Reel# » pour un nom de clip enregistré sur une carte mémoire SxS

Le clip enregistré sur une carte mémoire SxS peut être nommé par la méthode de dénomination « Cam ID + Reel# ».

Le paramètre « Clip Name » sous « AXS Recorder » dans le menu System devient « Clip Naming » dans le menu Media et le nom

de clip RAW est réglé sur « Clip Name » sous « Clip Naming » dans le menu Media.

Distance focale affichée sur l'écran Camera status

L'unité de la distance focale est verrouillée sur les « mm ».

Compatible avec le module LAN sans fil USB

La fixation du module LAN sans fil USB IFU-WLM3 fourni permet au PMW-F5/F55 de se connecter à des périphériques, comme un smartphone, une tablette, etc., via le Wi-Fi.

Vous pouvez afficher la télécommande Wi-Fi sur l'écran du périphérique en réglant « Wi-Fi » sous « Wi-Fi » dans le menu System sur « Enable », puis accéder à l'adresse IP du PMW-F5/F55 à partir du navigateur du périphérique.

Principales fonctions mises à jour dans la V1.14

APR (restauration automatique des pixels)

Le PMW-F5/F55 est compatible avec la fonction APR qui corrige les points blancs dans le capteur d'images. L'invite de la fonction APR apparaît lorsque le PMW-F5/F55 est sous tension.

Lorsque la fonction APR est exécutée, le message disparaît. Le message réapparaît lorsque plus de 5 jours se sont écoulés.

Camera Position

La Position de la caméra peut être réglée sur le nom de clip lorsque « Clip Name » sous « AXS Recorder » dans le menu System est réglé sur « Separate ».

Vous pouvez sélectionner le premier caractère du Numéro de cliché parmi C, L et R.

Indication du gain sur le viseur

L'Indication du gain s'affiche comme valeur EI lorsque « Shooting Mode » sous « Base Setting » dans le menu System est réglé sur « Cine EI ».

Compatible avec l'objectif anamorphique x2,0

Vous pouvez afficher une image normale sans distorsion sur l'écran du viseur en réglant « Aspect » sous « VF Setting » dans le menu VF sur « Anamo x2 » pour utiliser l'objectif anamorphique x2,0.

Principales fonctions mises à jour dans la V1.13

Touche assignable

Si vous attribuez « Rec » (démarré/arrête l'enregistrement) à une touche assignable, cette dernière s'allume, tout comme le témoin REC, lorsque le PMW-F5/F55 effectue un enregistrement.

Connecteur DC OUT

Le signal de décompte d'enregistrement (OUT) est attribué à la broche n° 2 et le signal de déclenchement d'enregistrement (IN) est attribué à la broche n° 3, pour le connecteur DC OUT de l'adaptateur de batterie ou l'AXS-R5.

Pour plus d'informations, consultez le service après-vente Sony.

Fonction Indice de lumination

Les quatre types d'« Exposure Index » sont réglables dans le menu Camera lorsque « Shooting Mode » sous « Base Setting » dans le menu System est réglé sur « Cine EI » et « Main,Sub & Internal Rec » sous « Monitor LUT » dans le menu Video est réglé sur « MLUT On ».

[Valeur de l'indice de lumination/valeur de la latitude lumineuse]

- PMW-F55 : [400EI / 4.4E], [640EI / 5.0E], [800EI / 5.4E], [1250EI / 6.0E]
- PMW-F5 : [640EI / 4.4E], [800EI / 4.7E], [1250EI / 5.4E], [2000EI / 6.0E]

Principales fonctions mises à jour dans la V1.12

Sortie vidéo pendant l'enregistrement du signal RAW

Le rapport d'aspect de la vidéo émise par les connecteurs HDMI OUT, SDI OUT et TEST OUT passe de 16:9 à 17:9 lorsque « Shooting Mode » sous « Base Setting » dans le menu System est réglé sur « Cine EI » et « Main Operation » est réglé sur « RAW ».

Sortie VF pendant l'enregistrement du signal RAW

Le rapport d'aspect de la sortie VF passe à 17:9 même si « Aspect » sous « VF Setting » dans le menu VF est réglé sur « Auto » ou « Full », lorsque « Shooting Mode » sous « Base Setting » dans le menu System est réglé sur « Cine EI » et « Main Operation » est réglé sur « RAW ».

Vidéo d'un enregistrement simultané sur une carte mémoire SxS pendant l'enregistrement du signal RAW

Lorsque « Shooting Mode » sous « Base Setting » dans le menu System est réglé sur « Cine EI », « Main Operation » est réglé sur « RAW », « Setting » sous « Rec Control » dans le menu Recording est réglé sur « SxS & AXS » et l'enregistrement simultané est effectué, le rapport d'aspect de la vidéo passe de 16:9 à 17:9.

Nom de plan pendant l'enregistrement sur l'AXS-R5

La convention de nom de plan SR-R4 est utilisée ; le nom de plan est composé de « Camera ID » + « Reel Number » lorsque « Clip Name » sous « AXS Recorder » dans le menu System est réglé sur « Separate ».

La valeur de « Reel Number » est incrémentée lorsque vous passez à une nouvelle carte mémoire AXS, si vous ne modifiez pas « Camera ID » et/ou « Reel Number » sous « AXS Recorder » dans le menu System.

Objectif zoom motorisé (SCL-Z18x140)

Vous pouvez utiliser l'objectif zoom motorisé (SCL-Z18x140) manuellement.

Remarque

Vous ne pouvez pas obtenir des informations sur l'objectif telles que la valeur du diaphragme, la valeur de la mise au point, la valeur du zoom, l'état de l'interrupteur, les propriétés, etc.

Deutsch

Freigabemitteilung

Wichtige in V9.2 aktualisierte Funktionen

Kompatibel mit QD-G120F- und QD-G240F-XQD-Speicherkarten

QD-G120F und QD-G240F ergänzen das Sortiment an XQD-Speicherkarten, die mit dem Camcorder verwendet werden können.

* Der XQD ExpressCard-Adapter (QDA-EX1) ist erforderlich, um eine XQD-Speicherkarte nutzen zu können.

Wichtige in V9.1 aktualisierte Funktionen

Zusätzliche Funktionen für Output Format (nur PMW-F55 und PMW-F5 + CBKZ-55FX)

„4K“ und „QFHD“ können unter „Output Format“ gewählt werden, wenn als Aufnahmeformat XAVC 4K oder XAVC QFHD festgelegt ist, die Systemfrequenz auf 50 oder 59.94 eingestellt ist und die Funktion MPEG2 Proxy aktiviert ist.

Geänderte Anzeige der Einstellwerte für Time Zone

Nach UTC +11:30 oder UTC -12:00 gruppierte Namen von Regionen wurden gelöscht.

Wichtige in V9.0 aktualisierte Funktionen

Jetzt Bildwechselfrequenzen für 4K und HFR-Aufnahmen (High Frame Rate)

72, 75, 90, 96 und 100 FPS sind nun ebenfalls als Werte unter „Frame Rate“ verfügbar, wenn der AXS-R7 an den PMW-F55 angebracht ist und HFR-Aufnahmen im Format 4K RAW oder 4K X-OCN ausgeführt werden.

Bei Anschluss des CBK-WA100 mit dem Modus „Parallel Rec“ kompatibel

Der Camcorder ist mit dem Modus „Parallel Rec“ kompatibel. Der Modus „Parallel Rec“ ermöglicht die Synchronisierung zwischen der XAVC-Proxyaufnahme mit dem an SDI OUT 1/2 angeschlossenen WLAN-Adapter CBK-WA100 und der Camcorderaufnahme, wobei die Dateinamen gleich sind.

Hinweis

Der CBK-WA100 mit Softwareversion 3.0 oder höher kann mit diesem Camcorder verwendet werden.

XAVC HD Long hinzugefügt (wenn die Systemfrequenz auf 29.97 oder 59.94 gesetzt ist)

Der Camcorder unterstützt die Aufnahme und Wiedergabe mit XAVC HD Long (1920 × 1080).

Wenn die Systemfrequenz auf 59.94 gesetzt ist, können Sie den Modus 25M, 35M oder 50M auswählen.

Wenn die Systemfrequenz auf 29.97 gesetzt ist, können Sie den Modus 35M oder 50M auswählen.

Wichtige in V8.0 aktualisierte Funktionen

Kompatibilität mit AXS-R7

Der PMW-F55/F5 ist mit dem tragbaren Speicherrecorder AXS-R7 kompatibel.

Die folgenden Funktionen stehen zur Verfügung, wenn Sie den AXS-R7 an den Camcorder anschließen.

- Aufnahme mit 4K 120fps
Bilder mit 4K 120FPS können auf eine AXS-Speicherkarte aufgezeichnet werden. Wenn die Systemfrequenz auf 23.98P eingestellt ist, können Zeitlupenbilder in 4K mit 5-mal langsamerer Geschwindigkeit aufgezeichnet werden.
- Aufnahme in neuem Format X-OCN
Zusätzlich zum Aufnahmemodus F55RAW steht das neue Format X-OCN zur Verfügung, mit dem effektiver aufgezeichnet werden kann.
- Bildpufferfunktion
Die Bildpufferfunktion steht auch bei der Aufnahme auf eine AXS-Speicherkarte zur Verfügung. Als Pufferaufzeichnungsdauer kann ein Wert von bis zu 30 Sekunden ausgewählt werden.

Kompatibilität mit XAVC 4K/QFHD Class480 (nur PMW-F55 und PMW-F5 + CBKZ-55FX)

XAVC 4K Class480 kann bei einer Systemfrequenzeinstellung von 23.98, 24.0, 25.0 oder 29.97 und XAVC QFHD Class480 kann bei einer Systemfrequenzeinstellung von 23.98, 25.0 oder 29.97 aufgezeichnet bzw. wiedergegeben werden.

Kompatibilität mit der neuen G-Serie und M-Serie von XQD-Speicherkarten

Die neue G-Serie (QD-G32E, QD-G64E, QD-G128E) und M-Serie (QD-M32A, QD-M64A, QD-M128A) ergänzen das Sortiment an XQD-Speicherkarten, die mit dem Camcorder verwendet werden können.

* Der XQD ExpressCard-Adapter (QDA-EX1) ist erforderlich, um eine XQD-Speicherkarte nutzen zu können.

Wie die bereits vorhandene G-Serie kann die neue G-Serie mit allen Aufnahmeformaten und auch bei Einstellung von „High

Frame Rate Mode“ auf „On“ oder „Off“ verwendet werden. Die M-Serie kann wie die N-Serie bei MPEG 1920 × 1080 P/i und 1280 × 720 P verwendet werden.

Wichtige in V7.0 aktualisierte Funktionen

Jetzt mit Schnellmenü

Das Schnellmenü, das durch Drücken der Taste OPTION im Subdisplay angezeigt wird, wurde hinzugefügt.

Über das Schnellmenü werden in sechs Kategorien (Project/Monitoring/MLUT/Media/Viewfinder/Others) jeweils bis zu acht nützliche Einstelloptionen bereitgestellt.

Damit können Sie die Einstellungen mühelos prüfen und ändern.

Kompatibilität mit MPEG2 Proxy in XAVC 4096 × 2160/ XAVC 3840 × 2160 59.94P/50P

Wenn das Aufnahmeformat auf XAVC 4096 × 2160/XAVC 3840 × 2160 und die Systemfrequenz auf 59.94P/50P eingestellt ist, wird die Funktion MPEG2 Proxy aktiviert.

Hinweis

Sie können während der gleichzeitigen Aufnahme keine Speicherkarte formatieren und wiederherstellen.

Kompatibilität mit Matrixkorrektur gemäß ITU-R BT.2020 (nur PMW-F55)

12: ITU-2020 wurde als Einstellwert für „Preset Select“ unter „Matrix“ im Paint-Menü hinzugefügt.

Die Matrixkorrektur gemäß ITU-R BT.2020 ist verfügbar für 4K- oder QFHD-Ausgangssignale oder in XAVC 4096 × 2160 P oder XAVC 3840 × 2160 P aufgezeichnete Videosignale.

Hinweise

- Bei 2K-/HD-Ausgangssignalen oder am Sucher läuft die Matrixkorrektur gemäß ITU-R BT.709, solange „12: ITU-2020“ ausgewählt ist.
- Wenn bei einem Wiedergabebild in XAVC 4096 × 2160 P oder XAVC 3840 × 2160 P die Option 12: ITU-2020 eingestellt ist und die Aufnahme über 2K oder HD ausgegeben wird, weist das Videobild nicht die richtigen Farben auf.

Größerer verfügbarer Bereich für Zebrawuster

Der verfügbare Bereich von „Zebra1 Level“ unter „Zebra“ im VF-Menü wurde von „50% bis 107%“ auf „0% bis 107%“ und der Bereich von „Zebra2 Level“ wurde von „52% bis 109%“ auf „0% bis 109%“ erweitert.

Bessere Bildqualität bei Verwendung von User Gamma

Die Funktion wurde dahingehend korrigiert, dass beim Anwenden des in der HDC-Serie erstellten User Gamma auf den PMW-F5/F55 die Gammakurve mit der der HDC-Serie übereinstimmt, wenn Sie den Sockelpegel einstellen usw.

Bessere Reaktion des Statusbildschirms

Das Wechseln des in einem Sucher und auf einem externen Videomonitor angezeigten Statusbildschirms erfolgt schneller.

Wichtige in V6.0 aktualisierte Funktionen

Kompatibilität mit Apple ProRes 4444

Apple ProRes 4444 wurde als Aufnahmeformat hinzugefügt, mit dem die Aufnahme/Wiedergabe möglich ist, wenn die dedizierte Option CBK-55PD (gesondert erhältlich) angebracht wird.

Apple ProRes 4444 kann ausgewählt werden, wenn als Systemfrequenz 23.98, 24.0, 25.0 oder 29.97 eingestellt ist.

66FPS jetzt Option in „Frame Rate“ unter „S&Q Motion“

„66FPS“ ist jetzt als Wert unter „Frame Rate“ verfügbar, wenn „S&Q Motion“ aktiviert ist und „High Frame Rate Mode“ auf „Full Scan“ oder „Center Scan“ eingestellt ist.

Kompatibilität mit User 3D LUT, wenn „S-Gamut/SLog2“ eingestellt ist

Wenn „Color Space“ unter „Base Setting“ im System-Menü auf „S-Gamut/SLog2“ eingestellt ist, kann User 3D LUT verwendet werden.

Hinweis

Nehmen Sie die Einstellungen beim Erstellen einer CUBE-Datei mit Catalyst Browse und RAW Viewer folgendermaßen vor. Wenn im Camcorder „Color Space“ auf „S-Gamut3.Cine/SLog3“ oder „S-Gamut3/SLog3“ eingestellt ist, setzen Sie „Source“ (Catalyst Browse) bzw. „Input“ (RAW Viewer) auf „S-Gamut3.Cine/S-Log3“, und wenn im Camcorder „Color Space“ auf „S-Gamut2/SLog2“ eingestellt ist, setzen Sie „Source“/„Input“ auf „S-Gamut/S-Log2“.

Beachten Sie, dass bei Verwendung einer CUBE-Datei, die versehentlich mit einer anderen Einstellung erstellt wurde, die Farben nicht korrekt sind.

Hinweis zum Ausführen von ABB/APR bei Auswahl von Apple ProRes und Avid DNxHD®

Der Camcorder wird jetzt nicht mehr neu gestartet, nachdem ABB/APR ausgeführt wurde, während das Aufnahmeformat auf ProRes 422 HQ, ProRes 422, DNxHD 220x oder DNxHD 145 eingestellt war.

In V5.1 geänderte Funktionen

Hinweis zur Verbindung zwischen dem PMW-F55 und dem CA4000 bei Installation der CBK-55PD

Wenn die dedizierte Option CBK-55PD (gesondert erhältlich) installiert ist, kann der PMW-F55 mit dem Kamerasystemadapter CA4000 verbunden werden.

Wichtige in V5.0 aktualisierte Funktionen

Kompatibilität mit Apple ProRes und Avid DNxHD®

Der PMW-F55/F5 unterstützt die Aufnahme/Wiedergabe in Apple ProRes 422 (HQ), Apple ProRes 422, Avid DNxHD 220x und Avid DNxHD 145, wenn die Zubehoeroption CBK-55PD (gesondert erhältlich) installiert ist.

Hinweise

- Wenn diese Formate ausgewählt sind, wird der Camcorder nach dem Ausführen von ABB/APR neu gestartet.
- Der Kamerasystemadapter CA4000 kann nicht am PMW-F55 angebracht werden, wenn die CBK-55PD installiert ist.

Kompatibilität mit SStP SR-SQ 422 59.94i (nur PMW-F55)

Der PMW-F55 unterstützt die Aufnahme/Wiedergabe in 59.94i, wenn das Aufnahmeformat auf SStP SR-SQ 422 eingestellt ist. Die MPEG-Proxy-Funktion steht gleichzeitig zur Verfügung.

Kompatibilität mit der CBK-55BK

Der PMW-F55/F5 ist mit der Zubehoeroption CBK-55BK (gesondert erhältlich) kompatibel. Wenn Sie den Zubehoersatz CBK-55BK am Camcorder anbringen, können Sie den Camcorder wie einen Schultercamcorder verwenden und zudem stehen verschiedene Audioein-/ausgänge und Direktbedienungsschalter zur Verfügung.

Kompatibilität mit der 4K/QFHD-Aufnahme beim PMW-F5

Wenn Sie die Zubehoeroption CBKZ-55FX (gesondert erhältlich) installieren, steht beim PMW-F5 die Aufnahme im Format XAVC 4096 × 2160P und XAVC 3840 × 2160P zur Verfügung. Die MPEG-Proxy-Funktion steht gleichzeitig zur Verfügung.

Kompatibilität mit Weißwertspeicher A/B

Als Weißwertspeicher im Custom-Modus stehen jetzt Memory A und Memory B zur Verfügung. Die Farbtemperatur kann für Memory A und Memory B separat eingestellt werden.

Kompatibilität mit der Intervall-Aufzeichnung

Der PMW-F55/F5 unterstützt die Intervall-Aufzeichnung, mit der Sie Einzelbilder in festgelegten Intervallen aufnehmen können. Die Intervall-Aufzeichnung ist bei SxS-Speicheraufnahmen verfügbar, wenn das Aufnahmeformat auf XAVC 4096 × 2160P, XAVC 3840 × 2160P, XAVC 2048 × 1080P oder XAVC 1920 × 1080P eingestellt ist und bei RAW-Aufnahmen (einschließlich gleichzeitiger Aufnahme auf einen SxS-Speicher).

Kompatibilität mit der Rauschunterdrückungseinstellung des Cine EI-Modus

Die Einstellung „Noise Suppression“ im Camera-Menü ist selbst dann verfügbar, wenn „Shooting Mode“ unter „Base Setting“ im System-Menü auf „Cine EI“ gesetzt ist. Die Standardeinstellung ist „Off“.

Weitere Funktionen für die frei belegbaren Funktionstasten

„Color Bars“, „VF Focus Magnifier“ und „White Memory“ (Umschalten zwischen Speicher A/B) wurden zur Option „Assignable Button“ hinzugefügt.

Kompatibilität mit FPS-Wechsel über den Menüregler

Die Bildrate während Zeitlupe und Zeitraffer kann aus den 6 Typen in „Menu Dial Assign“ unter „Assignable Button“ im System-Menü ausgewählt werden.

Sie können die Bildrate mühelos ändern, indem Sie beim Aufnehmen den Menüregler drücken und drehen.

Wichtige in V4.1 aktualisierte Funktionen

Double Speed Drive-Funktion für Sucher

Diese Funktion ist verfügbar, wenn „S&Q Motion“ aktiv und „Frame Rate“ auf einen höheren Wert als 72FPS eingestellt ist.

Die Monitor LUT kann auf das 4K/QFHD-Aufnahmebild angewendet werden

„SDI(Main)&Internal Rec“ unter „Monitor LUT“ im Video-Menü kann auf „MLUT On“ gesetzt werden, selbst wenn „Rec Format“ im System-Menü auf „XAVC 4096×2160P“ oder „XAVC 3840×2160P“ eingestellt ist. (In diesem Fall sind „SDI(Sub)&HDMI“ und „Viewfinder“ fest auf „MLUT On“ eingestellt.)

Mehr Funktionen können den frei belegbaren Funktionstasten zugewiesen werden

Die Funktion „VF High Contrast“ zur Verbesserung des Bildkontrasts im Sucher kann zugewiesen werden.

Mit dieser Funktion können Sie den Bildkontrast bei der Anzeige von Bildern mit schwachem Kontrast wie S-Log2 oder S-Log3 vorübergehend verbessern.

Diese Funktion wird deaktiviert, wenn der Camcorder neu gestartet wird.

Die Standardeinstellung von „Color Space“ unter „Cine EI Mode“ lautet nun „S-Gamut3.Cine/SLog3“

Nach dem Zurücksetzen mit All Reset ist „Color Space“ auf „S-Gamut3.Cine/SLog3“ eingestellt, wenn „Shooting Mode“ unter „Base Setting“ im System-Menü auf „Cine EI“ gesetzt ist.

Verbesserte Bildqualität von Bildern mit hohem Kontrast

Bei SxS-Speicheraufnahmen wurde die Qualität von Bildern mit hohem Kontrast, die mit einem anderen „Gamma“-Wert als S-Log2/3 aufgezeichnet wurden, verbessert und die Bilder wirken natürlicher.

Wichtige in V4.0 aktualisierte Funktionen

Kompatibilität mit der Bildpufferfunktion

Der PMW-F5/F55 unterstützt die Bildpufferfunktion, mit der Sie festlegen können, dass eine bestimmte Anzahl an Sekunden vor dem Beginn der Aufzeichnung mit aufgezeichnet wird.

Diese Funktion ist bei SxS-Speicheraufnahmen in den Aufnahmeformaten XAVC 4096x2160P, XAVC 3840x2160P, XAVC 2048x1080P, XAVC 1920x1080P, MPEG 1920x1080P/i und MPEG 1280x720P verfügbar (XAVC steht zur Verfügung, wenn als Systemfrequenz 23.98, 24.0, 25.0 oder 29.97 eingestellt ist). Eine Vorlaufzeit von bis zu 18 Sekunden kann eingestellt werden (bei Verwendung des MPEG-Formats).

Kompatibilität mit dem Benutzermenü

Das Benutzermenü befindet sich ganz oben im Menü, so dass der Benutzer schnellen Zugriff auf die gewünschte Menüoption hat. Bis zu 20 Menüoptionen können registriert/bearbeitet werden. Vom Benutzer registrierte Benutzermenüoptionen können als Benutzermenüoptions-Datei auf einer SD-Karte gespeichert und von der SD-Karte geladen werden.

Kompatibilität mit dem Subdisplay-Menü

Das Einstellungsmenü kann im Subdisplay aufgerufen werden. Sie können Menüfunktionen nur auf dem PMW-F5/F55 ausführen.

Kompatibilität mit der MPEG-Proxy-Funktion für SStP-Aufnahmen (nur PMW-F55)

Der PMW-F55 unterstützt die MPEG-Proxy-Funktion (gleichzeitige Aufnahme an einem Einschub), wenn das Aufnahmeformat auf SStP SR-SQ 444/SStP SR-SQ 422 und die Systemfrequenz auf 29.97P eingestellt ist.

Kompatibilität mit der Einstellung der Markierungsfarbe

Sie können Weiß/Gelb/Zyan/Grün/Magenta/Rot/Blau als Markierungsfarbe einstellen.

Die Anzeige des Pegels der Blendenautomatik wurde hinzugefügt

Der Einstellwert wird auf dem Sucherbildschirm angezeigt, wenn „Level“ unter „Auto Exposure“ im Camera-Menü auf einen anderen Wert als „±0“ eingestellt wird.

Kompatibilität mit der Videobandbreitenauswahl für die HD/2K-Videoausgabe

Sie können „Wide“ (große Bandbreite) (normale Einstellung) und „Narrow“ (geringe Bandbreite) als Videobandbreite für das HD/2K-Videoauswahl auswählen.

Kompatibilität mit benutzerdefinierter 3D-LUT

Mit dem PMW-F5/F55 können CUBE-Dateien (*.cube) aus 17 oder 33 Gittern importiert werden, die mit RAW Viewer oder Da Vinci Resolve* von BMD erstellt wurden.

Weitere Gamma-Option

„S-Log3“ wurde zur Option „Gamma“ im Paint-Menü hinzugefügt.

Weitere Farbraum-Option

„S-Gamut3“ mit breitem Farbgamut wurde zur Option „Color Space“ unter „Base Setting“ im System-Menü hinzugefügt.

Weitere Matrix-Optionen (nur PMW-F55)

„10: S-Gamut3.Cine Like“ und „11: S-Gamut3 Like“ wurden zur Option „Preset Select“ unter „Matrix“ im Paint-Menü hinzugefügt.

Der Taste RET am Objektiv kann eine Funktion zugewiesen werden

Der Taste RET am angeschlossenen Objektiv kann eine Funktion zugewiesen werden.

Neue HDMI-Ausgangsformate (nur PMW-F55)

3840x2160 59.94P/50P/29.97P/25P/23.98P sowie 4096x2160 29.97P/25P wurden als HDMI-Ausgangsformate hinzugefügt.

Weiteres Sonderzubehör

Die CBK-DCB01 (DEMAND CONVERTER BOX) kann mit dem PMW-F5/F55 verwendet werden.

Für Einzelheiten zu der mit dem Camcorder verwendbaren CBK-DCB01 wenden Sie sich an einen Sony-Kundendienstmitarbeiter.

Wichtige in V3.0 aktualisierte Funktionen

Weiteres Aufnahmeformat

Der PMW-F5/F55 ist mit XAVC 3840 x 2160P kompatibel. Die Systemfrequenz kann auf 23.98, 25.0, 29.97, 50.0 oder 59.94 eingestellt werden.

Der PMW-F5/F55 ist mit MPEG 1280 x 720P kompatibel. Die Systemfrequenz kann auf 50.0 oder 59.94 eingestellt werden. Videosignale werden im Format HD 1280 x 720P oder SD ausgegeben.

Zeitlupe und Zeitraffer

Der PMW-F5/F55 unterstützt Zeitlupe und Zeitraffer, wenn XAVC 4096 x 2160P oder XAVC 3840 x 2160P als Aufnahmeformat eingestellt ist. Die Einzelbildrate kann auf 1 bis 60P eingestellt werden.

Wenn XAVC 2048 x 1080P oder XAVC 1920 x 1080P als Aufnahmeformat eingestellt ist, stehen weitere Einzelbildraten zur Verfügung: 1 bis 180P (System Frequency: 23.98, 24.0, 29.97, 59.94) und 1 bis 150P (System Frequency: 25.0, 50.0).

Wenn „Main Operation“ auf „RAW“ eingestellt ist, stehen weitere Einzelbildraten zur Verfügung: 1 bis 240P.

Weiterer Abtastmodus des Bildwandlers

Der PMW-F5/F55 zeichnet bei einer Einzelbildrate von unter 60P im 4K-Super-35-mm-Format und bei einer Einzelbildrate von über 60P im 2K-Format auf. Zudem unterstützt der PMW-F5/F55 den Modus „2K Full“ für die Aufnahme im 2K-Super-35-mm-Format und den Modus „2K Center“ für die Aufnahme des mittleren Bereichs des Super-35-mm-Bilds im 2K-Format.

Beliebige Zeichenfolge als Clipname verwendbar

Beim PMW-F5/F55 können Clipnamen aus einer beliebigen Zeichenfolge + Clipnummer bestehen.

Einspeisung digitaler Audiosignale

Digitale Audiosignale im AES/EBU-Format können eingespeist werden. Vierkanal-Audiosignale können mithilfe von zwei AES/EBU-Signalen eingespeist werden.

RAW-Wiedergabe über Camcorderausgang

Das Wiedergabevideobild eines RAW-Signals, das auf einem am PMW-F5/F55 angebrachten AXS-R5 aufgezeichnet wurde, kann über den Ausgang des PMW-F5/F55 ausgegeben werden.

Szene-Dateien und Objektivdateien können von einer SD-Karte geladen bzw. darauf gespeichert werden

Bis zu 64 Szene-Dateien und bis zu 64 Objektivdateien können auf einer SD-Karte gespeichert werden. Gespeicherte Dateien können geladen und wieder in den internen Speicher geschrieben werden.

Modus „Cine EI“ für YPbPr/RGB

Der Modus „Cine EI“ ist nicht nur bei der RAW-Aufnahme verfügbar, sondern auch beim Aufnehmen von YPbPr- oder RGB-Signalen auf eine SxS-Speicherkarte ohne Verwendung des AXS-R5.

Neuer Farbgamut und neue Gammakurve

Mit S-Gamut3.Cine steht jetzt ein leicht an den Digital Cinema Farbraum (DCIP3) anpassbarer Farbgamut zur Verfügung. Außerdem steht S-Log3 zur Auswahl, wobei es sich um ein Log-Signal mit einem Dynamikbereich von 1300 % handelt, das der Cineon Log-Kurve und den Merkmalen von Film nahe kommt.

Monitor-LUT

Für die Monitor-LUT-Auswahl stehen jetzt weitere 4 Sony Look Profile-Typen und benutzerdefinierte LUTs (1D) zur Verfügung. Sie können mit RAW Viewer benutzerdefinierte LUTs erstellen, wobei bis zu 6 benutzerdefinierte LUTs über eine SD-Karte im internen Speicher abgelegt werden können.

Die Option „Monitor LUT“ kann für „SDI(Main)&Internal Rec“, „SDI(Sub)&HDMI“ und „Viewfinder“ getrennt ein- bzw. ausgeschaltet werden.

Blendenautomatik

Die Blendenautomatik steht zur Verfügung, wenn Sie ein SCL-Z18X140 oder ein mit der Blendenautomatik kompatibles PL-Mount-Objektiv verwenden oder wenn Sie ein B4-Mount-Objektiv anbringen, das mithilfe des Mount-Adapters LA-FZB1 oder LA-FZB2 mit der Blendenautomatik kompatibel ist.

100%-Markierung

Der PMW-F5/F55 unterstützt die 100%-Markierung zur Anzeige des effektiven Bildausschnitts.

Ein-/Ausschalten der Markierung für jeden Ausgang

Sie können die Markierung für Ausgänge wie den Sucher und SDI/HDMI getrennt ein- bzw. ausschalten.

High Key-/Low Key-Funktion

Der PMW-F5/F55 unterstützt die High Key-/Low Key-Funktion zur Überprüfung „ausgefressener“ Lichter bei High-key-Aufnahmen und „abgesoffener“ Schatten bei Low-key-Aufnahmen.

Schwarzgammfunktion

Der PMW-F5/F55 unterstützt die Schwarzgammfunktion zur Gammakorrektur in Bereichen mit niedriger Luminanz.

Ausgabe mit 2K/HD 59.94/50.0P RGB 3G-Dual

Wenn die Systemfrequenz auf 59.94 oder 50.0 eingestellt ist, kann ein RGB 3G-Dual-Signal ausgegeben werden, das SMPTE ST424/425 Level-B entspricht.

Wichtige in V2.11 aktualisierte Funktionen

Kompatibilität mit CA4000

Der PMW-F5/F55 kann mit dem optionalen CA4000 und Peripheriegeräten (BPU4000 usw.) als Systemkamera konfiguriert werden.

Wichtige in V2.1 aktualisierte Funktionen

Double Speed Drive-Funktion für Sucher

Der PMW-F5/F55 verdoppelt die Einzelbildrate für die Sucheranzeige, wenn die Systemfrequenz auf 23.98, 24, 25 oder 29.97 eingestellt ist, um Bildunschärfen bei Camcorderschwenks nach rechts und links zu verringern.

Bedienung des Einstellungsmenüs über Wi-Fi-Fernbedienung

Die meisten Optionen im Einstellungsmenü können über die Wi-Fi-Fernbedienungsanzeige eingestellt werden.

Windfilterfunktion

Der PMW-F5/F55 unterstützt die Windfilterfunktion für MIC-Eingangssignale. Auf LINE-Eingangssignale wirkt sich die Funktion nicht aus.

Ändern des Blickwinkels der HD SDI-Ausgabe während der RAW-Aufnahme

Der Blickwinkel der HD SDI-Ausgabe (Letter Box/Edge Crop) kann eingestellt werden, wenn „Main Operation“ auf „RAW“ eingestellt ist.

Wichtige in V2.0 aktualisierte Funktionen

„S-Log2“ jetzt unter MLUT als Option auswählbar

„S-Log2“ wurde als „P4“ zu den für „MLUT Select“ unter „Monitor LUT“ im Video-Menü auswählbaren Optionen hinzugefügt.

Erweiterung der Zeitlupen-/Zeitraffer-Funktion

Die Einzelbildrate für das Aufnahmeformat XAVC 1920 × 1080P ist mit dem HFR-Modus (High Frame Rate) 120P sowie mit 1 bis 60P kompatibel.

Die Einzelbildrate für das Aufnahmeformat XAVC 2048 × 1080P ist mit einer Einzelbildrate von 1 bis 60P sowie dem 2K-RAW-HFR-Modus (High Frame Rate) kompatibel, wenn „Main Operation“ auf „RAW“ eingestellt ist (Einzelbildrate ist 120P/180P/240P).

Weiteres Aufnahmeformat

Der PMW-F5/F55 ist mit XAVC 2048 × 1080P kompatibel. Kompatible Systemfrequenzen sind 23.98P, 24.0P, 25.0P, 29.97P, 50.0P und 59.97P.

24.0P wird jetzt als kompatible Systemfrequenz für XAVC 4096 × 2160P unterstützt.

Kompatibilität mit Anzeige chinesischer Zeichen

Der PMW-F5/F55 unterstützt die Anzeige von Einstellungsmenüs und den meisten Warnmeldungen in chinesischen Zeichen (vereinfachtes Chinesisch).

Aktualisierungsfunktion für Verwaltungsdatei

Der PMW-F5/F55 unterstützt eine Funktion zur Aktualisierung der Verwaltungsdatei eines Mediums, das auf dem PMW-F5/F55 nicht wiedergegeben werden kann.

Kompatibilität mit 3840 × 2160P-Ausgabe

Der PMW-F5/F55 ist nicht nur mit 4096 × 2160P, sondern auch mit 3840 × 2160P kompatibel.

Der PMW-F5/F55 unterstützt zusätzlich zur Methode „Square Division“ die Methode „2-Sample Interleave Division“ für das Ausgangssignal.

Neue Funktion zum Prüfen der Aufnahme (Rec Review)

Aufgenommene Clips lassen sich problemlos wiedergeben und prüfen, wenn die Funktion Rec Review einer frei belegbaren Funktionstaste zugewiesen ist.

Kompatibilität mit SD-Ausgabe

Das SDI OUT 1-Ausgabesignal kann über SDI OUT 2 und das SDI OUT 3-Ausgabesignal über SDI OUT 4 ausgegeben werden.

Der PMW-F5/F55 unterstützt die Ausgabe von SD-SDI-Signalen über SDI OUT 3/4 (Sub) und die Ausgabe analoger Composite-Signale über den Anschluss TEST OUT.

Kompatibilität mit dem B4-FZ-Mount-Adapter (LA-FZB1, LA-FZB2)

Der PMW-F5/F55 ist mit dem optionalen B4-FZ-Mount-Adapter (LA-FZB1, LA-FZB2) kompatibel.

Erweiterung der Subdisplay-Funktion

Das Subdisplay enthält jetzt neben dem Bildschirm CAMERA zusätzlich den Bildschirm CAMERA-2 und die Funktionstasten für FILE und AU/TC stehen zum Aufrufen des Subdisplays zur Verfügung.

Der Bildschirm FILE wird für „All File Load“, „Scene Recall“ und „Lens Recall“ verwendet. Im Bildschirm AU/TC können Optionen für Ton und Zeitcode eingestellt werden.

Kompatibilität mit der Anzeige von Waveform/Vector/Histogram

Sie können die Anzeige von Waveform/Vector/Histogram im Sucher oder im SDI OUT-Signal einblenden, indem Sie die Funktion „Video Signal Monitor“ einer frei belegbaren Taste zuweisen.

Kompatibilität mit Funktion für Benutzerfeld-Markierung

Der PMW-F5/F55 unterstützt eine Funktion für die Benutzerfeld-Markierung, mit der sich die Größe und Position des Benutzerfelds einstellen lässt.

Kompatibilität mit Fokussierhilfe-Anzeige

Der PMW-F5/F55 unterstützt die Anzeige des Fokussierstatus in der Mitte des Displays.

Kompatibilität mit benutzerdefiniertem Gamma

Sie können eine mit CvpFileEditor™ V4.2 erstellte Gammakurve von einer SD-Karte laden und im Paint-Menü auswählen.

Kompatibilität mit RGB-Gamma

Der PMW-F5/F55 unterstützt die getrennte Gamma-Einstellung für RGB, wenn „Gamma Category“ auf „STD“ eingestellt ist.

Kompatibilität mit der Flimmerreduzierung

Der PMW-F5/F55 unterstützt eine Funktion, die das Flimmern bei Innenaufnahmen unter bestimmten Lichtquellen usw. reduziert.

Wichtige in V1.21 aktualisierte Funktionen

Beibehaltung des Gain-Einstellwerts bei Verwendung der Fernbedienung

Der vor/nach dem Trennen/Anschließen der Fernbedienung eingestellte Gain-Wert wird beibehalten, wenn „RM Common Memory“ unter „Camera Config“ im Maintenance-Menü auf „On“ und „Mode“ unter „Gain“ im Camera-Menü auf „dB“ eingestellt sind.

Wichtige in V1.2 aktualisierte Funktionen

Kompatibel mit dem Format SStP-SR

Der PMW-F5/F55 ist kompatibel mit Dateien im Format SStP SR-SQ 444, SR-SQ 422 und SR-Lite 422 für HDCAM-SR, die auf eine SxS-Speicherkarte aufgenommen werden können. Die kompatiblen Bildraten sind 23.98P, 24.0P, 25.0P und 29.97P.

Kompatibel mit dem anamorphotischen x1,3-Objektiv

Sie können bei Verwendung des anamorphotischen x1,3-Objektivs ein Bild normal und ohne Verzerrung auf dem Sucherbildschirm anzeigen, indem Sie „Aspect“ unter „VF Setting“ im VF-Menü auf „Anamo x1.3“ setzen.

Sie können ein Bild normal und ohne Verzerrung am Videoausgang ausgeben, indem Sie „4K/2K to HD Conv.“ unter „Output Setting“ im Video-Menü auf „Anamo x1.3“ oder „Anamo x2“ setzen.

„Cam ID + Reel#“-Benennungsmodus für den Namen eines auf einer SxS-Speicherkarte aufgenommenen Clips

Der auf einer SxS-Speicherkarte aufgenommene Clip kann nach der Methode „Cam ID + Reel#“ benannt werden.

Die Einstellung „Clip Name“ unter „AXS Recorder“ im System-Menü findet sich jetzt in „Clip Naming“ im Media-Menü und der Name des RAW-Clips wird in „Clip Name“ unter „Clip Naming“ im Media-Menü eingestellt.

Brennweite im Bildschirm Camera status angezeigt

Die Einheit der Brennweite ist fest auf „mm“ eingestellt.

Kompatibel mit dem USB-WLAN-Modul

Wenn Sie das mitgelieferte USB-WLAN-Modul IFU-WLM3 anbringen, kann der PMW-F5/F55 über Wi-Fi eine Verbindung mit Geräten wie einem Smartphone, Tablet usw. herstellen.

Sie können die Wi-Fi-Fernbedienung auf dem Display des Geräts anzeigen, indem Sie „Wi-Fi“ unter „Wi-Fi“ im System-Menü auf „Enable“ setzen und vom Browser des Geräts auf die IP-Adresse des PMW-F5/F55 zugreifen.

Wichtige in V1.14 aktualisierte Funktionen

APR (Automatic Pixel Restoration)

Der PMW-F5/F55 ist mit der APR-Funktion kompatibel, mit der weiße Flecken im Bildsensor korrigiert werden. Die Meldung zum Aufrufen der APR-Funktion erscheint beim Einschalten des PMW-F5/F55.

Wenn die APR-Funktion ausgeführt wird, wird die Meldung ausgeblendet. Die Meldung wird wieder angezeigt, wenn mehr als 5 Tage vergangen sind.

Camera Position

Die Kameraposition lässt sich im Clipnamen einstellen, wenn „Clip Name“ unter „AXS Recorder“ im System-Menü auf „Separate“ gesetzt ist.

Sie können für das erste Zeichen der Aufnahmeummer C, L oder R auswählen.

Verstärkungsanzeige im Sucher

Die Verstärkung wird als EI-Wert angezeigt, wenn „Shooting Mode“ unter „Base Setting“ im System-Menü auf „Cine EI“ eingestellt ist.

Kompatibel mit dem anamorphotischen x2,0-Objektiv

Sie können bei Verwendung des anamorphotischen x2,0-Objektivs ein Bild normal und ohne Verzerrung auf dem Sucherbildschirm anzeigen, indem Sie „Aspect“ unter „VF Setting“ im VF-Menü auf „Anamo x2“ setzen.

Wichtige in V1.13 aktualisierte Funktionen

Frei belegbare Taste

Wenn Sie eine der frei belegbaren Tasten mit „Rec“ (Aufzeichnung starten/anhalten) belegen, leuchten bei der Aufnahme mit dem PMW-F5/F55 die frei belegbare Taste und die Leuchte REC.

Anschluss DC OUT

Das Rec-Tally-Signal (OUT) ist Stift Nr. 2, das Rec-Trigger-Signal (IN) ist Stift Nr. 3 am Anschluss DC OUT des Akkuadapters oder AXS-R5 zugewiesen.

Einzelheiten erhalten Sie beim Sony-Servicepersonal.

Belichtungsindexfunktion

Die vier „Exposure Index“-Modi lassen sich im Menü Camera einstellen, wenn „Shooting Mode“ unter „Base Setting“ im System-Menü auf „Cine EI“ und „Main, Sub & Internal Rec“ unter „Monitor LUT“ im Video-Menü auf „MLUT On“ gesetzt ist.

[EI-Wert/Wert für den Dynamikumfang in Spitzlichtbereichen]

- PMW-F55: [400EI / 4.4E], [640EI / 5.0E], [800EI / 5.4E], [1250EI / 6.0E]
- PMW-F5: [640EI / 4.4E], [800EI / 4.7E], [1250EI / 5.4E], [2000EI / 6.0E]

Wichtige in V1.12 aktualisierte Funktionen

Videoausgabe während der Aufzeichnung von RAW-Signalen

Das Seitenverhältnis des Videos, das an den Anschlüssen HDMI OUT, SDI OUT und TEST OUT ausgegeben wird, ändert sich von 16:9 in 17:9, wenn „Shooting Mode“ unter „Base Setting“ im System-Menü auf „Cine EI“ und „Main Operation“ auf „RAW“ gesetzt ist.

VF-Ausgabe während der Aufzeichnung von RAW-Signalen

Das Seitenverhältnis des Videos für die VF-Ausgabe ändert sich in 17:9, auch wenn „Aspect“ unter „VF Setting“ im VF-Menü auf „Auto“

oder „Full“ gesetzt ist, sofern „Shooting Mode“ unter „Base Setting“ im System-Menü auf „Cine EI“ und „Main Operation“ auf „RAW“ gesetzt ist.

Video bei gleichzeitiger Aufnahme auf einer SxS-Speicherkarte und Aufzeichnung von RAW-Signalen

Wenn bei der gleichzeitigen Aufnahme „Shooting Mode“ unter „Base Setting“ im System-Menü auf „Cine EI“, „Main Operation“ auf „RAW“ und „Setting“ unter „Rec Control“ im Recording-Menü auf „SxS & AXS“ gesetzt ist, ändert sich das Seitenverhältnis des Videos von 16:9 in 17:9.

Clipname bei der Aufnahme auf den AXS-R5

Das SR-R4-Clipbenennungsverfahren wird verwendet. Dabei besteht der Name aus „Camera ID“ + „Reel Number“, wenn „Clip Name“ unter „AXS Recorder“ im System-Menü auf „Separate“ gesetzt ist.

Der Wert von „Reel Number“ erhöht sich beim Wechseln zu einer neuen AXS-Speicherkarte, sofern Sie nicht „Camera ID“ und/oder „Reel Number“ unter „AXS Recorder“ im System-Menü ändern.

Motorzoomobjektiv (SCL-Z18x140)

Sie können das Motorzoomobjektiv (SCL-Z18x140) manuell bedienen.

Hinweis

Sie können keine Objektivinformationen wie Blendenwert, Fokuswert, Zoomwert, Schalterstatus, Eigenschaft usw. abrufen.

Italiano

Nota di rilascio

Funzioni principali aggiornate con V9.2

Compatibile con schede di memoria QD-G120F e QD-G240F XQD

Le schede QD-G120F e QD-G240F sono state aggiunte alla linea di schede di memoria XQD, utilizzabili con la videocamera.

* L'adattatore XQD ExpressCard (QDA-EX1) è richiesto per utilizzare una scheda di memoria XQD.

Funzioni principali aggiornate con V9.1

Aggiunta di opzioni per Output Format (solo PMW-F55 e PMW-F5 + CBKZ-55FX)

È possibile selezionare „4K“ e „QFHD“ in „Output Format“ quando il formato di registrazione è impostato su XAVC 4K o XAVC QFHD, la frequenza del sistema è impostata a 50 o 59.94 e la funzione MPEG2 Proxy è abilitata.

Modifica della visualizzazione dei valori di impostazione di Time Zone

I nomi delle regioni raggruppate da UTC +11:30 o UTC -12:00 sono stati eliminati.

Funzioni principali aggiornate con V9.0

Aggiunte velocità fotogrammi per 4K e registrazioni ad alta velocità fotogrammi

72, 75, 90, 96 e 100 FPS sono stati aggiunti ai valori disponibili in „Frame Rate“ quando AXS-R7 è collegato alla PMW-F55 e si eseguono registrazioni ad alta velocità fotogrammi in formato 4K RAW o 4K X-OCN.

Compatibile con la modalità „Parallel Rec“ con CBK-WA100 collegato

La videocamera è compatibile con la modalità „Parallel Rec“. La modalità „Parallel Rec“ consente la sincronizzazione con lo stesso nome di file tra la registrazione proxy XAVC Proxy con l'adattatore

wireless CBK-WA100 collegato a SDI OUT 1/2 e la registrazione della videocamera.

Nota

È possibile utilizzare CBK-WA100 con software versione 3.0 o successive su questa videocamera.

XAVC HD Long aggiunto (quando la frequenza di sistema è impostata a 29.97 o 59.94)

La videocamera è in grado di registrare e riprodurre con XAVC HD Long (1920 × 1080).

Quando la frequenza di sistema è impostata a 59.94, è possibile selezionare la modalità 25M, 35M o 50M.

Quando la frequenza di sistema è impostata a 29.97, è possibile selezionare la modalità 35M o 50M.

Funzioni principali aggiornate con V8.0

Compatibile con AXS-R7

La PMW-F55/F5 è compatibile con il registratore di memoria portatile AXS-R7.

Collegando AXS-R7 alla videocamera, sono disponibili le seguenti funzioni.

- Registrazione 4K 120fps
È possibile registrare immagini 4K 120FPS sulla scheda di memoria AXS. Quando la frequenza del sistema è impostata a 23.98P, non è possibile registrare immagini al rallentatore in 4K a velocità inferiore a 5x.
- Nuovo formato di registrazione X-OCN
Oltre alla modalità di registrazione F55RAW, è disponibile il nuovo formato X-OCN, in grado di registrare in modo più efficace.
- Funzione Picture Cache
La funzione Picture Cache è disponibile anche per la registrazione su una scheda di memoria AXS. È possibile selezionare Cache Rec Time fino a 30 secondi.

Compatibile con XAVC 4K/QFHD Class480 (solo PMW-F55 e PMW-F5 + CBKZ-55FX)

Quando la frequenza del sistema è impostata a 23.98, 24.0, 25.0 o 29.97, è possibile registrare/riprodurre XAVC 4K Class480; quando la frequenza del sistema è impostata a 23.98, 25.0 o 29.97, è possibile registrare/riprodurre XAVC QFHD Class480.

Compatibile con le nuove serie G e serie M delle schede di memoria XQD

Le nuove serie G (QD-G32E, QD-G64E, QD-G128E) e serie M (QD-M32A, QD-M64A, QD-M128A) sono state aggiunte alla linea di schede di memoria XQD, utilizzabili con la videocamera.

* L'adattatore XQD ExpressCard (QDA-EX1) è richiesto per utilizzare una scheda di memoria XQD.

Analogamente alle esistenti serie G, le nuove serie G possono essere utilizzate con tutti i formati di registrazione e anche quando „High Frame Rate Mode“ è impostato su „On“ o „Off“. Le serie M, come le serie N, possono essere utilizzate con MPEG 1920 × 1080 P/i e 1280 × 720 P.

Funzioni principali aggiornate con V7.0

È stato aggiunto il menu rapido

È stato aggiunto il menu rapido, visualizzato nel display secondario premendo il pulsante OPTION.

Il menu rapido dispone di un massimo di otto utili voci di impostazione nelle sei categorie (Project/Monitoring/MLUT/Media/Viewfinder/Others) rispettivamente.

Ciò consente di confermare e modificare con facilità i contenuti dell'impostazione.

Compatibile con MPEG2 Proxy in XAVC 4096 × 2160/XAVC 3840 × 2160 59.94P/50P

Quando il formato di registrazione è impostato su XAVC 4096 × 2160/XAVC 3840 × 2160 e la frequenza di sistema è impostata su 59.94P/50P, la funzione MPEG2 Proxy è attivata.

Nota

Non è possibile formattare e ripristinare una scheda di memoria durante la registrazione simultanea.

Compatibile con la correzione di matrice di ITU-R BT.2020 (solo PMW-F55)

12: ITU-2020 è aggiunto al valore di impostazione "Preset Select" in "Matrix" del menu Paint.

La correzione di matrice di ITU-R BT.2020 è disponibile per il segnale di uscita del segnale video o 4K o QFHD registrato su XAVC 4096 × 2160 P o XAVC 3840 × 2160 P.

Note

- Per il segnale di uscita 2K/HD o il mirino, agisce la correzione di matrice equivalente a ITU-R BT.709 mentre è selezionato "12: ITU-2020".
- Quando l'immagine riprodotta di XAVC 4096 × 2160 P o XAVC 3840 × 2160 P impostata su 12: ITU-2020 e registrata viene emessa tramite 2K o HD, tenere presente che l'immagine video non ha i colori corretti.

La gamma disponibile del motivo zebrato è stata allargata

La gamma disponibile di "Zebra1 Level" in "Zebra" del menu VF è allargata da "50% a 107%" a "0% a 107%" e quella di "Zebra2 Level" è allargata da "52% a 109%" a "0% a 109%".

Qualità dell'immagine migliorata quando si utilizza User Gamma

È stata fatta una correzione in modo che quando si applica la User Gamma creata nelle serie HDC alla PMW-F5/F55, la curva gamma diviene uguale a quella delle serie HDC tramite regolazione del livello base ecc.

La risposta della schermata di stato è stata migliorata

La velocità di cambiamento della schermata di stato visualizzata nel mirino e nel monitor video esterno è stata migliorata.

Funzioni principali aggiornate con V6.0

Compatibile con Apple ProRes 4444

Apple ProRes 4444 è stato aggiunto come formato di registrazione che è possibile registrare/riprodurre collegando il CBK-55PD opzionale dedicato (venduto a parte).

Apple ProRes 4444 può essere selezionato quando la frequenza di sistema è impostata a 23.98, 24.0, 25.0 o 29.97.

66FPS è stato aggiunto a "Frame Rate" in "S&Q Motion"

"66FPS" è stato aggiunto ai valori disponibili in "Frame Rate" quando "S&Q Motion" è attivato e "High Frame Rate Mode" è impostato su "Full Scan" o "Center Scan".

Compatibile con User 3D LUT quando è impostato "S-Gamut/SLog2"

Quando "Color Space" in "Base Setting" del menu System è impostato su "S-Gamut/SLog2", è possibile utilizzare User 3D LUT.

Nota

Quando si crea un file CUBE con Catalyst Browse e RAW Viewer, effettuare le impostazioni seguendo il metodo indicato.

Quando si utilizza "Color Space" con "S-Gamut3.Cine/SLog3" o "S-Gamut3/SLog3" impostato nella videocamera, configurare l'impostazione "Source" (Catalyst Browse) o "Input" (RAW Viewer) su "S-Gamut3.Cine/S-Log3" e quando si utilizza "Color Space" con

"S-Gamut2/SLog2" impostato nella videocamera, configurare l'impostazione "Source"/"Input" su "S-Gamut/S-Log2".

Tenere presente che se si utilizza un file CUBE creato per errore con una impostazione diversa, il colore non sarà corretto.

Informazioni sull'azione ABB/APR quando si seleziona Apple ProRes e Avid DNxHD®

È stata corretta in modo che la videocamera non venga riavviata dopo aver eseguito ABB/APR mentre il formato di registrazione è impostato su ProRes 422 HQ, ProRes 422, DNxHD 220x o DNxHD 145.

Funzioni modificate con V5.1

Informazioni sul collegamento tra la PMW-F55 e il CA4000 fissando il CBK-55PD

La PMW-F55 fissata al CBK-55PD opzionale dedicato (venduto a parte) può essere collegata all'adattatore del sistema videocamera CA4000.

Funzioni principali aggiornate con V5.0

Compatibile con Apple ProRes e Avid DNxHD®

La PMW-F55/F5 può registrare/riprodurre in Apple ProRes 422 (HQ), Apple ProRes 422, Avid DNxHD 220x e Avid DNxHD 145 collegando il CBK-55PD opzionale dedicato (venduto a parte).

Note

- Quando sono selezionati questi formati, la videocamera si riavvia dopo l'esecuzione di ABB/APR.
- L'adattatore del sistema videocamera CA4000 non può essere fissato alla PMW-F55 con il CBK-55PD installato.

Compatibile con SStP SR-SQ 422 59.94i (solo PMW-F55)

La PMW-F55 è compatibile con registrazione/riproduzione in 59.94i quando il formato di registrazione è SStP SR-SQ 422. La funzione MPEG Proxy è disponibile contemporaneamente.

Compatibile con il CBK-55BK

La PMW-F55/F5 è compatibile con il CBK-55BK opzionale dedicato (venduto a parte). Collegando il kit accessorio CBK-55BK alla videocamera è possibile utilizzare tipicamente la videocamera a spalla e utilizzare i diversi connettori di ingresso/uscita audio e gli interruttori diretti.

Compatibile con la registrazione 4K/QFHD per PMW-F5

Installando il CBKZ-55FX opzionale dedicato (venduto a parte), la registrazione in XAVC 4096 × 2160P e XAVC 3840 × 2160P è disponibile per la PMW-F5.

La funzione MPEG Proxy è disponibile contemporaneamente.

Compatibile con Memoria del bianco A/B

La memoria del bianco, effettiva durante la modalità Custom viene espansa in Memory A e Memory B. La temperatura del colore può essere impostata in modo indipendente per Memory A e Memory B.

Compatibile con la funzione Interval Rec

La PMW-F55/F5 è compatibile con la funzione Interval Rec che consente di registrare fotogrammi specificati a intervalli regolari. La funzione Interval Rec è disponibile per la registrazione in memoria SxS quando il formato di registrazione è impostato su XAVC 4096 × 2160P, XAVC 3840 × 2160P, XAVC 2048 × 1080P o XAVC 1920 × 1080P e registrazione RAW (compresa la registrazione contemporanea su una memoria SxS).

Compatibile con l'impostazione di eliminazione dei disturbi della modalità Cine EI

L'impostazione "Noise Suppression" nel menu Camera è disponibile anche se "Shooting Mode" in "Base Setting" del menu System è impostato su "Cine EI". L'impostazione predefinita è "Off".

Sono state espanso le funzioni assegnabili dei pulsanti assegnabili

"Color Bars", "VF Focus Magnifier" e "White Memory" (commutazione tra Memoria A/B) sono state aggiunte a "Assignable Button".

Compatibile con il cambio FPS mediante il comando Menu

È possibile selezionare la frequenza fotogrammi durante S&Q Motion tra 6 tipi su "Menu Dial Assign" in "Assignable Button" del menu System.

È possibile modificare con facilità la frequenza fotogrammi premendo e ruotando il comando Menu durante la ripresa.

Funzioni principali aggiornate con V4.1

Funzione di velocità doppia per il mirino

Questa funzione è disponibile quando "S&Q Motion" è attivo e "Frame Rate" è impostato a un valore superiore a 72FPS.

La funzione Monitor LUT può essere utilizzata per l'immagine registrata 4K/QFHD

"SDI(Main)&Internal Rec" in "Monitor LUT" nel menu Video può essere impostato su "MLUT On" anche se "Rec Format" nel menu System è impostato su "XAVC 4096x2160P" o "XAVC 3840x2160P". (In questo caso, "SDI(Sub)&HDMI" e "Viewfinder" sono bloccati su "MLUT On".)

Il numero di funzioni assegnabili ai tasti programmabili è stato aumentato

È possibile assegnare la funzione "VF High Contrast", che permette di aumentare il contrasto delle immagini nel mirino. Utilizzando questa funzione è possibile aumentare il contrasto durante la visualizzazione di immagini a basso contrasto come S-Log2 o S-Log3.

Questa funzione viene disattivata al riavvio della videocamera.

L'impostazione predefinita di "Color Space" in "Cine EI Mode" è stata cambiata in "S-Gamut3.Cine/SLog3"

In seguito all'esecuzione di un ripristino generale, "Color Space" viene impostato su "S-Gamut3.Cine/SLog3" quando "Shooting Mode" in "Base Setting" nel menu System è impostato su "Cine EI".

Ottimizzazione della qualità delle immagini ad alto contrasto

Durante la registrazione su memoria SxS la qualità delle immagini ad alto contrasto registrate con un'impostazione di "Gamma" diversa da S-Log2/3 viene ottimizzata per rendere le immagini più naturali.

Funzioni principali aggiornate con V4.0

Compatibile con la funzione Picture Cache

La PMW-F5/F55 è compatibile con la funzione Picture Cache che consente di iniziare la registrazione un numero di secondi specificato prima dell'inizio della ripresa.

Questa funzione è disponibile per la registrazione su memoria SxS con i formati di registrazione XAVC 4096x2160P, XAVC 3840x2160P, XAVC 2048x1080P, XAVC 1920x1080P, MPEG 1920x1080P/i o MPEG 1280x720P (XAVC è disponibile solo quando la frequenza di sistema è impostata su 23.98, 24.0, 25.0 o 29.97).

È possibile definire un anticipo massimo di 18 secondi (quando si utilizza il formato MPEG).

Compatibile con User Menu

User Menu è stato aggiunto in cima al menu, in modo che l'utente possa accedere con facilità alla voce di menu desiderata. È possibile registrare/modificare fino a 20 voci di menu. La voce personalizzata di User Menu può essere memorizzata su una scheda SD come file delle voci di User Menu e caricata dalla scheda SD.

Compatibile con il menu del display secondario

Il menu di impostazione può essere visualizzato sul display secondario. È possibile eseguire le operazioni di menu solo sulla PMW-F5/F55.

Compatibile con la funzione MPEG Proxy per la registrazione SStP (solo PMW-F55)

La PMW-F55 è compatibile con la funzione MPEG Proxy (registrazione simultanea in uno slot) quando il formato di registrazione è impostato su SStP SR-SQ 444/SStP SR-SQ 422 e la frequenza di sistema su 29.97P.

Compatibile con l'impostazione del colore di contrassegno

È possibile impostare il colore di contrassegno tra bianco/giallo/ciano/verde/magenta/rosso/blu.

È stata aggiunta l'indicazione del livello di diaframma automatico

Il valore di impostazione viene visualizzato sullo schermo del mirino quando "Level" in "Auto Exposure" del menu Camera è impostato a un valore diverso da "±0".

Compatibile con la selezione dell'ampiezza di banda video per l'uscita video HD/2K

È possibile selezionare l'ampiezza di banda video del segnale video HD/2K tra "Wide" (ampiezza di banda larga) (impostazione convenzionale) e "Narrow" (ampiezza di banda stretta).

Compatibile con User 3D LUT

La PMW-F5/F55 può importare un file CUBE (*.cube) di 17 o 33 reticoli creato da RAW Viewer o Da Vinci Resolve di BMD*.

È stata aggiunta l'opzione Gamma

"S-Log3" è stato aggiunto all'opzione "Gamma" del menu Paint.

È stata aggiunta l'opzione Color Space

"S-Gamut3" della gamma di colore ampia è stato aggiunto all'opzione "Color Space" in "Base Setting" del menu System.

Sono state aggiunte le opzioni Matrix (solo PMW-F55)

"10: S-Gamut3.Cine Like" e "11: S-Gamut3 Like" sono stati aggiunti all'opzione "Preset Select" in "Matrix" del menu Paint.

Il tasto RET dell'obiettivo può essere utilizzato per il tasto programmabile

Il tasto RET dell'obiettivo collegato può essere utilizzato per il tasto programmabile.

Sono stati aggiunti i formati di uscita HDMI (solo PMW-F55)

3840x2160 59.94P/50P/29.97P/25P/23.98P, 4096x2160 29.97P/25P sono stati aggiunti per il formato di uscita HDMI.

È stato aggiunto l'accessorio opzionale

CBK-DCB01 (DEMAND CONVERTER BOX) può essere utilizzato con la PMW-F5/F55.

Per informazioni relative al CBK-DCB01 utilizzabile con la videocamera, rivolgersi a un rappresentante dell'assistenza Sony.

Funzioni principali aggiornate con V3.0

È stato aggiunto il formato di registrazione

La PMW-F5/F55 è compatibile con XAVC 3840 × 2160P. Le impostazioni di frequenza di sistema compatibili sono 23.98, 25.0, 29.97, 50.0, 59.94.

La PMW-F5/F55 è compatibile con MPEG 1280 × 720P. Le impostazioni di frequenza di sistema compatibili sono 50.0, 59.94. Il formato di uscita video è un segnale HD 1280 × 720P o SD.

Funzione di rallentatore e movimento rapido

La PMW-F5/F55 è compatibile con la funzione di rallentatore e movimento rapido quando il formato di registrazione è XAVC 4096 × 2160P o XAVC 3840 × 2160P. La frequenza dei fotogrammi va da 1 a 60P.

Quando il formato di registrazione è XAVC 2048 × 1080P o XAVC 1920 × 1080P, la frequenza dei fotogrammi disponibile viene espansa. Sono disponibili da 1 a 180P (System Frequency: 23.98, 24.0, 29.97, 59.94) e da 1 a 150P (System Frequency: 25.0, 50.0). Quando Main Operation è impostato su RAW, la frequenza dei fotogrammi disponibile viene espansa. Sono disponibili da 1 a 240P.

È stata aggiunta la modalità Imager Scan

La PMW-F5/F55 riprende in formato 4K Super 35 mm con una frequenza dei fotogrammi inferiore a 60P e in formato 2K con frequenza dei fotogrammi superiore a 60P. Inoltre, la PMW-F5/F55 è compatibile con la modalità 2K Full che consente la ripresa in formato 2K Super 35 mm e con la modalità 2K Center che consente la ripresa dell'area centrale del Super 35 mm in formato 2K.

Nel nome del clip è possibile utilizzare qualsiasi stringa

La PMW-F5/F55 è compatibile con nomi di clip con qualsiasi stringa + numero clip.

Ingresso audio digitale

È possibile immettere un segnale audio digitale in formato AES/EBU. L'ingresso audio a quattro canali è disponibile per mezzo di due segnali AES/EBU.

Riproduzione RAW tramite connettore di uscita della videocamera

La riproduzione video di un segnale RAW registrato su un AXS-R5 collegato alla PMW-F5/F55 è possibile tramite il connettore di uscita della PMW-F5/F55.

È possibile caricare/salvare file scena e file obiettivo da/su una scheda SD

Su una scheda SD è possibile salvare fino a 64 file scena e fino a 64 file obiettivo. I file salvati possono essere caricati e trasferiti nuovamente nella memoria interna.

Modalità Cine EI per YPbPr/RGB

Oltre ad essere disponibile durante la registrazione RAW, la modalità Cine EI è anche disponibile durante la registrazione YPbPr o RGB su una scheda di memoria SxS, senza utilizzare AXS-R5.

Nuova gamma del colore e curva gamma

S-Gamut3.Cine è disponibile e facile da regolare per cinema digitale (DCIP3). È anche disponibile S-Log3, un segnale di registro con gamma dinamica 1300%, che si avvicina alla curva Cineon Log e offre le caratteristiche della pellicola.

Funzione Monitor LUT

Sono stati aggiunti 4 tipi Look Profile e LUT utente (1D) Sony per la selezione Monitor LUT. È possibile creare LUT utente utilizzando RAW Viewer ed è possibile memorizzare fino a 6 profili LUT utente nella memoria interna tramite una scheda SD.

È possibile attivare/disattivare Monitor LUT indipendentemente per SD(Main)&Internal Rec, SD(Sub)&HDMI e Viewfinder.

Funzione per diaframma automatico

La funzione del diaframma automatico è disponibile utilizzando SCL-Z18X140 o un obiettivo con attacco PL compatibile con diaframma automatico o quando si installa un obiettivo con attacco B4 compatibile con diaframma automatico utilizzando un adattatore LA-FZB1 o LA-FZB2.

100%Marker

La PMW-F5/F55 è compatibile con il contrassegno 100% che indica il riquadro effettivo dell'immagine.

Funzione ON/OFF del contrassegno per ciascuna uscita

È possibile attivare/disattivare il contrassegno per le uscite, ad esempio mirino e SDI/HDMI, indipendentemente.

Funzione High Key/Low Key

La PMW-F5/F55 è compatibile con la funzione High Key/Low Key che consente di controllare le zone di massima luce a basso contrasto o le zone sottospese ad alto contrasto.

Funzione gamma del nero

La PMW-F5/F55 è compatibile con la funzione per la gamma del nero che consente di compensare il carattere gamma della bassa luminanza.

Uscita 2K/HD 59.94/50.0P RGB 3G-Dual

Quando la frequenza del sistema è 59.94 o 50.0, è possibile trasmettere un segnale RGB 3G-Dual conforme con SMPTE ST424/425 Level-B.

Funzioni principali aggiornate con V2.11

Compatibile con CA4000

La PMW-F5/F55 può essere utilizzata come telecamera di sistema per mezzo di CA4000 e attrezzature opzionali (BPU4000 e così via).

Funzioni principali aggiornate con V2.1

Funzione di velocità doppia per il mirino

La PMW-F5/F55 raddoppia la frequenza dei fotogrammi per la visualizzazione nel mirino quando la frequenza del sistema è 23.98, 24, 25 o 29.97, per ridurre la sfocatura dell'immagine quando si esegue una panoramica verso destra o verso sinistra con la videocamera.

Utilizzo del menu di impostazione con telecomando Wi-Fi

La maggior parte delle voci del menu di impostazione possono essere definite utilizzando il display Wi-Fi Remote.

Funzione antiventto

La PMW-F5/F55 è compatibile con la funzione antiventto per l'ingresso MIC. Questa funzione non è disponibile con l'ingresso LINE.

Modifica dell'angolazione dell'immagine per l'uscita HD SDI durante la registrazione RAW

È possibile impostare l'angolazione dell'immagine per l'uscita HD SDI (Letter Box/Edge Crop) quando Main Operation è impostato su RAW.

Funzioni principali aggiornate con V2.0

"S-Log2" aggiunto per le voci selezionabili di MLUT

"S-Log2" aggiunto come "P4" per le voci selezionabili di "MLUT Select" in "Monitor LUT" del menu Video.

La funzione rallentatore e movimento rapido è stata espansa

La velocità fotogrammi per XAVC 1920 × 1080P del formato di registrazione è compatibile con High Frame Rate Mode di 120P oltre che con 1 - 60P.

La velocità fotogrammi per XAVC 2048 × 1080P del formato di registrazione è compatibile con la velocità fotogrammi 1 - 60P e con 2K RAW High Frame Rate Mode quando "Main Operation" è impostato su "RAW" (la velocità fotogrammi è 120P/180P/240P).

È stato aggiunto il formato di registrazione

La PMW-F5/F55 è compatibile con XAVC 2048 × 1080P. La frequenza di sistema compatibile è 23.98P, 24.0P, 25.0P, 29.97P, 50.0P o 59.97P.

24.0P aggiunta come frequenza di sistema compatibile di XAVC 4096 × 2160P.

Compatibile con il display cinese

La PMW-F5/F55 è compatibile con il display cinese (cinese semplificato) per i menu di impostazione e la maggior parte dei messaggi di avvertimento.

Funzione di aggiornamento per il file di gestione

La PMW-F5/F55 è compatibile con la funzione che aggiorna il file di gestione di un supporto che non può essere riprodotto sulla PMW-F5/F55.

Compatibile con l'uscita 3840 × 2160P

La PMW-F5/F55 è compatibile con 3840 × 2160P oltre a 4096 × 2160P.

La PMW-F5/F55 è compatibile con il metodo 2-sample interleave division del segnale di uscita, oltre al metodo Square Division.

La funzione Rec Review è stata aggiunta

È possibile riprodurre e controllare un clip registrato assegnando la funzione Rec Review a un tasto programmabile.

Compatibile con uscita SD

Il segnale di uscita da SDI OUT 1 può essere emesso da SDI OUT 2 e il segnale di uscita da SDI OUT 3 può essere emesso da SDI OUT 4.

La PMW-F5/F55 è compatibile con l'uscita SD-SDI per SDI OUT 3/4 (Sub) e l'uscita di segnale composito analogico per il connettore TEST OUT.

Compatibile con l'adattatore dell'attacco B4-FZ (LA-FZB1, LA-FZB2)

La PMW-F5/F55 è compatibile con l'adattatore dell'attacco B4-FZ opzionale (LA-FZB1, LA-FZB2).

La funzione display secondario è stata espansa

La schermata CAMERA-2 è stata aggiunta per la schermata CAMERA del display secondario e i tasti funzione di FILE e AU/TC utilizzati per la visualizzazione del display secondario sono abilitati.

La schermata FILE viene utilizzata per "All File Load", "Scene Recall" e "Lens Recall". La schermata AU/TC consente di impostare le voci di impostazione di audio e codice temporale.

Compatibile con l'indicazione Waveform/Vector/Histogram

È possibile visualizzare l'indicazione Waveform/Vector/Histogram sul mirino o il segnale SDI OUT assegnando la funzione Video Signal Monitor a un tasto programmabile.

Compatibile con la funzione User Box Marker

La PMW-F5/F55 è compatibile con la funzione User Box Marker che consente di impostare dimensione e posizione della casella utente.

Compatibile con Focus Assist Indicator

La PMW-F5/F55 è compatibile con l'indicatore dello stato di messa a fuoco dell'area centrale del display.

Compatibile con la funzione Gamma utente

È possibile caricare la curva gamma prodotta da CvpFileEditorTM V4.2 da una scheda SD e selezionarla sul menu Paint.

Compatibile con la funzione Gamma RGB

La PMW-F5/F55 è compatibile con la regolazione gamma di RGB indipendentemente quando "Gamma Category" è impostato su "STD".

Compatibile con la funzione di riduzione sfarfallio

La PMW-F5/F55 è compatibile con la funzione che può ridurre lo sfarfallio che si verifica quando si riprende in interni con illuminazione artificiale, ecc.

Funzioni principali aggiornate con V1.21

Mantenimento del valore di impostazione guadagno quando si utilizza il telecomando

Il valore di impostazione guadagno prima/dopo aver rimosso/ inserito il telecomando può essere conservato quando "RM Common Memory" in "Camera Config" del menu Maintenance è impostato su "On" e "Mode" in "Gain" del menu Camera è impostato su "dB".

Funzioni principali aggiornate con V1.2

Compatibile con il formato SStP-SR

La PMW-F5/F55 è compatibile con i file in formato SStP SR-SQ 444, SR-SQ 422 e SR-Lite 422 adottati per HDCAM-SR, che possono essere registrati su una scheda di memoria SxS. Le frequenze dei fotogrammi compatibili sono 23.98P, 24.0P, 25.0P e 29.97P.

Compatibile con l'obiettivo anamorfo x1,3

È possibile visualizzare un'immagine normale senza distorsione sullo schermo del mirino impostando "Aspect" in "VF Setting" del menu VF su "Anamo x1.3" quando si utilizza l'obiettivo anamorfo x1,3.

È possibile emettere un'immagine normale senza distorsione per l'uscita video impostando "4K/2K to HD Conv." in "Output Setting" del menu Video su "Anamo x1.3" o "Anamo x2".

Modalità di assegnazione del nome "Cam ID + Reel#" per un nome di clip registrato su una scheda di memoria SxS

Al clip registrato su una scheda di memoria SxS può essere assegnato il nome con il metodo "Cam ID + Reel#". L'impostazione "Clip Name" in "AXS Recorder" del menu System passa a "Clip Naming" del menu Media e il nome di clip RAW viene impostato su "Clip Name" in "Clip Naming" del menu Media.

Lunghezza focale visualizzata nella schermata Camera status

L'unità della Lunghezza focale è bloccata su "mm".

Compatibile con il modulo LAN wireless USB

Inserendo il modulo LAN wireless USB IFU-WLM3 in dotazione è possibile collegare la PMW-F5/F55 a dispositivi come smartphone, tablet, ecc., tramite Wi-Fi.

È possibile visualizzare il telecomando Wi-Fi sullo schermo del dispositivo impostando "Wi-Fi" in "Wi-Fi" del menu System su "Enable", quindi accedere all'indirizzo IP della PMW-F5/F55 dal browser sul dispositivo.

Funzioni principali aggiornate con V1.14

APR (Automatic Pixel Restoration, Ripristino pixel automatico)

La PMW-F5/F55 è compatibile con la funzione APR che corregge le macchioline bianche nel sensore di immagine. Il messaggio

che richiede la funzione APR compare quando si accende la PMW-F5/F55.

Quando si esegue la funzione APR, il messaggio scompare. Il messaggio riappare dopo 5 giorni.

Camera Position

È possibile impostare la posizione della videocamera sul nome di clip quando "Clip Name" in "AXS Recorder" del menu System è impostato su "Separate".

È possibile selezionare il primo carattere di Shot Number tra C, L e R.

Indicazione guadagno nel mirino

L'indicazione del guadagno viene visualizzata come valore EI quando "Shooting Mode" in "Base Setting" del menu System è impostato su "Cine EI".

Compatibile con l'obiettivo anamorfico x2,0

È possibile visualizzare un'immagine normale senza distorsione sullo schermo del mirino impostando "Aspect" in "VF Setting" del menu VF su "Anamo x2" quando si utilizza l'obiettivo anamorfico x2,0.

Funzioni principali aggiornate con V1.13

Tasto programmabile

Se si assegna "Rec" (avvio/arresto registrazione) a un tasto programmabile, quest'ultimo si illumina oltre alla spia REC quando il PMW-F5/F55 registra.

Connettore DC OUT

Il segnale Rec Tally (OUT) viene assegnato al Pin N. 2 e il segnale Rec Trigger (IN) al Pin N. 3, per il connettore DC OUT dell'adattatore batteria o AXS-R5.

Per i dettagli, consultare il personale di assistenza Sony.

Funzione Indice esposizione

I quattro tipi di "Exposure Index" possono essere impostati nel menu Camera quando "Shooting Mode" in "Base Setting" del menu System è impostato su "Cine EI" e "Main, Sub & Internal Rec" in "Monitor LUT" del menu Video è impostato su "MLUT On".

[valore EI/valore Latitudine evidenziato]

- PMW-F55: [400EI / 4.4E], [640EI / 5.0E], [800EI / 5.4E], [1250EI / 6.0E]
- PMW-F5: [640EI / 4.4E], [800EI / 4.7E], [1250EI / 5.4E], [2000EI / 6.0E]

Funzioni principali aggiornate con V1.12

Uscita video durante la registrazione del segnale RAW

Il formato del video emesso dai connettori HDMI OUT, SDI OUT e TEST OUT passa a 17:9 da 16:9 quando "Shooting Mode" in "Base Setting" del menu System è impostato su "Cine EI" e "Main Operation" è impostato su "RAW".

Uscita VF durante la registrazione del segnale RAW

Il formato video dell'uscita VF passa a 17:9 anche se "Aspect" in "VF Setting" del menu VF è impostato su "Auto" o "Full" quando "Shooting Mode" in "Base Setting" del menu System è impostato su "Cine EI" e "Main Operation" è impostato su "RAW".

Video per registrazione simultanea su una scheda di memoria SxS durante la registrazione del segnale RAW

Quando "Shooting Mode" in "Base Setting" del menu System è impostato su "Cine EI", "Main Operation" è impostato su "RAW", "Setting" in "Rec Control" del menu Recording è impostato su "SxS & AXS" e si esegue la registrazione simultanea, il formato del video passa da 16:9 a 17:9.

Nome clip quando si registra su AXS-R5

Si utilizza la convenzione per nomi dei clip SR-R4, che comprende "Camera ID" + "Reel Number" quando "Clip Name" in "AXS Recorder" del menu System è impostato su "Separate".

Il valore di "Reel Number" viene incrementato quando si passa a una nuova scheda di memoria AXS, se non si modifica "Camera ID" e/o "Reel Number" in "AXS Recorder" del menu System.

Obiettivo zoom motorizzato (SCL-Z18x140)

È possibile utilizzare l'obiettivo zoom motorizzato (SCL-Z18x140) manualmente.

Nota

Non è possibile ottenere informazioni sull'obiettivo come valore del diaframma, valore di messa a fuoco, valore di zoom, stato di commutazione, proprietà, ecc.

Español

Nota de la versión

Principales funciones actualizadas con V9.2

Compatible con tarjetas de memoria QD-G120F y QD-G240F XQD

QD-G120F y QD-G240F se han añadido al conjunto de tarjetas de memoria XQD, que pueden utilizarse con la videocámara.

* El adaptador XQD ExpressCard (QDA-EX1) es necesario para utilizar una tarjeta de memoria XQD.

Principales funciones actualizadas con V9.1

Nuevas opciones para Output Format (solo PMW-F55 y PMW-F5 + CBKZ-55FX)

"4K" y "QFHD" pueden seleccionarse "Output Format" cuando el formato de grabación esté ajustado en XAVC 4K o XAVC QFHD, la frecuencia del sistema esté ajustada en 50 o 59.94 y la función MPEG2 Proxy esté activada.

Modificación de la visualización de los valores de ajuste de Time Zone

Eliminación de los nombres de región agrupados por UTC +11:30 o UTC -12:00.

Principales funciones actualizadas con V9.0

Incorporación de velocidades de fotogramas para grabaciones en 4K y High Frame Rate

Se han añadido las opciones 72, 75, 90, 96, y 100 FPS a los valores disponibles en "Frame Rate" al conectar la AXS-R7 a la PMW-F55 y realizar grabaciones en el modo High Frame Rate en formato 4K RAW o 4K X-OCN.

Compatibilidad con el modo "Parallel Rec" con CBK-WA100 conectado

La videocámara es compatible con el modo "Parallel Rec". El modo "Parallel Rec" permite la sincronización con el mismo nombre de archivo entre la grabación proxy XAVC utilizando el adaptador inalámbrico CBK-WA100 conectado a SDI OUT 1/2 y la grabación con la videocámara.

Nota

En esta videocámara puede utilizarse la CBK-WA100 con la versión del software 3.0 o una versión superior.

Incorporación de XAVC HD Long (cuando la frecuencia del sistema es 29.97 o 59.94)

La videocámara puede grabar y reproducir con XAVC HD Long (1920 × 1080).

Cuando la frecuencia del sistema es 59.94, puede seleccionar el modo 25M, 35M o 50M.

Cuando la frecuencia del sistema es 29.97, puede seleccionar el modo 35M o 50M.

Principales funciones actualizadas con V8.0

Compatible con la AXS-R7

La PMW-F55/F5 es compatible con la grabadora portátil AXS-R7. Las siguientes funciones están disponibles al fijar la AXS-R7 a la videocámara.

- Grabación 4K 120fps
Se pueden grabar imágenes 4K 120FPS en la tarjeta de memoria AXS. Cuando la frecuencia del sistema esté ajustada en 23.98P, se pueden grabar imágenes a cámara lenta en 4K a una velocidad 5 veces más lenta.
- Nuevo formato de grabación X-OCN
Además del modo de grabación F55RAW, está disponible el nuevo formato X-OCN, que graba de una forma más eficaz.
- Función Memoria intermedia
La función Memoria intermedia también está disponible para grabaciones en una tarjeta de memoria AXS. El tiempo de grabación de la memoria intermedia se puede establecer hasta en 30 segundos.

Compatible con XAVC 4K/QFHD Class480 (solo PMW-F55 y PMW-F5 + CBKZ-55FX)

XAVC 4K Class480 puede grabar/reproducir cuando la frecuencia del sistema esté establecida en 23.98, 24.0, 25.0 o 29.97, mientras que XAVC QFHD Class480 puede grabar/reproducir cuando la frecuencia del sistema esté establecida en 23.98, 25.0 o 29.97.

Compatible con las nuevas serie G y serie M para tarjetas de memoria XQD

Las nuevas serie G (QD-G32E, QD-G64E, QD-G128E) y serie M (QD-M32A, QD-M64A, QD-M128A) se han añadido a la gama de tarjetas de memoria XQD, que pueden utilizarse con la videocámara.

* El adaptador XQD ExpressCard (QDA-EX1) es necesario para utilizar una tarjeta de memoria XQD.

Al igual que la serie G existente, la nueva serie G puede utilizarse con todos los formatos de grabación y cuando el "High Frame Rate Mode" está ajustado en "On" o "Off". La serie M, al igual que la serie N, puede utilizarse con MPEG 1920 × 1080 P/i y 1280 × 720 P.

Principales funciones actualizadas con V7.0

Nuevo menú rápido

Se ha añadido un menú rápido, que aparece en la pantalla secundaria al pulsar el botón OPTION.

El menú rápido permite aplicar hasta ocho opciones de ajuste muy útiles de seis categorías (Project/Monitoring/MLUT/Media/Viewfinder/Others).

Es una forma sencilla de cambiar el contenido de los ajustes y aplicar los cambios.

Compatible con MPEG2 Proxy en XAVC 4096 × 2160/XAVC 3840 × 2160 59.94P/50P

Cuando el formato de grabación está ajustado en XAVC 4096 × 2160/XAVC 3840 × 2160 y la frecuencia del sistema está ajustada en 59.94P/50P, se activa la función MPEG2 Proxy.

Nota

No es posible formatear ni restaurar una tarjeta de memoria durante la grabación simultánea.

Compatible con la corrección de matriz de ITU-R BT.2020 (solo PMW-F55)

Se ha añadido 12: ITU-2020 a los valores de ajuste de "Preset Select" en "Matrix" dentro del menú Paint.

La corrección de matriz de ITU-R BT.2020 puede aplicarse a la señal de salida de 4K o QFHD o la señal de vídeo grabada en XAVC 4096 × 2160 P o XAVC 3840 × 2160 P.

Notas

- Para la señal de salida 2K/HD o el visor, se aplica la corrección de matriz equivalente a ITU-R BT.709 cuando "12: ITU-2020" está seleccionado.
- Cuando la imagen de reproducción de XAVC 4096 × 2160 P o XAVC 3840 × 2160 P, ajustada en 12: ITU-2020 y grabada, se emite a través de 2K o HD, la imagen de vídeo no tiene los colores correctos.

Ampliación del intervalo disponible del patrón de cebra

Se ha ampliado el intervalo disponible de "Zebra1 Level" en "Zebra" dentro del menú VF, que pasa de "50%-107%" a "0%-107%". El intervalo de "Zebra2 Level" pasa de "52%-109%" a "0%-109%".

Mejora de la calidad de imagen al usar User Gamma

Se ha introducido una corrección de modo que, al aplicar el valor User Gamma que se crea en la serie HDC a la PMW-F5/F55, la curva de gamma pase a ser la misma que la de la serie HDC mediante un ajuste del nivel de pedestal, etc.

Mejora del nivel de respuesta de la pantalla de estado

Se ha mejorado la velocidad de cambio de la pantalla de estado mostrada en un visor y un monitor de vídeo externo.

Principales funciones actualizadas con V6.0

Compatible con Apple ProRes 4444

Apple ProRes 4444 se ha añadido como formato de grabación, para grabar o reproducir incorporando la opción específica CBK-55PD (vendida por separado).

Apple ProRes 4444 puede seleccionarse si la frecuencia del sistema se ajusta en 23.98, 24.0, 25.0 o 29.97.

Se añade 66FPS a la opción "Frame Rate" de "S&Q Motion"

"66FPS" se ha añadido a los valores disponibles en "Frame Rate" cuando "S&Q Motion" está activado y "High Frame Rate Mode" está ajustado en "Full Scan" o "Center Scan".

Compatible con User 3D LUT cuando está seleccionado "S-Gamut/SLog2"

Cuando "Color Space" de "Base Setting" en el menú System está ajustado en "S-Gamut/SLog2", es posible utilizar User 3D LUT.

Nota

Al crear un archivo CUBE con Catalyst Browse y RAW Viewer, configure los ajustes de la forma descrita a continuación. Si utiliza "Color Space" con "S-Gamut3.Cine/SLog3" o "S-Gamut3/SLog3" ajustado en la videocámara, sitúe el ajuste "Source" (Catalyst Browse) o "Input" (RAW Viewer) en "S-Gamut3.Cine/S-Log3" y si utiliza "Color Space" con "S-Gamut2/SLog2" ajustado en la videocámara, sitúe el ajuste "Source"/"Input" en "S-Gamut/S-Log2".

Recuerde que si utiliza un archivo CUBE creado por error con un ajuste diferente, el color no será el correcto.

Acerca de la acción ABB/APR al seleccionar Apple ProRes y Avid DNxHD®

Introducción de una corrección para que la videocámara no se reinicie después de la realización de ABB/APR cuando el formato de grabación está ajustado en ProRes 422 HQ, ProRes 422, DNxHD 220x o DNxHD 145.

Funciones modificadas con V5.1

Acerca de la conexión entre la PMW-F55 y el CA4000 acoplado la CBK-55PD

La PMW-F55 con la opción específica CBK-55PD acoplada (vendida por separado) puede conectarse al adaptador para el sistema de cámara CA4000.

Principales funciones actualizadas con V5.0

Compatible con Apple ProRes y Avid DNxHD®

La PMW-F55/F5 puede reproducir y grabar en Apple ProRes 422 (HQ), Apple ProRes 422, Avid DNxHD 220x y Avid DNxHD 145 mediante la instalación del complemento específico CBK-55PD (vendido por separado).

Notas

- Mientras estos formatos están seleccionados, la videocámara se reinicia tras la operación ABB/APR.
- El adaptador para el sistema de cámara CA4000 no puede instalarse en la PMW-F55 con el CBK-55PD montado.

Compatible con SStP SR-SQ 422 59.94i (solo PMW-F55)

La PMW-F55 es compatible con la grabación/reproducción en 59.94i cuando el formato de grabación es SStP SR-SQ 422. La función Proxy MPEG está disponible de forma simultánea.

Compatible con el CBK-55BK

La PMW-F55/F5 es compatible con el complemento específico CBK-55BK (vendido por separado). La instalación del kit opcional CBK-55BK en la videocámara permite utilizar la videocámara colocada en el hombro, así como utilizar diferentes conectores de entrada/salida e interruptores directos.

Compatible con la grabación 4K/QFHD en la PMW-F5

Mediante la instalación del complemento específico CBKZ-55FX (vendido por separado), es posible grabar en XAVC 4096 × 2160P y XAVC 3840 × 2160P con la PMW-F5. La función Proxy MPEG está disponible de forma simultánea.

Compatible con White Memory A/B

La función White Memory, activa durante el modo Custom, se amplía ahora a Memory A y Memory B. Es posible definir una temperatura de color independiente para Memory A y Memory B.

Compatible con la función Grabación a intervalos

La PMW-F55/F5 es compatible con la función Grabación a intervalos, que permite grabar un número de fotogramas especificado a intervalos regulares.

La función Grabación a intervalos está disponible para la grabación en memoria SxS cuando el formato de grabación está ajustado en XAVC 4096 × 2160P, XAVC 3840 × 2160P, XAVC 2048 × 1080P o XAVC 1920 × 1080P y la grabación RAW (lo que incluye la grabación simultánea en una memoria SxS).

Compatible con el ajuste de Eliminación de ruido del modo Cine EI

El ajuste de "Noise Suppression" del menú Camera está disponible aunque la opción "Shooting Mode" de "Base Setting", en el menú System, esté ajustada en "Cine EI". El ajuste predeterminado es "Off".

Ampliación de las funciones asignables a botones asignables

"Color Bars", "VF Focus Magnifier" y "White Memory" (cambio entre memoria A/B) son las opciones añadidas a "Assignable Button".

Compatible con el cambio de FPS utilizando el dial Menú

La velocidad de fotograma durante el Movimiento a cámara lenta y rápida puede elegirse a partir de los 6 tipos de "Menu Dial Assign" en la opción "Assignable Button" del menú System.

Para modificar la velocidad de fotograma, solo tiene que presionar y girar el dial Menú durante la grabación.

Principales funciones actualizadas con V4.1

Función de unidad de doble velocidad del visor

Esta función está disponible cuando está activado "S&Q Motion" y "Frame Rate" está ajustado en un valor superior a 72FPS.

La opción Monitor LUT puede aplicarse a la grabación de imágenes 4K/QFHD

La opción "SDI(Main)&Internal Rec" de "Monitor LUT", en el menú Video, puede ajustarse en "MLUT On", aunque la opción "Rec Format" del menú System esté ajustada en "XAVC 4096×2160P" o "XAVC 3840×2160P". (En este caso, "SDI(Sub)&HDMI" y "Viewfinder" están bloqueadas en "MLUT On".)

Ampliación de las funciones que pueden asignarse a los botones asignables

Es posible asignar la función "VF High Contrast", que mejora el contraste de las imágenes en el visor.

Esta función permite mejorar el contraste de las imágenes de forma temporal al mostrar una imagen de bajo contraste, como S-Log2 o S-Log3.

Esta función está desactivada al reiniciar la videocámara.

El ajuste predeterminado de "Color Space" en "Cine EI Mode" pasa a "S-Gamut3.Cine/SLog3"

Después de aplicar la opción All Reset, "Color Space" queda ajustado en "S-Gamut3.Cine/SLog3" cuando la opción "Shooting Mode" de "Base Setting", en el menú System, se ajusta en "Cine EI".

Mejora de la calidad de imagen de las imágenes con contraste elevado

Al grabar en una memoria SxS, las imágenes con contraste elevado grabadas con un valor de "Gamma" distinto de S-Log2/3 se mejoran para obtener un aspecto más natural.

Principales funciones actualizadas con V4.0

Compatible con la función Memoria intermedia de imágenes

La PMW-F5/F55 es compatible con la función Memoria intermedia de imágenes, que le permite comenzar a grabar un número específico de segundos antes de tiempo. Esta función está disponible para grabar en la memoria SxS con los formatos de grabación XAVC 4096×2160P, XAVC 3840×2160P, XAVC 2048×1080P, XAVC 1920×1080P, MPEG 1920×1080P/i o MPEG 1280×720P (XAVC solo está disponible cuando la frecuencia del sistema está establecida como 23.98, 24.0, 25.0 o 29.97).

Puede establecerse una antelación de hasta 18 segundos (cuando se utiliza el formato MPEG).

Compatible con el Menú de usuario

El Menú de usuario se ha añadido en la parte superior del menú para que el usuario pueda acceder fácilmente al elemento de menú que desee.

Pueden registrarse/editarse hasta 20 elementos de menú. Los elementos personalizados del Menú de usuario pueden almacenarse en una tarjeta SD como archivo de elementos del Menú de usuario, y cargarse desde la tarjeta SD.

Compatible con el menú de pantalla secundaria

El menú de configuración puede visualizarse en la pantalla secundaria. Solo puede llevar a cabo las operaciones de menú en la PMW-F5/F55.

Compatible con la función Proxy MPEG para la grabación SStP (PMW-F55 solamente)

La PMW-F55 es compatible con la función Proxy MPEG (grabación simultánea en una ranura) el formato de grabación está establecido como SStP SR-SQ 444/SStP SR-SQ 422 y la frecuencia del sistema está establecida como 29.97P.

Compatible con el ajuste del color del marcador

Puede ajustar el color del marcador en Blanco/Amarillo/Cian/Verde/Magenta/Rojo/Azul.

Se añade la indicación del nivel del iris automático

El valor de ajuste aparece en la pantalla del visor cuando "Level" en "Auto Exposure" del menú Camera está ajustado en un valor diferente a "±0".

Compatible con la selección de ancho de banda de vídeo para la salida de vídeo HD/2K

Puede ajustar el ancho de banda de vídeo de la señal de vídeo HD/2K como "Wide" (ancho de banda amplio) (ajuste convencional) o "Narrow" (ancho de banda estrecho).

Compatible con LUT 3D de usuario

La PMW-F5/F55 puede importar un archivo CUBE (*.cube) de 17 o 33 retículas que crea el visor RAW o Da Vinci Resolve de BMD*.

Se añade la opción Gamma

"S-Log3" se añade a la opción "Gamma" del menú Paint.

Se añade la opción Espacio de color

"S-Gamut3" de amplia gama de colores se añade a la opción "Color Space" en "Base Setting" del menú System.

Se añaden las opciones Matriz (PMW-F55 solamente)

"10: S-Gamut3.Cine Like" y "11: S-Gamut3 Like" se añaden a la opción "Preset Select" en "Matrix" del menú Paint.

El botón RET del objetivo puede utilizarse para el botón asignable

El botón RET del objetivo del objetivo conectado puede utilizarse para el botón asignable.

Se añaden los formatos de salida HDMI (PMW-F55 solamente)

3840×2160 59.94P/50P/29.97P/25P/23.98P, 4096×2160 29.97P/25P se añaden para el formato de salida HDMI.

Se añade un accesorio opcional

CBK-DCB01 (DEMAND CONVERTER BOX) puede utilizarse con la PMW-F5/F55.

Para obtener más información sobre el CBK-DCB01 que puede utilizarse con la videocámara, póngase en contacto con un representante del servicio técnico de Sony.

Principales funciones actualizadas con V3.0

Se añade un formato de grabación

La PMW-F5/F55 es compatible con XAVC 3840 × 2160P. Las opciones disponibles para la frecuencia del sistema son 23.98, 25.0, 29.97, 50.0, 59.94.

La PMW-F5/F55 es compatible con MPEG 1280 × 720P. Las opciones disponibles para la frecuencia del sistema son 50.0, 59.94. El formato de salida de vídeo es HD 1280 × 720P o señal SD.

Función Movimiento a cámara lenta y rápida

La PMW-F5/F55 es compatible con la función Movimiento a cámara lenta y rápida cuando el formato de grabación es XAVC 4096 × 2160P o XAVC 3840 × 2160P. La velocidad de fotograma disponible es de 1 a 60P.

Cuando el formato de grabación es XAVC 2048 × 1080P o XAVC 1920 × 1080P, la velocidad de fotograma disponible se amplía; y

las opciones disponibles son de 1 a 180P (System Frequency: 23.98, 24.0, 29.97, 59.94) y de 1 a 150P (System Frequency: 25.0, 50.0).

Cuando la opción Main Operation está establecida en RAW, la velocidad de fotograma disponible se amplía; y la opción disponible es de 1 a 240P.

Se añade el Modo de exploración del generador de imágenes

La PMW-F5/F55 graba con el tamaño 4K Super 35 mm para una velocidad de fotograma inferior a 60P y con el tamaño 2K para una velocidad de fotograma superior a 60P. Además, la PMW-F5/F55 es compatible con el modo 2K Full, que permite grabar con el tamaño 2K Super 35 mm y con el modo 2K Center, que permite grabar el área central de Super 35 mm con el tamaño 2K.

Cualquier cadena está disponible para el nombre del clip

La PMW-F5/F55 es compatible con los nombres de clip de cualquier cadena + el número de clip.

Entrada de audio digital

La señal de audio digital del formato AES/EBU se puede configurar como entrada. La entrada de audio de cuatro canales está disponible mediante dos señales AES/EBU.

Reproducción RAW a través del conector de salida de la videocámara

El vídeo de reproducción de una señal RAW que se ha grabado en la AXS-R5 conectada a la PMW-F5/F55 se puede emitir a través del conector de salida de la PMW-F5/F55.

El archivo de escenas y el archivo del objetivo se puede cargar/guardar desde/en una tarjeta SD

Se puede guardar un máximo de 64 archivos de escenas y un máximo de 64 archivos del objetivo en una tarjeta SD. Los archivos guardados se pueden cargar y volver a escribir en la memoria interna.

Modo Cine EI para YPbPr/RGB

Además de estar disponible durante la grabación RAW, el modo Cine EI también está disponible durante la grabación YPbPr o RGB en una tarjeta de memoria SxS, sin utilizar AXS-R5.

Nueva gama de colores y curva de gamma

S-Gamut3.Cine está disponible y se puede ajustar fácilmente para el cine digital (DCIP3). S-Log3 también está disponible. Se trata de una señal de registro con un 1300% de rango dinámico, se encuentra cerca de la curva Log Cineon y posee las características de la película.

Función LUT del monitor

Se añaden cuatro tipos de perfil de aspecto y LUT de usuario (1D) de Sony para la selección de la LUT del monitor. Puede crear la LUT de usuario con el visor RAW, y se puede almacenar un máximo de seis LUT de usuario en la memoria interna a través de una memoria SD.

Puede activar o desactivar la opción Monitor LUT de forma independiente para SDI(Main)&Internal Rec, SDI(Sub)&HDMI y Viewfinder.

Función Iris automático

La función Iris automático está disponible al utilizar un objetivo con montaje PL o SCL-Z18X140 compatible con dicha función, o al conectar un objetivo con montaje B4 compatible con dicha función utilizando un adaptador de montaje LA-FZB1 o LA-FZB2.

Marcador 100%

La PMW-F5/F55 es compatible con el Marcador 100% que indica el fotograma efectivo de la imagen.

Función de activación/desactivación del marcador para cada salida

Es posible activar/desactivar el marcador para salidas como Visor y SDI/HDMI de forma independiente.

Función High Key/Low Key (Mucho contraste/Poco contraste)

La PMW-F5/F55 es compatible con la función High Key/Low Key (Mucho contraste/Poco contraste) que le permite comprobar resultados ampliados de mucho contraste o negros recortados de poco contraste.

Función Gamma de negros

La PMW-F5/F55 es compatible con la función Gamma de negros que le permite compensar el carácter gamma de una baja luminancia.

Salida 2K/HD 59.94/50.0P RGB 3G-Dual

Cuando la frecuencia del sistema es 59.94 o 50.0, se puede emitir una señal RGB 3G-Dual que se ajusta a SMPTE ST424/425 nivel B.

Principales funciones actualizadas con V2.11

Compatible con CA4000

La PMW-F5/F55 puede utilizarse como la cámara del sistema utilizándola con el adaptador opcional CA4000 y el equipo periférico (BPU4000, etc.).

Principales funciones actualizadas con V2.1

Función de unidad de doble velocidad del visor

La PMW-F5/F55 duplica la velocidad de fotograma de la pantalla del visor cuando la frecuencia del sistema es de 23.98, 24, 25 o 29.97, para reducir la borrosidad de la imagen mientras se desplaza la videocámara hacia la izquierda y la derecha.

Operaciones del menú de configuración desde el control Wi-Fi

La mayoría de los elementos del menú de configuración pueden ajustarse en la pantalla del control remoto Wi-Fi.

Función de filtro de viento

La PMW-F5/F55 es compatible con la función de filtro de viento para la entrada MIC. Esta función no es efectiva para la entrada LINE.

Cambiar el ángulo de imagen para la salida HD SDI mientras se realizan grabaciones RAW

Puede configurarse el ángulo de imagen para la salida HD SDI (Letter Box/Edge Crop) cuando la opción Main Operation está establecida en RAW.

Principales funciones actualizadas con V2.0

“S-Log2” se añade a los elementos de MLUT que pueden seleccionarse

“S-Log2” se añade como “P4” a los elementos de “MLUT Select” que pueden seleccionarse en la opción “Monitor LUT” del menú Video.

La función de movimiento a cámara lenta y rápida se amplía

La velocidad de fotograma para la opción XAVC 1920 × 1080P del formato de grabación es compatible con el modo High Frame Rate (velocidad de fotograma elevada) de 120P además de 1 a 60P.

La velocidad de fotograma para la opción XAVC 2048 × 1080P del formato de grabación es compatible con la velocidad de fotograma de 1 a 60P y el modo High Frame Rate (velocidad de fotograma elevada) 2K RAW cuando “Main Operation” está

establecido en “RAW” (la velocidad de fotograma es 120P/180P/240P).

Se añade un formato de grabación

La PMW-F5/F55 es compatible con XAVC 2048 × 1080P. La frecuencia de sistema compatible es 23.98P, 24.0P, 25.0P, 29.97P,

50.0P o 59.97P. 24.0P se añade como frecuencia de sistema compatible de XAVC 4096 × 2160P.

Compatible con el idioma chino

La PMW-F5/F55 es compatible con el idioma chino (chino simplificado) en los menús de configuración y la mayoría de los mensajes de advertencia.

Función de actualización para el archivo de gestión

La PMW-F5/F55 es compatible con la función que actualiza el archivo de gestión de un soporte que no puede reproducirse en la PMW-F5/F55.

Compatible con la salida 3840 × 2160P

La PMW-F5/F55 es compatible con 3840 × 2160P además de 4096 × 2160P.

La PMW-F5/F55 es compatible con el método de división de intercalado de 2 muestras para la señal de salida, además del método de división en cuadrados.

Se añade la función de revisión de grabación

Puede reproducir y comprobar fácilmente un clip grabado asignando la función de revisión de grabación a un botón asignable.

Compatible con la salida SD

La señal emitida desde SDI OUT 1 puede emitirse desde SDI OUT 2, y la señal emitida desde SDI OUT 3 puede emitirse desde SDI OUT 4.

La PMW-F5/F55 es compatible con la salida SD-SDI para SDI OUT 3/4 (secundaria), y la salida de señal compuesta analógica para el conector TEST OUT.

Compatible con el adaptador de soporte B4-FZ (LA-FZB1, LA-FZB2)

La PMW-F5/F55 es compatible con el adaptador de soporte B4-FZ opcional (LA-FZB1, LA-FZB2).

La función de pantalla secundaria se amplía

La pantalla CAMERA-2 se añade a la pantalla CAMERA de la pantalla secundaria, y se habilitan los botones de función de FILE y AU/TC que se utilizan para visualizar la pantalla secundaria. La pantalla FILE se utiliza para “All File Load”, “Scene Recall” y “Lens Recall”. La pantalla AU/TC permite establecer los elementos de configuración del audio y el código de tiempo.

Compatible con la indicación Waveform/Vector/Histogram

Puede visualizar la indicación Waveform/Vector/Histogram en el visor o la señal SDI OUT asignando la función Monitor de señales de vídeo a un botón asignable.

Compatible con la función Marcador de cursores de cuadro

La PMW-F5/F55 es compatible con la función Marcador de cursores de cuadro, que permite establecer el tamaño y la ubicación del cursor de cuadro.

Compatible con el indicador de asistencia de enfoque

La PMW-F5/F55 es compatible con el indicador del estado de enfoque del área central de la pantalla.

Compatible con la función Gamma de usuario

Puede cargar la curva de gamma de CvpFileEditorTM V4.2 desde una tarjeta SD, y seleccionarla en el menú Paint.

Compatible con la función Gamma de RGB

La PMW-F5/F55 es compatible con el ajuste de gamma de RGB de forma independiente cuando "Gamma Category" está establecido en "STD".

Compatible con la función de reducción de parpadeo

La PMW-F5/F55 es compatible con la función que puede reducir el parpadeo que se produce cuando se graba con iluminación en interiores, etc.

Principales funciones actualizadas con V1.21

Mantenga el valor de ajuste de ganancia cuando utilice la unidad de control remoto

El valor de ajuste de ganancia antes/después de quitar/colocar la unidad de control remoto puede mantenerse cuando la opción "RM Common Memory" de "Camera Config" del menú Maintenance está establecida en "On" y la opción "Mode" de "Gain" del menú Camera está establecida en "dB".

Principales funciones actualizadas con V1.2

Compatible con el formato SStP-SR

La PMW-F5/F55 es compatible con los archivos con formato SStP SR-SQ 444, SR-SQ 422 y SR-Lite 422 adoptados para HDCAM-SR, que pueden grabarse en una tarjeta de memoria SxS. Las frecuencias de imagen compatibles son 23.98P, 24.0P, 25.0P y 29.97P.

Compatible con el objetivo anamórfico de 1,3 aumentos

Puede visualizar una imagen normal sin distorsión en la pantalla del visor estableciendo la opción "Aspect" de "VF Setting" del menú VF en "Anamo x1.3" cuando utilice el objetivo anamórfico de 1,3 aumentos.

Puede emitir una imagen normal sin distorsión para la salida de vídeo estableciendo la opción "4K/2K to HD Conv." de "Output Setting" del menú Video en "Anamo x1.3" o "Anamo x2".

Modo de asignación de nombres "Cam ID + Reel#" para el nombre de un vídeo grabado en una tarjeta de memoria SxS

Es posible asignar un nombre al vídeo grabado en una tarjeta de memoria SxS a través del método de asignación de nombres "Cam ID + Reel#".

La opción "Clip Name" de "AXS Recorder" del menú System se desplaza a la opción "Clip Naming" del menú Media, y el nombre del vídeo RAW se establece en la opción "Clip Name" de "Clip Naming" del menú Media.

Distancia focal que aparece en la pantalla Camera status

La unidad de la distancia focal está bloqueada en "mm".

Compatible con el módulo LAN inalámbrico USB

El módulo LAN inalámbrico USB IFU-WLM3 suministrado le permite conectar la PMW-F5/F55 a dispositivos como smartphones, tablets, etc., a través de la conexión Wi-Fi. Puede visualizar el control remoto Wi-Fi en la pantalla del dispositivo estableciendo la opción "Wi-Fi" de "Wi-Fi" del menú System en "Enable", así como acceder a la dirección IP de la PMW-F5/F55 desde el navegador del dispositivo.

Principales funciones actualizadas con V1.14

APR (Restauración automática de píxeles)

La PMW-F5/F55 es compatible con la función APR que corrige los puntos blancos en el sensor de imagen. El mensaje de solicitud de la función APR aparece al encender la PMW-F5/F55.

Cuando se realiza la función APR, el mensaje desaparece. El mensaje aparece de nuevo una vez transcurridos más de 5 días.

Camera Position

La posición de la cámara puede establecerse en el nombre del vídeo cuando la opción "Clip Name" de "AXS Recorder" del menú System está establecida en "Separate".

Puede seleccionar el primer carácter del número de toma entre C, L y R.

Indicación de ganancia del visor

La indicación de ganancia aparece como el valor EI cuando la opción "Shooting Mode" de "Base Setting" del menú System está establecida en "Cine EI".

Compatible con el objetivo anamórfico de 2,0 aumentos

Puede visualizar una imagen normal sin distorsión en la pantalla del visor estableciendo la opción "Aspect" de "VF Setting" del menú VF en "Anamo x2" cuando utilice el objetivo anamórfico de 2,0 aumentos.

Principales funciones actualizadas con V1.13

Botón asignable

Si asigna "Rec" (inicia/detiene la grabación) a un botón asignable, el botón asignable se ilumina, al igual que sucede con el testigo REC, cuando la PMW-F5/F55 está grabando.

Conector DC OUT

La señal de indicación de grabación Rec (OUT) se asigna al terminal n.º 2, y la señal de activación de grabación Rec (IN) se asigna al terminal n.º 3, para el conector DC OUT del adaptador de baterías o AXS-R5.

Para obtener más información, consulte al personal del servicio técnico de Sony.

Función de índice de exposición

Los cuatro tipos de "Exposure Index" pueden establecerse en el menú Camera cuando la opción "Shooting Mode" de "Base Setting" del menú System está establecida en "Cine EI" y la opción "Main, Sub & Internal Rec" de "Monitor LUT" del menú Video está establecida en "MLUT On".

[valor de EI/valor de latitud de resaltado]

- PMW-F55: [400EI / 4.4E], [640EI / 5.0E], [800EI / 5.4E], [1250EI / 6.0E]
- PMW-F5: [640EI / 4.4E], [800EI / 4.7E], [1250EI / 5.4E], [2000EI / 6.0E]

Principales funciones actualizadas con V1.12

Salida de vídeo durante la grabación de la señal RAW

La relación de aspecto de vídeo que emiten los conectores HDMI OUT, SDI OUT y TEST OUT cambia a 17:9 de 16:9, cuando la opción "Shooting Mode" de "Base Setting" del menú System está establecida en "Cine EI" y la opción "Main Operation" está establecida en "RAW".

Salida VF durante la grabación de la señal RAW

La relación de aspecto de vídeo de la salida VF cambia a 17:9 aunque la opción "Aspect" de "VF Setting" del menú VF esté establecida en "Auto" o "Full", cuando la opción "Shooting Mode" de "Base Setting" del menú System está establecida en "Cine EI" y la opción "Main Operation" está establecida en "RAW".

Vídeo para grabación simultánea en una tarjeta de memoria SxS durante la grabación de la señal RAW

Cuando la opción "Shooting Mode" de "Base Setting" del menú System está establecida en "Cine EI", la opción "Main Operation" está establecida en "RAW", la opción "Setting" de "Rec Control" del menú Recording está establecida en "SxS & AXS" y se lleva a cabo la grabación simultánea, la relación de aspecto de vídeo cambiará de 16:9 a 17:9.

Nombre del vídeo al grabar en la AXS-R5

Se utiliza la convención de nombres de vídeo SR-R4, formada por "Camera ID" + "Reel Number" cuando la opción "Clip Name" de "AXS Recorder" del menú System está establecida en "Separate". El valor de "Reel Number" se incrementa cuando cambia a una nueva tarjeta de memoria AXS, si no cambia la opción "Camera ID" y/o "Reel Number" de "AXS Recorder" del menú System.

Objetivo con zoom automático (SCL-Z18x140)

Puede utilizar el objetivo con zoom automático (SCL-Z18x140) de forma manual.

Nota

No puede obtener información del objetivo como el valor del iris, el valor de enfoque, el valor de zoom, el estado del interruptor, la propiedad, etc.

中文

发行通知

V9.2更新的主要功能

兼容QD-G120F和QD-G240F XQD 存储卡

QD-G120F和QD-G240F已加入到XQD存储卡产品阵容中，可以在摄像机中使用。

* 使用XQD存储卡需要有XQD ExpressCard适配器 (QDA-EX1)。

V9.1更新的主要功能

新增输出格式选项（仅适用于PMW-F55和PMW-F5 + CBKZ-55FX）

当录制格式设定为XAVC 4K或XAVC QFHD、系统频率设定为50或59.94，且MPEG2 Proxy功能启用时，可以在“输出格式”中选择“4K”和“QFHD”。

更改时区设置值的显示

按UTC +11:30或UTC -12:00分组的地区名称已删除。

V9.0更新的主要功能

新增4K帧频和高帧频录制功能

当AXS-R7安装至PMW-F55时，“帧速率”中的可用值新增72、75、90、96和100 FPS，并执行4K RAW或4K X-OCN格式的高帧频录制。

安装有CBK-WA100时兼容“并行录制”模式

摄像机兼容“并行录制”模式。“并行录制”模式能够同步摄像机录制和使用连接至SDI OUT 1/2的无线适配器CBK-WA100进行的XAVC代理录制之间的相同文件名。

注意

可在本摄像机上使用软件版本3.0或更高版本的CBK-WA100。

新增XAVC HD Long（当系统频率设定为29.97或59.94时）

摄像机能以XAVC HD Long（1920 × 1080）录制和播放。

当系统频率设定为59.94时，可选择25M、35M或50M模式。

当系统频率设定为29.97时，可选择35M或50M模式。

V8.0更新的主要功能

兼容AXS-R7

PMW-F55/F5兼容AXS-R7便携存储记录单元。将AXS-R7安装到摄像机上即可使用以下功能。

• 4K 120fps录制

4K 120FPS图像可以录制到AXS存储卡。当系统频率设定为23.98P时，可以以5倍低速录制慢动作4K图像。

• 新格式X-OCN录制

除F55RAW录制模式以外，还可以使用新格式X-OCN进行更有效的录制。

• 图像缓存功能

录制到AXS存储卡时也可以使用图像缓存功能。缓存录制时间最多可以选择30秒。

兼容XAVC 4K/QFHD Class480（仅适用于PMW-F55和PMW-F5 + CBKZ-55FX）

系统频率设定为23.98、24.0、25.0或29.97时，可以录制/播放XAVC 4K Class480，系统频率设定为23.98、25.0或29.97时，可以录制/播放XAVC QFHD Class480。

可兼容XQD存储卡新G系列和M系列。

新G系列（QD-G32E、QD-G64E、QD-G128E）和M系列（QD-M32A、QD-M64A、QD-M128A）已加入到XQD存储卡产品阵容中，可以在摄像机中使用。

* 使用XQD存储卡需要有XQD ExpressCard适配器 (QDA-EX1)。

与已有的G系列一样，新G系列可使用所有录制格式，也可以在“高帧速率模式”设定为“开”或“关”时使用。M系列与N系列一样，可用于MPEG 1920 × 1080 P/i和1280 × 720 P。

V7.0更新的主要功能

新增快速菜单

通过按OPTION按钮，可以在副显示屏中显示新增的快速菜单。

快速菜单中可分别添加6个类别（Project/Monitoring/MLUT/Media/Viewfinder/Others）中最多8个实用设定项目。

这便于您确认和更改设定内容。

兼容XAVC 4096 × 2160/XAVC 3840 × 2160 59.94P/50P中的MPEG2 Proxy

当录制格式设定为XAVC 4096 × 2160/XAVC 3840 × 2160，且系统频率设定为59.94P/50P时，将启用MPEG2 Proxy功能。

注意

同步录制期间无法格式化和恢复存储卡。

兼容ITU-R BT.2020的矩阵校正（仅限PMW-F55）

绘图菜单的“矩阵”中的“预设选择”设定值增加了12: ITU-2020。

ITU-R BT.2020的矩阵校正适用于4K或QFHD的输出信号或以XAVC 4096 × 2160 P或XAVC 3840 × 2160 P录制的视频信号。

注意

- 对于2K/HD输出信号或取景器，选择“12: ITU-2020”时，将进行相当于ITU-R BT.709的矩阵校正。
- 当设定为12: ITU-2020并进行录制的XAVC 4096 × 2160 P或XAVC 3840 × 2160 P播放图像通过2K或HD输出时，视频影像的色彩会不正确。

增大了斑马线图形的可用范围

寻像器菜单的“斑马线”中“斑马线1等级”的可用范围从“50%至107%”增大到“0%至107%”，“斑马线2等级”的可用范围从“52%至109%”增大到“0%至109%”。

改善了使用用户伽马时的影像质量

经过修正，当对PMW-F5/F55应用在HDC系列中所创建的用户伽马时，通过调节消隐电平等，伽马曲线可变得与HDC系列相同。

改善了状态画面的响应

改善了状态画面显示到取景器或外接视频监视器中的切换速度。

V6.0更新的主要功能

兼容Apple ProRes 4444

增加了Apple ProRes 4444作为一种录制格式，当安装专用选件CBK-55PD（另售）后可录制/播放这种格式。当系统频率设定为23.98、24.0、25.0或29.97时可选择Apple ProRes 4444。

“S&Q Motion”的“帧速率”中增加了66FPS

当启用“S&Q Motion”且“高帧速率模式”设定为“全扫描”或“中心扫描”时，“帧速率”中会增加可用值“66FPS”。

当设定“S-Gamut/SLog2”时兼容User 3D LUT

当系统菜单的“基本设定”中的“色彩空间”设定为“S-Gamut/SLog2”时，可使用User 3D LUT。

注意

当使用Catalyst Browse和RAW Viewer创建CUBE文件时，请按照以下方法进行设定。

当“色彩空间”与摄像机中的“S-Gamut3.Cine/SLog3”或“S-Gamut3/SLog3”设定配合使用时，将“Source”（Catalyst Browse）或“Input”（RAW Viewer）设定为“S-Gamut3.Cine/S-Log3”，而当“色彩空间”与摄像机中的“S-Gamut2/SLog2”设定配合使用时，将“Source”/“Input”设定为“S-Gamut/S-Log2”。请注意，如果使用以不同设定错误创建的CUBE文件，色彩将不正确。

关于选择Apple ProRes和Avid DNxHD®时的ABB/APR动作

已修正，因此当录制格式设定为ProRes 422 HQ、ProRes 422、DNxHD 220x或DNxHD 145时，摄像机在执行ABB/APR后不会重启。

V5.1变更的功能

关于安装CBK-55PD时PMW-F55和CA4000之间的连接安装有专用选件CBK-55PD（另售）的PMW-F55可以连接到摄像机系统转接器CA4000。

V5.0更新的主要功能

兼容Apple ProRes和Avid DNxHD®

通过安装专用选件CBK-55PD（另售），PMW-F55/F5即能以Apple ProRes 422 (HQ)、Apple ProRes 422、Avid DNxHD 220x和Avid DNxHD 145进行录制/播放。

注意

- 选择这些格式时，摄像机会在执行ABB/APR后重启。
- 摄像机系统适配器CA4000无法安装于已装有CBK-55PD的PMW-F55。

兼容SStP SR-SQ 422 59.94i（仅限PMW-F55）

当录制格式为SStP SR-SQ 422时，PMW-F55兼容以59.94i进行录制/播放。同时可使用MPEG代理功能。

兼容CBK-55BK

PMW-F55/F5兼容专用选件CBK-55BK（另售）。将附件套件CBK-55BK安装至摄像机后，就能以肩扛摄像机的方式操作摄像机，并可以使用各种音频输入/输出接口和直接开关。

兼容适用于PMW-F5的4K/QFHD录制

通过安装专用选件CBKZ-55FX（另售），PMW-F5就能以XAVC 4096 × 2160P和XAVC 3840 × 2160P进行录制。同时可使用MPEG代理功能。

兼容White Memory A/B

在自定义模式下有效的White Memory扩展为Memory A和Memory B。可独立为Memory A和Memory B设定色温。

兼容间隔录制功能

PMW-F/F55兼容间隔录制功能，能让您以一定间隔录制指定的帧数。间隔录制功能在以下情况下有效：录制格式设定为XAVC 4096 × 2160P、XAVC 3840 × 2160P、XAVC 2048 × 1080P或XAVC 1920 × 1080P时的SxS存储器录制，以及RAW录制（包括同时录制到SxS存储器）。

兼容Cine EI模式的抑噪设定

即使系统菜单项“基本设定”中的“拍摄模式”设定为“Cine EI”，也可使用摄像菜单中的“抑噪”设定。默认设定为“关”。

扩充了用于可指定按钮的可指定功能

“可指定按钮”增加了“彩条”、“寻像器对焦放大镜”和“White Memory”（在存储器A/B之间切换）。

兼容使用菜单转盘进行FPS更改

快&慢动作期间的帧速率可通过系统菜单项“可指定按钮”中的“菜单转盘指定”，从6种速率中选择。只要在拍摄时按下并转动菜单转盘就能更改帧速率。

V4.1更新的主要功能

取景器双倍速驱动功能

当“S&Q Motion”为有效且“帧速率”设定为72FPS以上时此功能可以使用。

显示器LUT可应用于4K/QFHD录制图像

即使系统菜单中的“录制格式”设定为“XAVC 4096×2160P”或“XAVC 3840×2160P”，视频菜单“显示器LUT”中的“SDI(Main)&Internal Rec”也可以设定为“MLUT开”。（在此情况下，“SDI（副）&HDMI”和“Viewfinder”被锁定为“MLUT开”。）

扩展了可分配到指定按钮的分配功能

可以分配用于增强取景器中图像对比度的“VF High Contrast”功能。

通过使用此功能，可以在显示S-Log2或S-Log3等低对比度图像时同时增加图像的对比度。

摄像机重新启动后此功能设定为关闭。

“Cine EI Mode”中“色彩空间”的默认设定改变为“S-Gamut3.Cine/SLog3”

执行全部重置之后，将系统菜单“基本设定”中的“拍摄模式”设定为“Cine EI”时，“色彩空间”将被设定为“S-Gamut3.Cine/SLog3”。

提高了高对比度图像的画质

当录制在SxS存储器上时，将会改善以“伽马”（S-Log2/3除外）录制的高对比度图像，使图像更自然。

V4.0更新的主要功能

兼容缓存录制功能

PMW-F5/F55兼容缓存录制功能，允许您提前指定秒数开始记录。

此功能适用于以XAVC 4096×2160P、XAVC 3840×2160P、XAVC 2048×1080P、XAVC 1920×1080P、MPEG 1920×1080P/i或MPEG 1280×720P录制格式进行SxS存储器录制（仅当系统频率设定为23.98、24.0、25.0或29.97时XAVC才可用）。最长可设定提前18秒（使用MPEG格式时）。

兼容用户菜单

菜单顶层增加了用户菜单，以使用户可轻松访问所需的菜单项目。

最多可注册/编辑20个菜单项目。自定义的用户菜单项目可作为用户菜单项目文件存储在SD卡上，并可从SD卡加载。

兼容副显示屏菜单

设置菜单可显示在副显示屏上。只能在PMW-F5/F55上执行菜单操作。

兼容MPEG Proxy功能，可进行SStP录制（仅限PMW-F55）

当录制格式设定为SStP SR-SQ 444/SStP SR-SQ 422，且系统频率设定为29.97P时，PMW-F55兼容MPEG Proxy功能（同一插槽中同时录制）。

兼容标记色彩设定

可从白色/黄色/蓝绿色/绿色/洋红色/红色/蓝色中设定标记色彩。

增加了自动光圈等级指示

当摄像菜单“自动曝光”中的“等级”设定为“±0”以外的值时，设定值显示在取景器画面上。

兼容对HD/2K视频输出进行视频带宽选择

可从“Wide”（宽带宽）（常用设定）和“Narrow”（窄带宽）中选择HD/2K视频信号的视频带宽。

兼容用户3D LUT

PMW-F5/F55可导入由RAW Viewer 或BMD的Da Vinci Resolve*创建的17格或33格CUBE文件（*.cube）。

增加了伽马选项

绘图菜单的“伽马”选项中增加了“S-Log3”。

增加了色彩空间选项

系统菜单“基本设定”的“色彩空间”选项中增加了宽色域“S-Gamut3”。

增加了矩阵选项（仅限PMW-F55）

绘图菜单“矩阵”的“预设选择”选项中增加了“10: S-Gamut3.Cine Like”和“11: S-Gamut3 Like”。

镜头RET按钮可用作可指定按钮

所连接镜头上的镜头RET按钮可用作可指定按钮。

增加了HDMI输出格式（仅限PMW-F55）

增加了3840×2160 59.94P/50P/29.97P/25P/23.98P、4096×2160 29.97P/25P的HDMI输出格式。

增加了选购配件

CBK-DCB01（DEMAND CONVERTER BOX）可配合PMW-F5/F55使用。

有关可与摄像机配合使用的CBK-DCB01的详细信息，请联系Sony服务代表。

V3.0更新的主要功能

增加了录制格式

PMW-F5/F55兼容XAVC 3840 × 2160P。可用的系统频率设定为23.98、25.0、29.97、50.0、59.94。

PMW-F5/F55兼容MPEG 1280 × 720P。可用的系统频率设定为50.0、59.94。视频输出格式为HD 1280 × 720P或SD信号。

慢动作&快动作功能

当录制格式为XAVC 4096 × 2160P或XAVC 3840 × 2160P时，PMW-F5/F55兼容慢动作&快动作功能。可用帧速率为1至60P。

当录制格式为XAVC 2048 × 1080P或XAVC 1920 × 1080P时，可用的帧速率范围扩大；1至180P（系统频率：23.98、24.0、29.97、59.94）和1至150P（系统频率：25.0、50.0）可用。

当主操作设定为RAW时，可用的帧速率范围扩大；1至240P可用。

增加了成像器扫描模式

对于低于60P的帧速率，PMW-F5/F55以4K超级35mm尺寸拍摄，对于高于60P的帧速率，则以2K尺寸拍摄。除此之外，PMW-F5/F55还兼容允许以2K超级35mm尺寸拍摄的2K Full模式，以及允许以2K尺寸拍摄超级35mm中央区域的2K Center模式。

剪辑名称可使用任意字符串

PMW-F5/F55兼容任意字符串+剪辑编号的剪辑名称。

数字音频输入

可输入AES/EBU格式的数字音频信号。这两种AES/EBU信号可使用四声道音频输入。

通过摄像机输出接口的RAW播放

在安装于PMW-F5/F55上的AXS-R5中录制的RAW信号的播放视频可从PMW-F5/F55的输出接口输出。

场景文件和镜头文件可保存到SD卡或从中加载

最多可在SD卡上保存64个场景文件和64个镜头文件。保存的文件可加载并写回到内存。

适用于YpPr/RGB的Cine EI模式

除了RAW录制时可用以外，在不使用AXS-R5的情况下YpPr或RGB录制到SxS存储卡时，Cine EI模式也可用。

新色域和伽马曲线

可用S-Gamut3.Cine，易于为数字影院（DCIP3）进行调节。也可用S-Log3，这是一种带有1300%动态范围的日志信号，类似于Cineon日志曲线，并具有胶片特性。

监视器LUT功能

增加4种类型的Sony Look Profile和用户LUT（1D）供监视器LUT选择。可以用RAW Viewer创建用户LUT，并通过SD卡在内存上存储最多6个用户LUT。可以为SDI(Main)&Internal Rec、SDI(Sub)&HDMI和Viewfinder分别设定打开/关闭显示器LUT。

自动光圈功能

当使用兼容自动光圈的SCL-Z18X140或PL卡口镜头时，或者当通过LA-FZB1、LA-FZB2卡口适配器安装了兼容自动光圈的B4卡口镜头时，自动光圈功能可用。

100%标记

PMW-F5/F55兼容可指示有效图像帧的100%标记。

适用于各输出的标记打开/关闭功能

可以分别为取景器和SDI/HDMI等输出设定标记打开/关闭。

High Key/Low Key（高色调/低色调）功能

PMW-F5/F55兼容High Key/Low Key（高色调/低色调）功能，可查看高色调过度曝光亮部或低色调曝光不足暗部。

黑色伽马功能

PMW-F5/F55兼容黑色伽马功能，可补偿低亮度的伽马特性。

2K/HD 59.94/50.0P RGB 3G-Dual输出

当系统频率为59.94或50.0时，可输出符合SMPTE ST424/425 B级的RGB 3G-Dual信号。

V2.11更新的主要功能

兼容CA4000

通过与选购CA4000和外围设备（BPU4000等）配合使用，PMW-F5/F55可作为系统摄像机运作。

V2.1更新的主要功能

取景器双倍速驱动功能

当系统频率为23.98、24、25或29.97时，PMW-F5/F55会使取景器显示的帧速率加倍，以降低摄像机左右摇摄时出现的图像模糊。

从Wi-Fi遥控器操作设置菜单

可通过Wi-Fi遥控画面对大部分设置菜单进行设定。

风声过滤器功能

PMW-F5/F55兼容MIC输入的风声过滤器功能。此功能对LINE输入无效。

进行RAW录制时改变HD SDI输出的图像角度

当主操作设定为RAW时，可设定HD SDI输出（信箱/边缘裁剪）的图像角度。

V2.0更新的主要功能

MLUT的可选项目增加了“S-Log2”

视频菜单“显示器LUT”中的“MLUT选择”的可选项目增加了“S-Log2”作为“P4”。

扩展了慢动作和快动作功能

录制格式XAVC 1920 × 1080P的帧速率兼容1至60P以外，还兼容120P的高帧速率模式。

当“主操作”设定为“RAW”（帧速率为120P/180P/240）时，录制格式XAVC 2048 × 1080P的帧速率兼容1至60P以及2K RAW高帧速率模式。

增加了录制格式

PMW-F5/F55兼容XAVC 2048 × 1080P。兼容的系统频率为23.98P、24.0P、25.0P、29.97P、50.0P或59.97P。

增加了24.0P作为XAVC 4096 × 2160P的兼容系统频率。

兼容中文显示

PMW-F5/F55兼容中文（简体中文）显示用于菜单和大部分警告信息。

管理文件的更新功能

PMW-F5/F55兼容对PMW-F5/F55上无法播放的媒体的管理文件进行更新的功能。

兼容3840 × 2160P输出

PMW-F5/F55兼容4096 × 2160P以外，还兼容3840 × 2160P。PMW-F5/F55兼容输出信号的方形分割方式以外，还兼容双采样交织分割方式。

增加了录制预览功能

通过指定录制预览功能到可指定按钮，就可以播放并查看录制的剪辑。

兼容SD输出

SDI OUT 1的输出信号可从SDI OUT 2输出，SDI OUT 3的输出信号可从SDI OUT 4输出。

PMW-F5/F55兼容SDI OUT 3/4（副）的SD-SDI输出以及TEST OUT接口的模拟复合信号输出。

兼容B4-FZ转接环（LA-FZB1、LA-FZB2）

PMW-F5/F55兼容选购的B4-FZ转接环（LA-FZB1、LA-FZB2）。

扩展了副显示功能

副显示的CAMERA画面增加了CAMERA-2画面，并可以使用FILE和AU/TC的功能按钮显示副显示。

FILE画面用于“All File Load”、“Scene Recall”和“Lens Recall”。可在AU/TC画面设定音频和时间码的设置项目。

兼容波形/矢量/直方图指示

通过指定视频信号显示器功能到可指定按钮，可以在取景器或SDI OUT信号上显示波形/矢量/直方图指示。

兼容用户框标记功能

PMW-F5/F55兼容用户框标记功能，可设定用户框的大小和位置。

兼容对焦辅助指示

PMW-F5/F55兼容显示屏中央区域对焦状态的指示。

兼容用户伽马功能

可从SD卡加载由CvpFileEditor™ V4.2生成的伽马曲线，并在绘图菜单中进行选择。

兼容RGB伽马功能

当“伽马种类”设定为“STD”时，PMW-F5/F55兼容单独对RGB进行伽马调整。

兼容闪烁减弱功能

PMW-F5/F55兼容可减弱在室内光线等情况下拍摄时出现的闪烁的功能。

V1.21更新的主要功能

在使用遥控器时保持增益设定值

当维护菜单“相机配置”中的“RM共用存储器”设定为“开”，且摄像菜单“亮度增益”中的“模式”设定为“dB”时，可以保留拆卸/安装遥控器前后的增益设定值。

V1.2更新的主要功能

兼容SStP-SR格式

PMW-F5/F55兼容HDCAM-SR所采用的SStP SR-SQ 444、SR-SQ 422和SR-Lite 422格式文件，可以录制在SxS存储卡上。兼容的帧频为23.98P、24.0P、25.0P和29.97P。

兼容×1.3变形镜头

使用×1.3变形镜头时，将VF菜单“VF Setting”中的“Aspect”设定为“Anamo ×1.3”，即可在取景器屏幕上显示无失真的正常图像。

将Video菜单“Output Setting”中的“4K/2K to HD Conv.”设定为“Anamo ×1.3”或“Anamo ×2”，即可在视频输出端输出无失真的正常图像。

录制在SxS存储卡上的剪辑名称的“Cam ID + Reel#”命名模式

录制在SxS存储卡上的剪辑可按照“Cam ID + Reel#”的命名方式命名。

System菜单“AXS Recorder”中的“Clip Name”设定移动至Media菜单的“Clip Naming”，RAW剪辑名称可在Media菜单“Clip Naming”的“Clip Name”中进行设定。

Camera status画面上显示的焦距

焦距单位固定为“mm”。

兼容USB无线局域网模块

安装附带的IFU-WLM3 USB无线局域网模块，可使PMW-F5/F55通过Wi-Fi与智能手机、平板电脑等设备连接。

将System菜单“Wi-Fi”中的“Wi-Fi”设定为“Enable”，即可在设备屏幕上显示Wi-Fi遥控器，并可从设备浏览器访问PMW-F5/F55的IP地址。

V1.14更新的主要功能

APR（自动像素修复）

PMW-F5/F55兼容APR功能，可修正图像传感器中的白点。开启PMW-F5/F55时，会出现提示APR功能的信息。执行APR功能后，信息会消失。超过5天后，信息会再次出现。

Camera Position

当System菜单“AXS Recorder”中的“Clip Name”设定为“Separate”时，可在剪辑名称中设定相机位置。可从C、L和R中选择拍摄编号的第一个字符。

取景器上的增益指示

当System菜单“Base Setting”中的“Shooting Mode”设定为“Cine EI”时，增益指示显示为EI值。

兼容×2.0变形镜头

使用×2.0变形镜头时，将VF菜单“VF Setting”中的“Aspect”设定为“Anamo ×2”，即可在取景器屏幕上显示无失真的正常图像。

V1.13更新的主要功能

可分配的按钮

如果将“Rec”（开始/停止录制）分配到可分配的按钮，PMW-F5/F55录制时可分配的按钮与REC指示灯将一同亮起。

DC OUT接口

对于电池适配器或AXS-R5的DC OUT接口，录制指示信号（OUT）被分配到引脚编号2，录制触发信号（IN）则被分配到引脚编号3。

有关详情，请咨询Sony服务人员。

曝光指数功能

当System菜单“Base Setting”中的“Shooting Mode”设定为“Cine EI”，且Video菜单“Monitor LUT”中的“Main,Sub & Internal Rec”设定为“MLUT On”时，可以在Camera菜单上设定“Exposure Index”的四种类型。

[EI值/高亮宽容度值]

- PMW-F55: [400EI / 4.4E]、[640EI / 5.0E]、[800EI / 5.4E]、[1250EI / 6.0E]
- PMW-F5: [640EI / 4.4E]、[800EI / 4.7E]、[1250EI / 5.4E]、[2000EI / 6.0E]

V1.12更新的主要功能

录制RAW信号时的视频输出

当System菜单“Base Setting”中的“Shooting Mode”设定为“Cine EI”，且“Main Operation”设定为“RAW”时，从HDMI OUT、SDI OUT和TEST OUT接口输出的视频纵横比将从16:9变为17:9。

录制RAW信号时的VF输出

当System菜单“Base Setting”中的“Shooting Mode”设定为“Cine EI”，且“Main Operation”设定为“RAW”时，即使VF菜单“VF Setting”中的“Aspect”设定为“Auto”或“Full”，VF输出的视频纵横比都将变为17:9。

录制RAW信号时同步录制到SxS存储卡上的视频

当System菜单“Base Setting”中的“Shooting Mode”设定为“Cine EI”、“Main Operation”设定为“RAW”、Recording菜单“Rec Control”中的“Setting”设定为“SxS & AXS”，且执行了同步录制时，视频纵横比将从16:9变为17:9。

在AXS-R5上录制时的剪辑名称

当System菜单“AXS Recorder”中的“Clip Name”设定为“Separate”时，将使用SR-R4惯用剪辑名称，由“Camera ID” + “Reel Number”组成。如果未改变System菜单“AXS Recorder”中的“Camera ID”和/或“Reel Number”，当您更换新的AXS存储卡时，“Reel Number”值将增大。

电动变焦镜头（SCL-Z18x140）

您可以手动操作电动变焦镜头（SCL-Z18x140）。

注意

您无法获取光圈值、对焦值、变焦值、切换状态、属性等镜头信息。